無理だ
そんな事ができるのは
奴らと同じ化物だけ
うわ
ひィ

24
Rapid
Arrow

ヒュヴゥゥウゥ…
一体…何匹いやがるんだ………!?
そ…そんな…
ミシ…………
01
Rap
Arro
ハァ
ァ
ァ
ァ…
ギュル…

……
フラ…
フラ…
ガシャン
ひ……
……あ……
あ……
イヤだ……
だ……
誰か……
助……

ぐげェ!!!

11 Rapid Arrow
いやあぁあ!
あうあわあぁ
23 Rapid Arrow
13 Rapid Arrow
あがっ!
ひ…
Arrow

いやああああああ
あああああ死にたく
ぱ

ビュッ
ポタ…
ブル
ブル
ブルルル…
ガク。
やああ！あああ
あ…
ARROW
ガク
ガク

うわあああ 逃げろオオ
はっ早く…そこから…
逃げ…バイクだ 早くバイクの所に
!!?
12 Rapid Arrow
ズン
──それは、
26 Rapid Arrow
12

「戦い」と呼ぶには
あまりに一方的で
ベキ
ベキ
ボキ
ひっ!?
え!?
うっ上!
上ーー!!
嘘!?
やだ…
「狩り」と言うには
あまりに他愛もなく

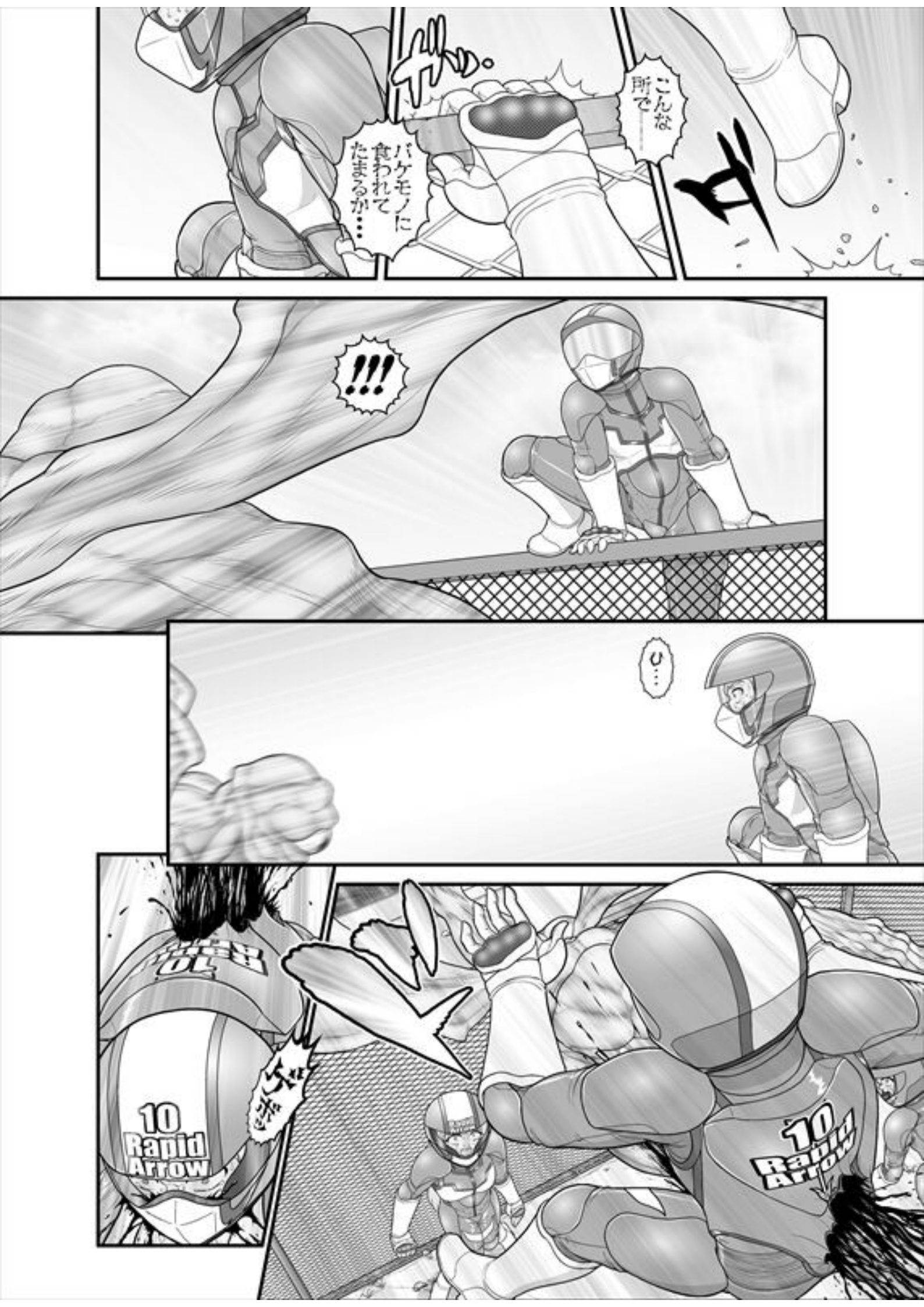
Rapid Arrow
ただ欲望のまま
引き裂き 叩き潰し
貪り喰らう
狂瀾の宴
そう、
殺戮は
『奴ら』にとって

ただの
「食事」でしかないのだ

ビクッ
くっ くひゅっ
ビグッ
ジュルッ
ビクッ
くひゅる
ジュルルル
あああ ああ
あああああ
ひいいっ
Rapid Arrow
ズ
36 Rapid Arrow
いっ いやっ
お願い!やめて 殺さないでっ

ああ！
はっあー
あっあっあっあっ

メ゛リギャ
ぎゃあああ
ごああああっ
ビシャアアアアア
くそォォォ死にたくねエエエエ
助けて…
10
Rapid
Arrow


こんな所で……
バケモノに食われてたまるか……
!!!
ひ…
10 Rapid Arrow
10 Rapid Arrow

ズ

ザァァァ
ズボッ
ひぃいいいいいいっ
バサッ
バサッ
10 Rapid Arrow
26 Rapid Arrow
08 Rapid Arrow
……
き…来た……
アイヤアアアア
08 Rapid Arrow

08 Rapid Arrow
26 Rapid Arrow
ヒイイイイイイイイ
14 Rapid Arrow
ちょ……
ちょっと……やだ……

ああああ
ガッ
ひぎいイイ ヤアアアアア
あああああああ やだあああああ
ひ……
05 Rapid Arrow
ゾ……
あ……タシの……
内ぞ……
……う……
ゲェロ……
……
14 Rapid Arrow

!!!!
24
Rapid
Arrow

ガガガガガ
ドゴ
ゴッ

ズ…
ヴルル…
ザッ.
ムゥゥゥ…

……!?

な……何なの……こいつ……!?

……違う……明らかに……

他の……奴ら……とは何かが……!

ひ……ひい

完全装備のライダー20人を何の苦も無く挽肉にした"サード"が…こいつが来た途端静かになった……？
…まるで……雷鳴に怯える子犬みたいに——
ま……
待って…
ズシャ
ひ…ひ…
あああ…あ……
ぴた…
ね…ねえ…
も…もう…いいでしょ…？
05 Rapid Arrow
…こいつ…
——止まった!?
お願い…
…待って…
ひょっとして…？

こっ

殺さないで……

エサならもう十分でしょ？

足りなければ他のチームを連れてきてあげる……！

そいつらを好きなだけ食えばいいじゃない……

だ……だから命だけは……!!

……え!?

……まさか……

本当に……話が……!?

助かっ
!?
はっ
はひっ!?
おああああああ
バキ
ベキ
バキ

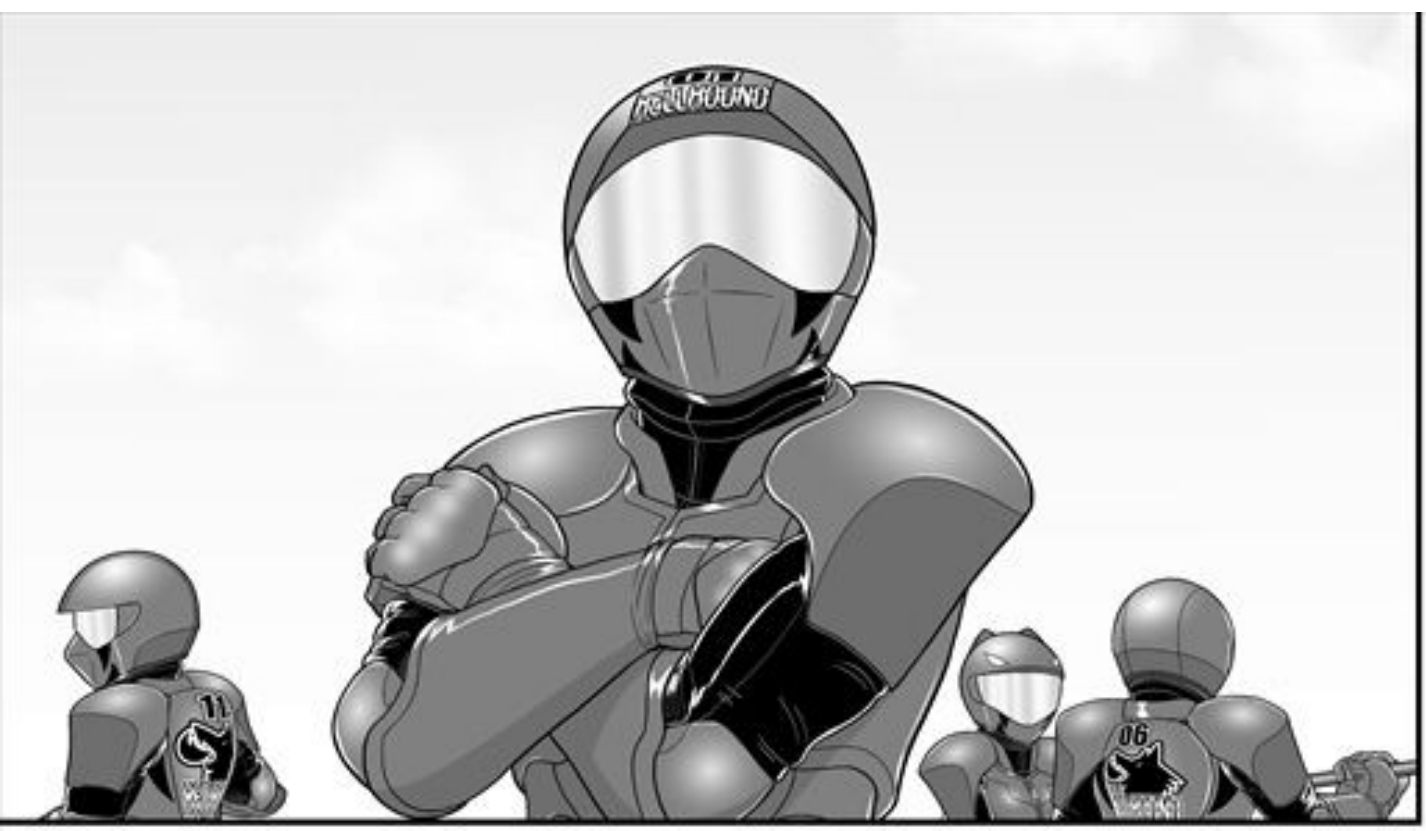
なっ……何で——!?
助けてくれるって言っ——
ゴ
ブル
ブル
ブル
ヒイイイ
ジュル…

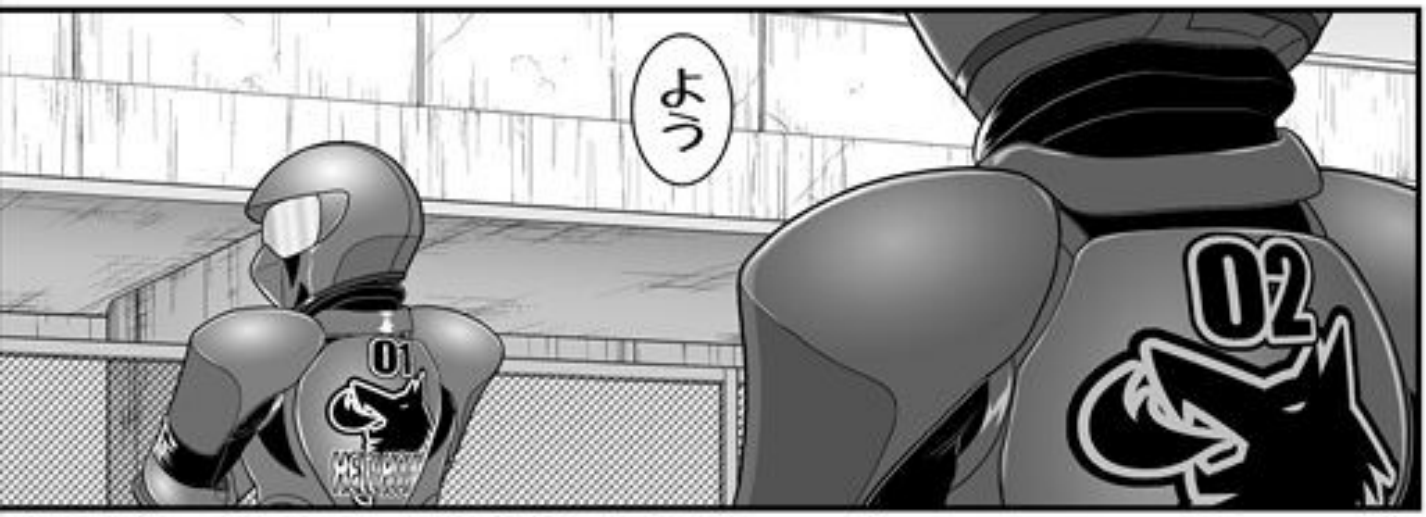
あっ
あっ
あっ
ドクッ
ドクッ
ドク
ドク
Rapid Arrow
Rapid Arrow

ハァ
ハァ
ハァ
念のため通用口から入ってここまで来たが
仲間の姿も"奴ら"の気配もない……
ハァ
ハァ
途中の探索目標は全てマーキング済みだった
後は――
ハァ
屋上だけ…
!?

向こうから誰かが扉を押さえてる!?
ギギッ
ギギッ
おい…オレだ!!
開けろ！こっちに奴らはいねえ……
返事がねえ…一体何が起きて—
チッ
ド
04 Rapid Arrow
ガッ
!!?
な……
何だあああああああああ!!

ビュ
数日後――
ウ
ウ
ウ
ザッ
ザッ
ザッ
HELLHOUND
ウ
ウ
ウ




よう

バイクは置きっぱなし

あるのは大量の血痕だけ――

やっぱり誰もいないな
死体も奴らの痕跡もない…

……何かおかしくないか？

これが"奴ら"の仕業なら――手足の一本すら落ちてないのはどういうことだ

…さあな…よっぽど腹が減ってたんだろ

奴らがする事の理由なんぎどうでもいい

一匹残らずぶっ殺すのに考える意味あるか？

ふ……お前のそういう所が好きだ

何だおい…濡れちまったか？一発ハメるかここで

……

お前…例の奴がやったと思ってるんだろ？

フン…お見通しか

当たり前だ

お前の事は金〇の裏のホクロの数まで全部知ってる

『瞬速の矢』ってていや地味で堅実なだけが取り柄のクソつまんねぇチームだ

大して人気もなかったし実際誰も騒いでねぇ

だが…逃げ足の速さだけは折り紙付きだった

そんな連中がこんな街の近くで逃げる間もなく全滅したこと自体が異常事態だろ

で…『瞬速の矢』が最後に受けてた任務に目を付けたって訳だ

ま…要はただの俺の勘だがな

少し前なら『異端者』を疑ってたところだ

…まあともかく

後は…あそこだけだな……

おっしゃあ

散歩は中止だ全員集合しろ

パーティーの時間だ！

行くぞォ!!!
ザッ
"奴ら"がいたら片っ端から全部ぶっ殺せ!!

誰だ!?

とにかくこのまま手ぶらじゃ帰れねぇ
一月もご無沙汰でそろそろ殺らねーと勃たなくなっちまいそうだぜ

D地区踏破の後は療養やらTOFやらでろくに『外』に行けてなかったからな…
!

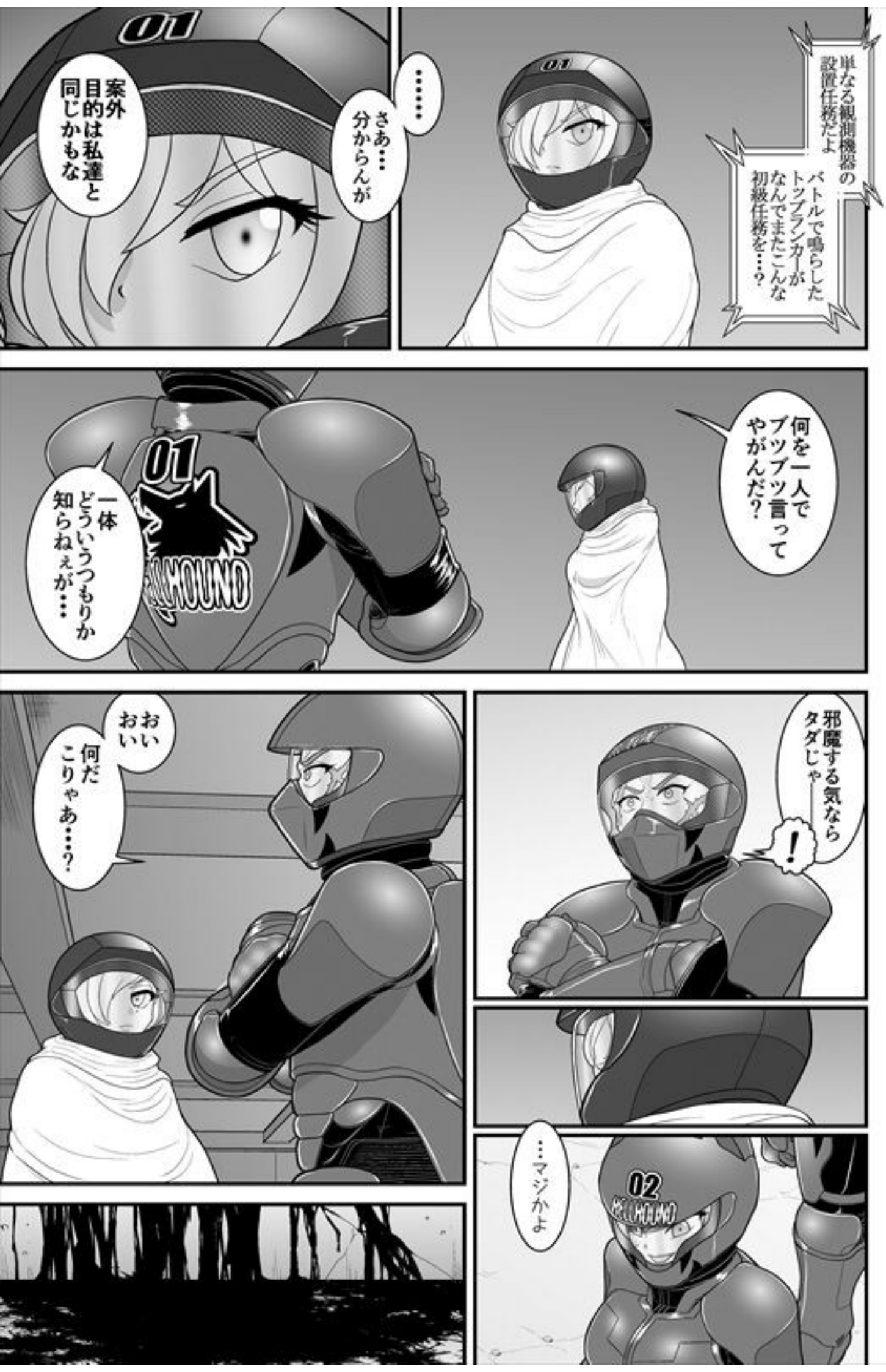
ん〜〜〜？
お前・・・！
ここで何してる？
何か臭うな
おい・・・
どういうことだ？
01
んーとね
ちょっと待って調べるから・・・

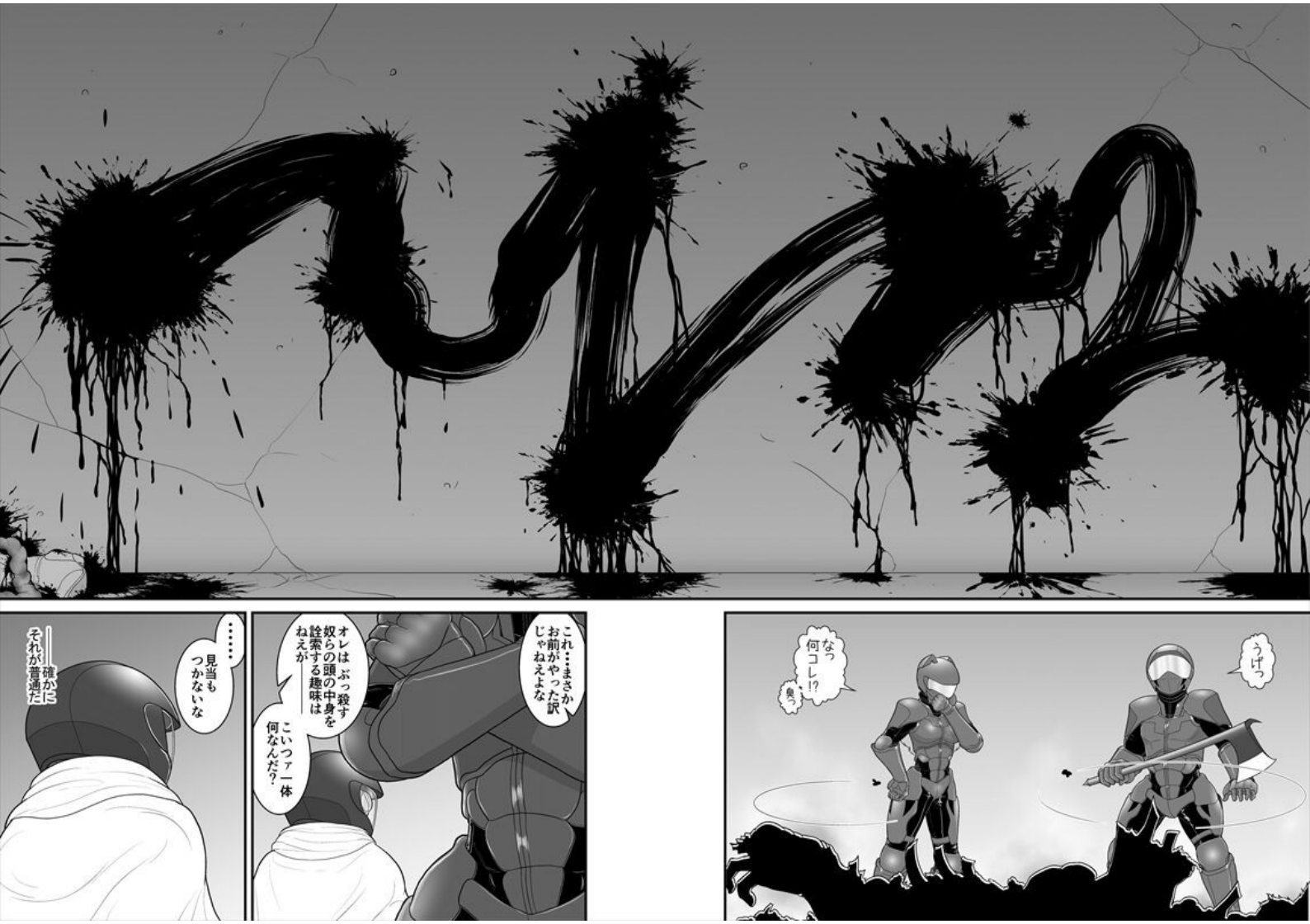
『魔犬』――
言わずと知れた「狂気の新世代」のシンボル的存在…
ランキング4位メンバーは49人
今期のKILL数はファースト・セカンド共にダントツの一位

リーダーはギャレットとメアリージェーンのブラッドリー兄妹
通称『血染めの双子』

まあ本当の兄妹かどうかは分からないし
デキてるって噂もあったりして――
あのな…
知ってる事と別に知りたくない事以外の情報はないのか

ハイハイ分かりましたよ…っと
あー
…にゃるほど
D-276
Rapid Arrow
FAILURE
同じ任務を同時に受けちゃってたのね
例の『瞬速の矢』が全滅して放棄扱いになってた奴
でも…何か変じゃない？


単なる観測機器の設置任務だよ
バトルで鳴らしたトップランカーがなんでまたこんな初級任務を…？
……
さあ…分からんが
案外目的は私達と同じかもな
何を一人でブツブツ言ってやがんだ？
一体どういうつもりか知らねぇが…
邪魔する気なら
タダじゃ――！
おいおい
何だこりゃあ…？
…マジかよ


うげっ
なっ
何コレ!?
臭っ
これ…まさか
お前がやった訳
じゃねえよな
オレはぶっ殺す
奴らの頭の中身を
詮索する趣味は
ねえが
こいつァ一体
何なんだ?
……
見当も
つかないな
――確かに
それが普通だ

だが あいつを
追ううちに――
私は"奴ら"の行動に
違和感を覚え始めた

"奴ら"の事を
いくら考えても
答えは出ない
だから
思考停止して
ただ 殺す
その方が簡単だ

無軌道な殺戮と
その裏に見え隠れ
する作為
まるで何かを
伝えようとする
かのような――

奴らは群体
一体一体は群れを成して
獲物を襲うだけの単細胞
でしかない
だが……
それに意思を与え
動かしてる"頭脳"が
いるとしたら?

これ見よがしに
死体を撒き散らし
壁の近くまで
群れを送り込み
そしてこれ――
ここに来る人間に
見せつけるための
『存在表明』

——そう

これは『示威（マーキング）』だ

この世界は我々のもの

次はお前がこうなる

上等だ

これが生存競争だと言うのなら

受けて立ってやる

ん

おい…
どこ行くんだ？
帰る
もうここに用はない
ここの任務ならお前達に譲る
機器は『瞬速の矢』が持ち込んでるはずだから後は起動するだけだ
じゃあな
幸運を祈る

…ふん
よく避けなかったな

反応できずに縮こまるヤツは問題外だが

なまじデキる奴は反射的に避けようとして体のどこかを持っていかれる

!?

ちょっ…今の何!?

今のを見切ったのはお前が二人目だ

一人目は誰だ？

さあ？

…面白い

02 HELLHOUND

ギャリー

ヤっちゃっていいよな？

……程々にしとけよ

ゴッ!

ちょちょちょちょちょっとちょっと
待って待ってストーップ!!
何サラッと喧嘩買おうとしちゃってんの
『魔人』はマジヤバいって!
01
全員が例外なく"ゼカンド・キラー"かそれに相当する実力者
『異端者』みたいな身体能力だけの狂人とも違うガチの戦闘集団だ
いくらノアでも正面からやり合うのはまずいよ
挑発に乗っても何の得もないんだほっときなって
ん?
どした
急にビビり入っちまったか?
02
それともレース外でのマジバトル禁止とかいうつまらないルールを気にしてるのか?
安心しろよ
「標的が被ったら決闘で白黒つけてもいい」ってルールもあるんだぜ
…それなら今「譲る」と言ったばかりなんだがな
頭か耳が悪いのか?両方か?
も〜〜〜
またそーやって逆なでするようなことを……

01
とぼけるな
！
これが偶然だとでも言うつもりか？
お前も同じ奴を追いかけてここに来たんだろ
アァァァァァ
パシッ
お前にどういう事情があるのかは知らないが…
こっちにも譲れない理由があるんだよ
っつーのは建前で…
単に強い奴と殴り合いたいだけなんだがな
…どうだ？
後腐れのないように…
02
HELHOUND
一対一で決着つけようぜ
拳でなッ

ガッ
いいだろう

あ――
も――…
結局こうなるのね

ああ見えて結構熱くなりやすいタイプなんだよな
まそこがまたカワイイところでもあるんだけど…

それにしても『魔犬』も"異生体"を追ってたとはね
これはある意味好都合かも

頭数は多ければ多いほどいい
「計画」の為には――

02
HELLHOUND

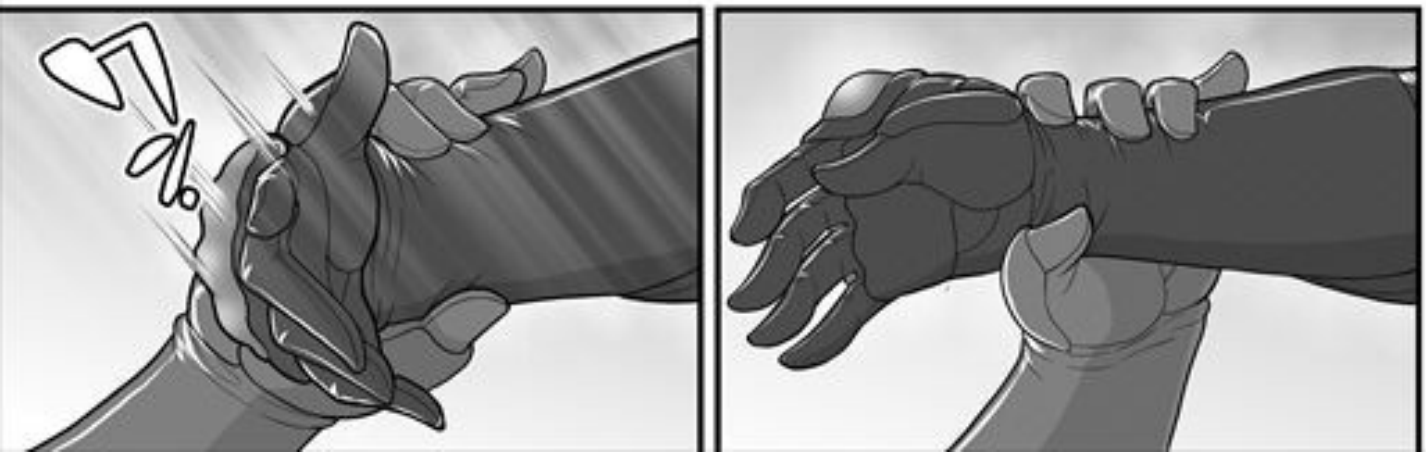
ザシッ
初手から隙だらけの振り回しパンチ――
こいつ…舐めてるのか？
それともただの喧嘩屋か……
茶番に付き合うつもりはない
手早く終わらせる

01

01
HELLHOUND
はッ
01

ザシッ
がっ
は…

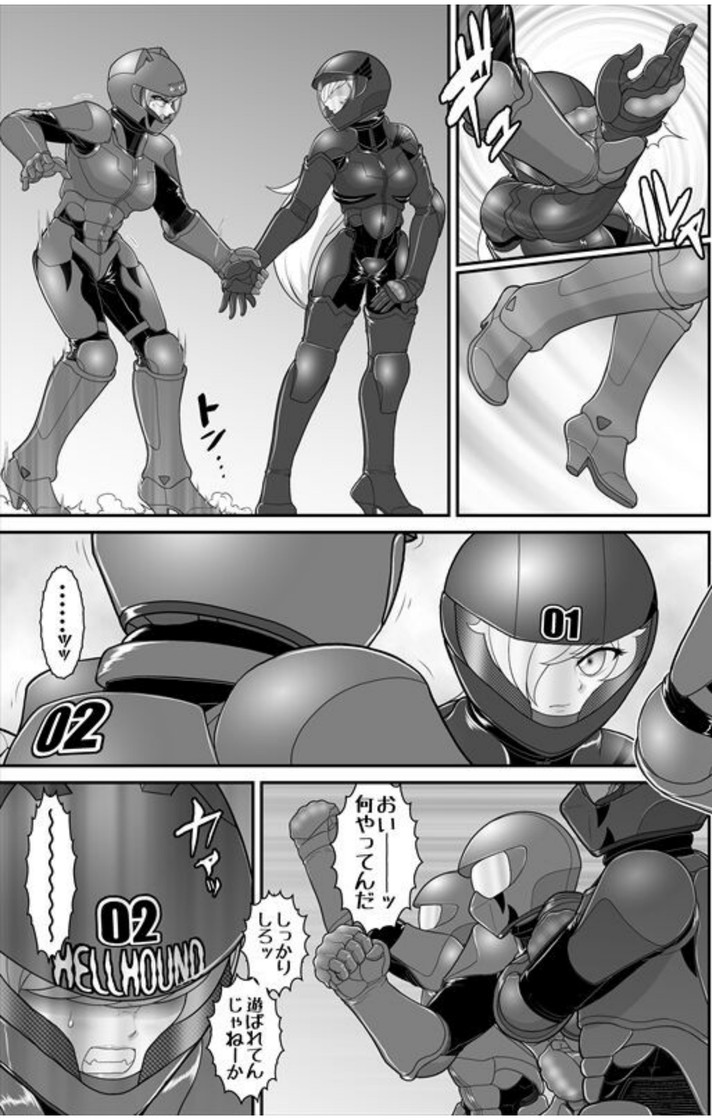
小賢しい技使いやがって
舐められたもんだぜ
全力でやる気がないんなら――
02
HELLHOUND
このまま
地面のシミになりな!!



ザク
う!?
お…っ
02
HELLHOUND
01
!!!!!

ザザァァ
くっ
この…

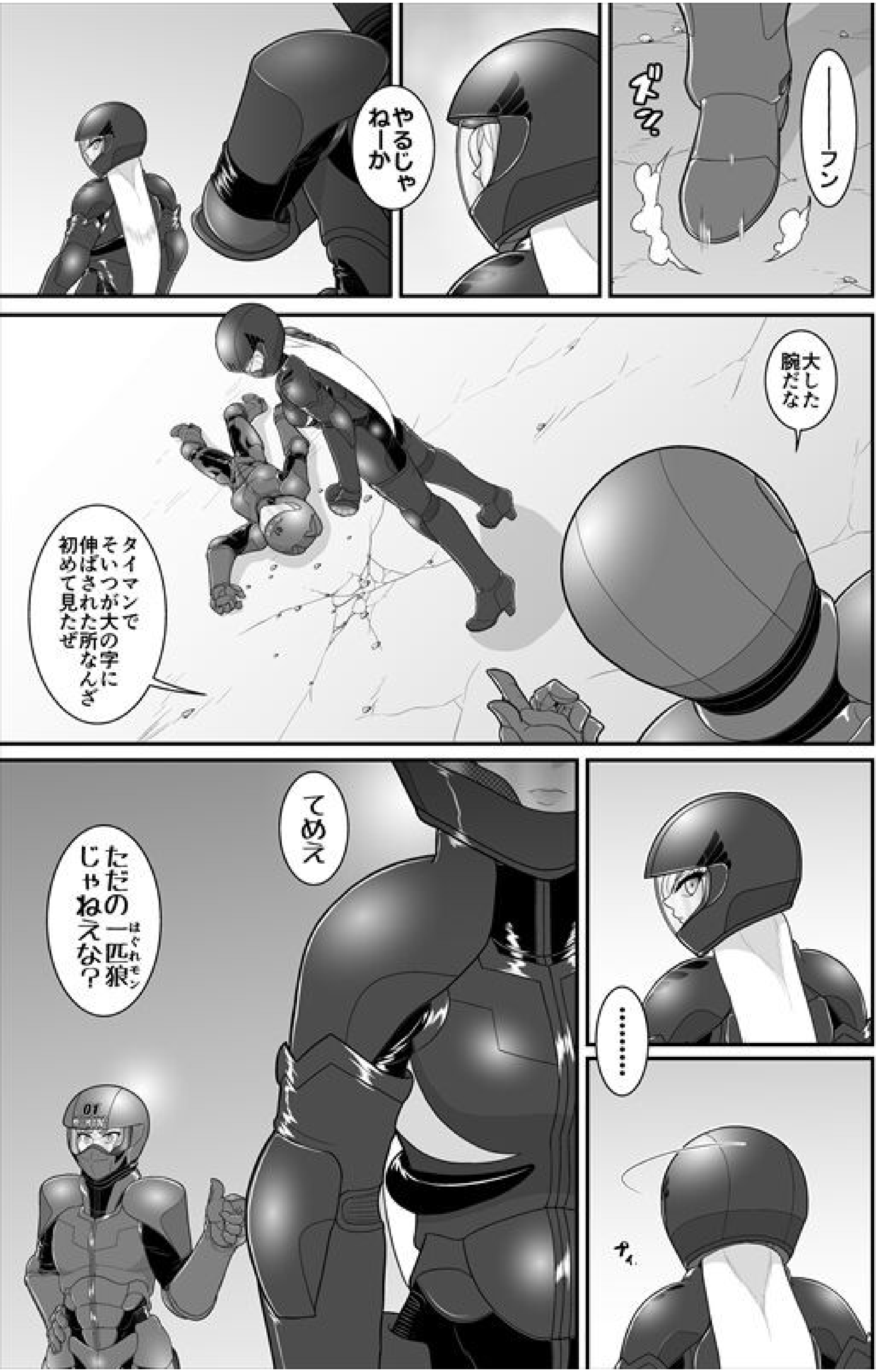
01
!?
07
HELLHOUND


トン・・・
……ッ
01
02
02
HELLHOUND
おい――ッ 何やってんだ
しっかりしろッ
遊ばれてんじゃねーか

01
シャッ
スカッ
!…
02
!?

01
02
02

07
11


――フン
やるじゃねーか
大した腕だな
タイマンでそいつが大の字に伸ばされた所なんざ初めて見たぜ
……
てめえ
ただの一匹狼（はぐれモン）じゃねえな？
プイ

こう見えて武術には詳しくてな
柔術か？それとも太極拳か？
初めて見る技だが……
明らかに訓練を受け洗練された動きだ

立居振舞いといい肝の座り方といい素人とはとても思えねえ
まるで歴戦の軍人って風格すらある

俺の親父は陸軍特殊部隊にいたんだが
野戦服を着てる時の雰囲気がまさにそんな感じだった

家じゃただのクソ野郎だったがな
だから世界がこうなった後真っ先にぶっ殺してやったぜ

……
何の話だ
家族問題のカウンセリングなら他を当たれ

当時のオレは鼻タレのガキで殺った時は正直ビビッてた
だが妹は一瞬も躊躇せずメッタ刺しにしてたよ
ぶっちゃけちょっと引いた
――まあ要するに

妹を
そいつ
01
甘く見るなってことだ
あはぁ☆
HELLHOUND
!
舌を噛み切って気付けを…!?
02
HELLHOUND

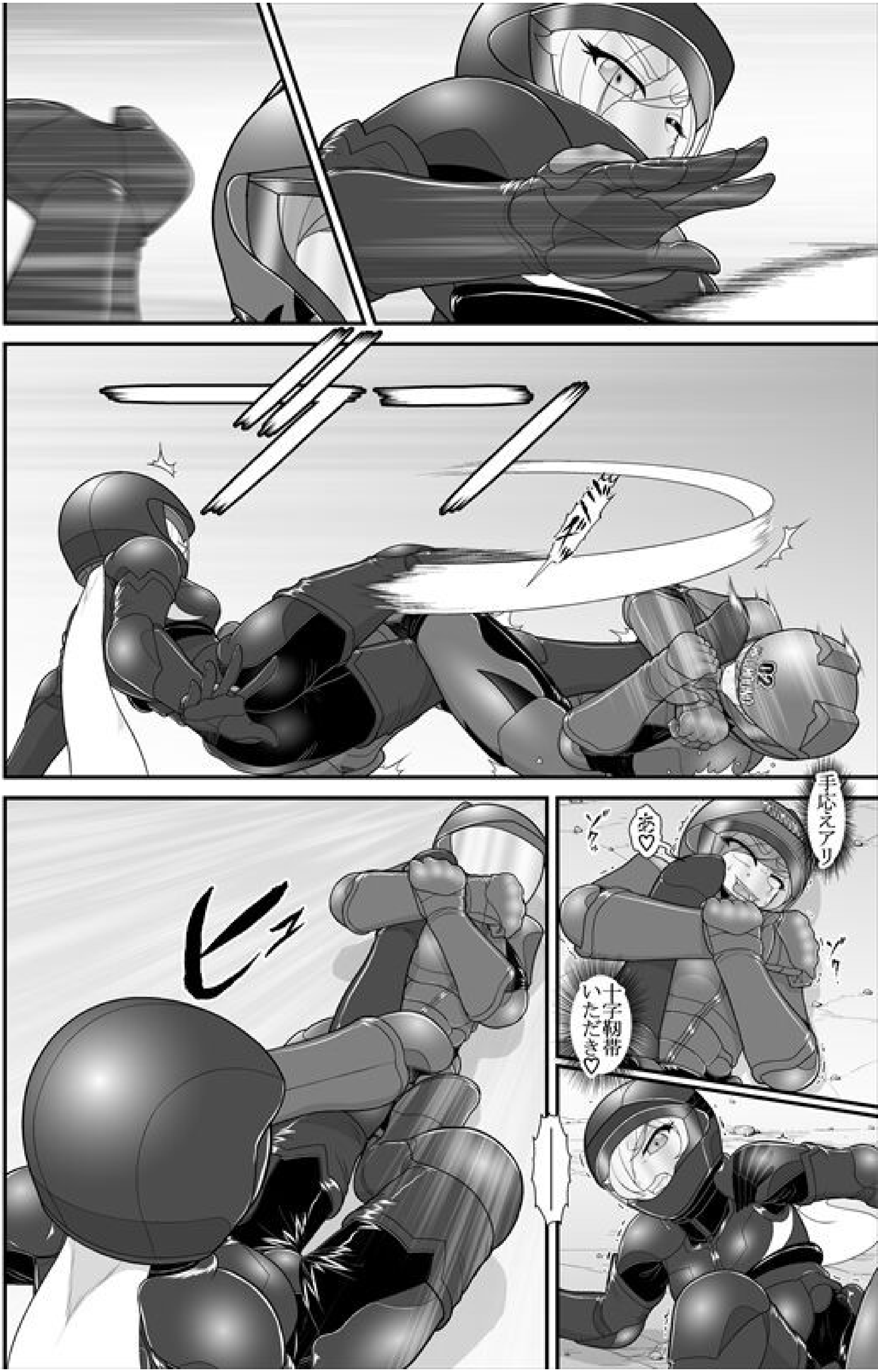
ただのケンカでそこまでする根性は見上げたものだ
だが
根性だけで勝てるのなら
世話はない

ドンッ!!
あ・・・
完全に手玉に取られてやがる
チッ
しかも向こうはまだ本気を出してもいねえ
もし…こいつが本気を出せば
オレ達より遥かに――
――いや
まだだ

まだ妹(あいつ)も
『本気』は見せてねえ
ギュル
ザザァァ
!!!!
ガッ

今度は

きっちり
ぶっ壊せ!!!



手応えアリ
あ♡
ゾク
ゾク
十字靭帯いただき♡
ビュ

ガシィ

捕まえた
02
HELLHOUND
あはははぁぁ
もう逃げられないぜエエエ

散々もてあそんでくれやがって

感じて来ちまったじゃねーかテメ――

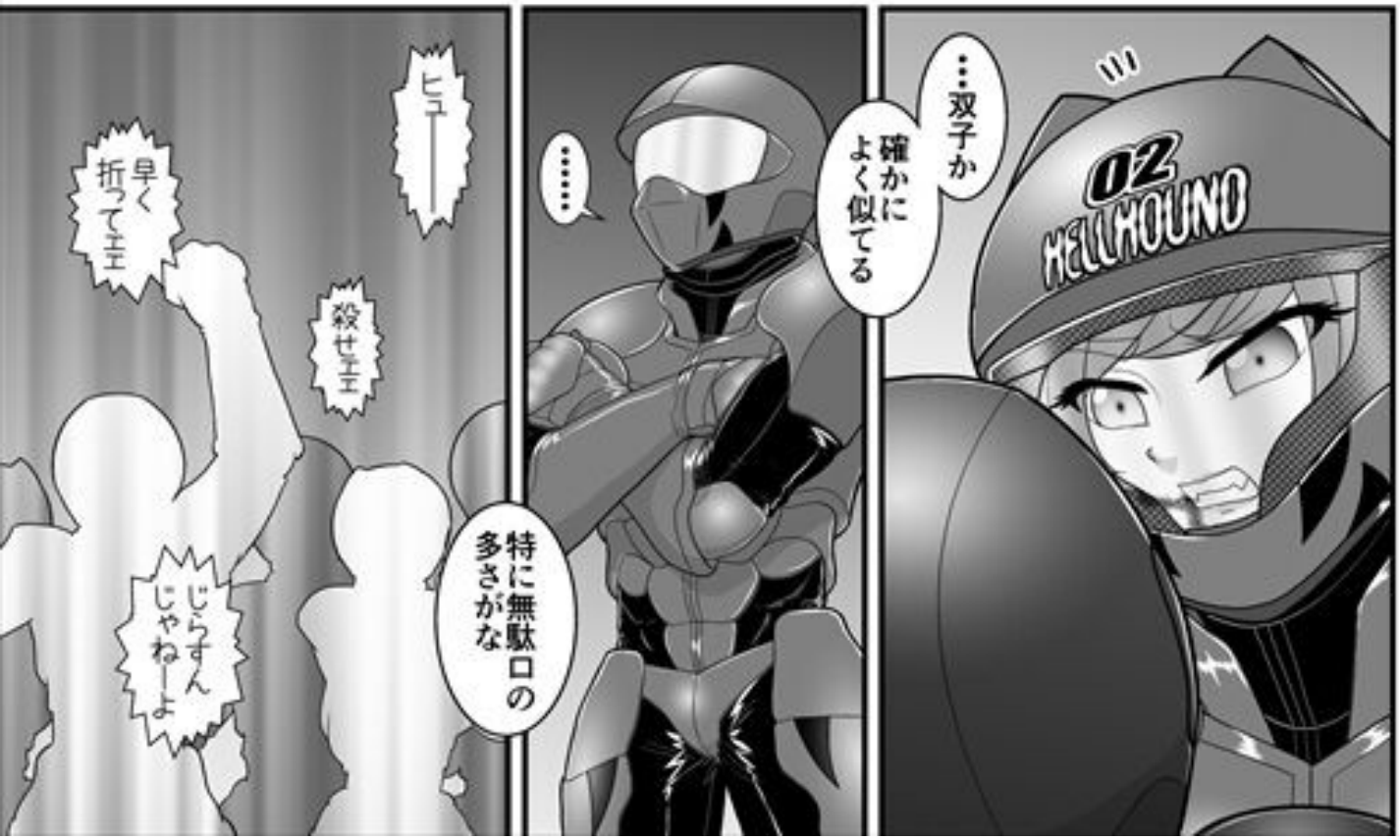
今度はこっちの番だ

たっぷり可愛がってやる

死にたくなるくらいイかせてやるぜ

いい声で鳴けよ

その方が燃えるからな



いいぞ

続けろ

今の所お前のお喋りは退屈だが

さっきの前戯よりマシだ

下手糞すぎて悲しくなる

メキ！

ン

だ

とォ

二度とそんな減らず口を叩けねぇように じっくり締め上げてやる
がっつくんじゃねえよ…
本番はこれからだ
せいぜい逃げてみろ
出来やしねえだろうがッ
うぐっう!!
……!?
イったァ──!!
WOO HOOOOOO!!!

…ッツ
ニュザッ
がっ
は・・・
ぐあっ
ズシャァァ

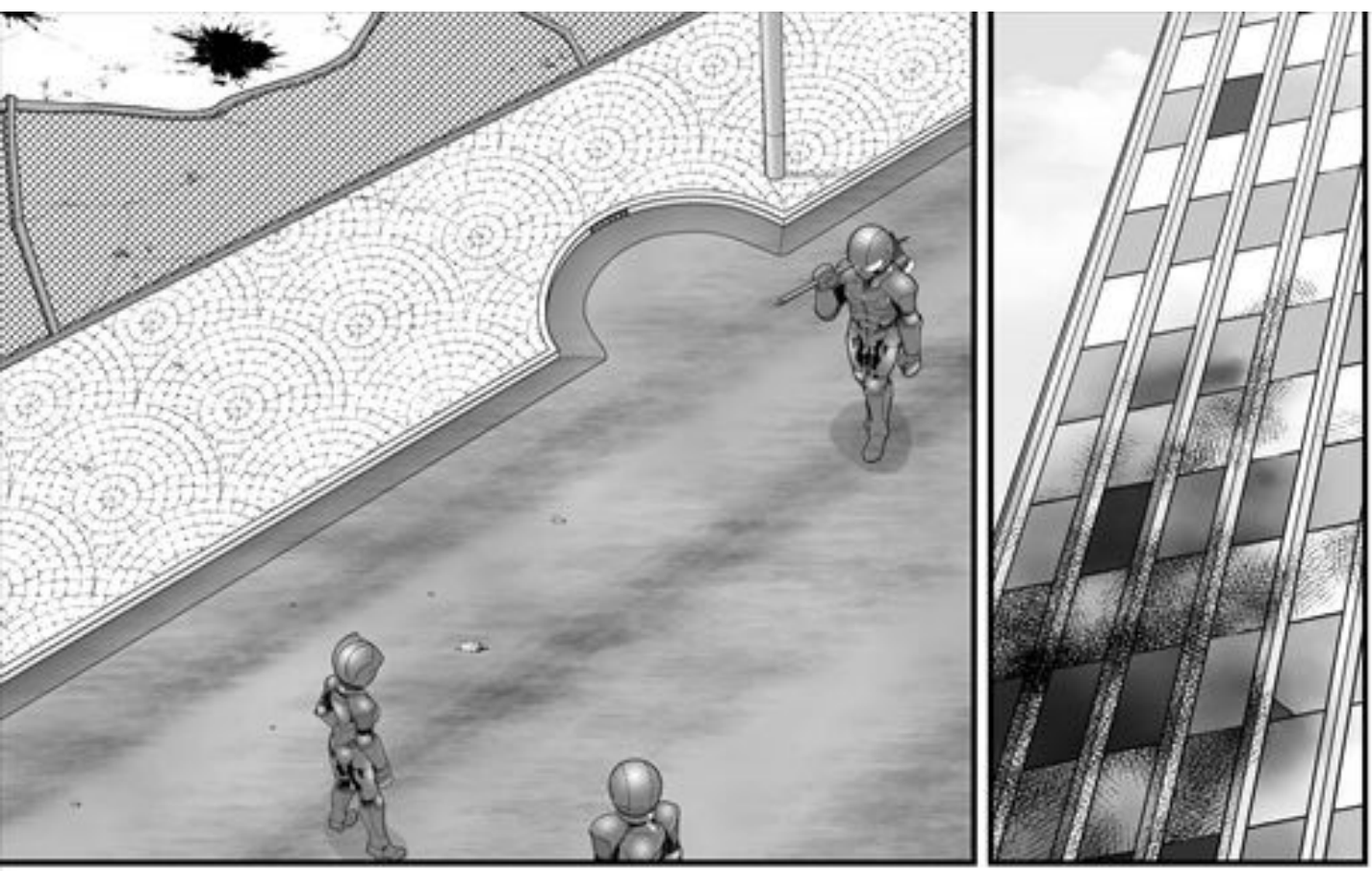
く…
バッ
ゴキン
おいおい何やってんだ
簡単に逃げられてんじゃねーよアホ!
腕一本で終わりかよ
オメー腕が落ちたんじゃねーのか?
うるせぇ!!
後でてめーの体で試してやる
02 HELLHOUND
こいつ…! 脱出するために自分から肩を外した…!?
…つーかそれ以前に——
何で
普通に立ってる!?

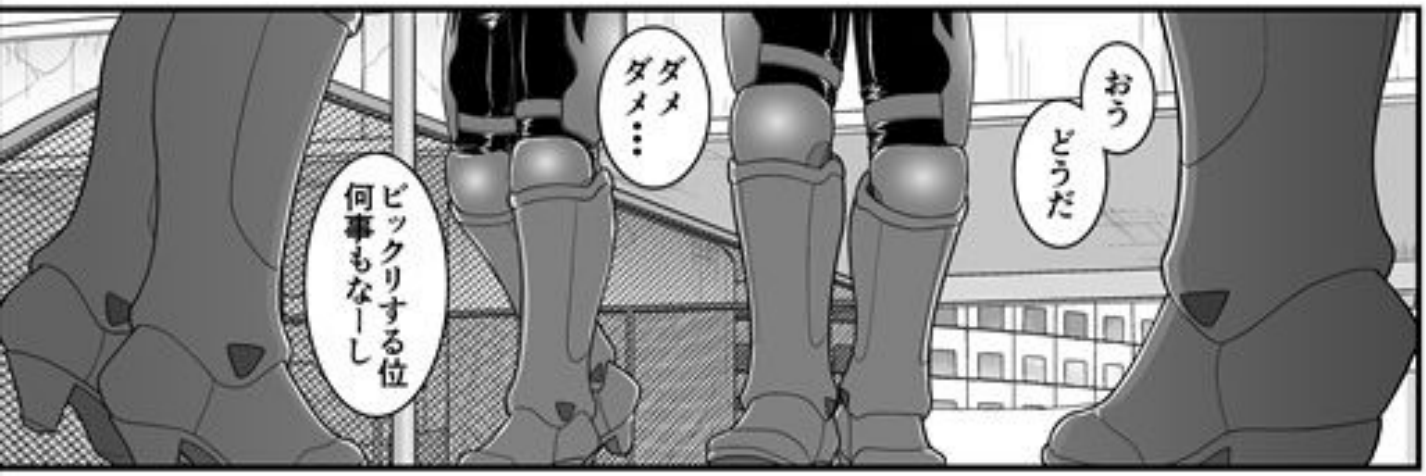
間違いなく靭帯が切れる感触があった—
普通なら激痛で息も出来ないはず……！
ん……ああ
左足のことか

もう治った
は!?
お前の無駄話のおかげでな
次からは口でする前に手を動かせ

デタラメ過ぎんだろッ
……てめえ……
一体……何なんだ？

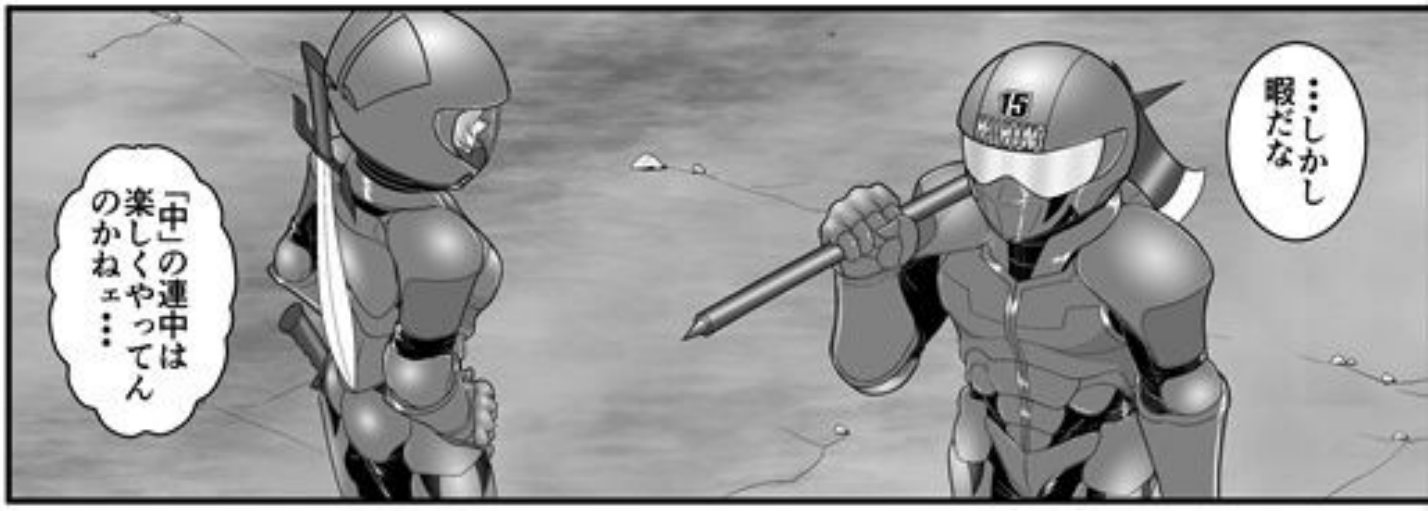
……なぜか最近よく聞かれるな
どうでもいいだろう
私が『何か』なんて——

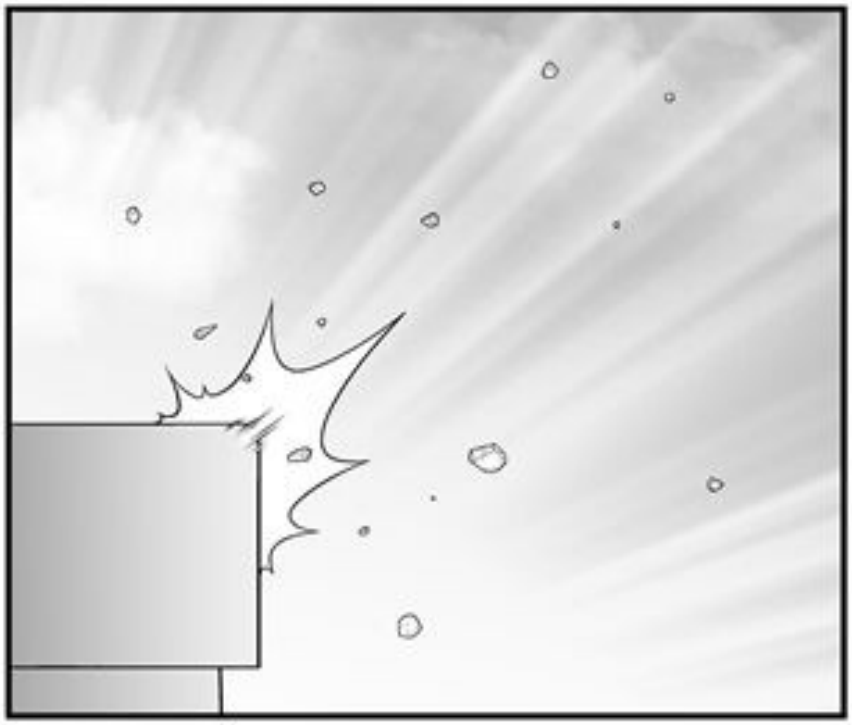



おう
どうだ
ダメ
ダメ…
ビックリする位
何事もなーし

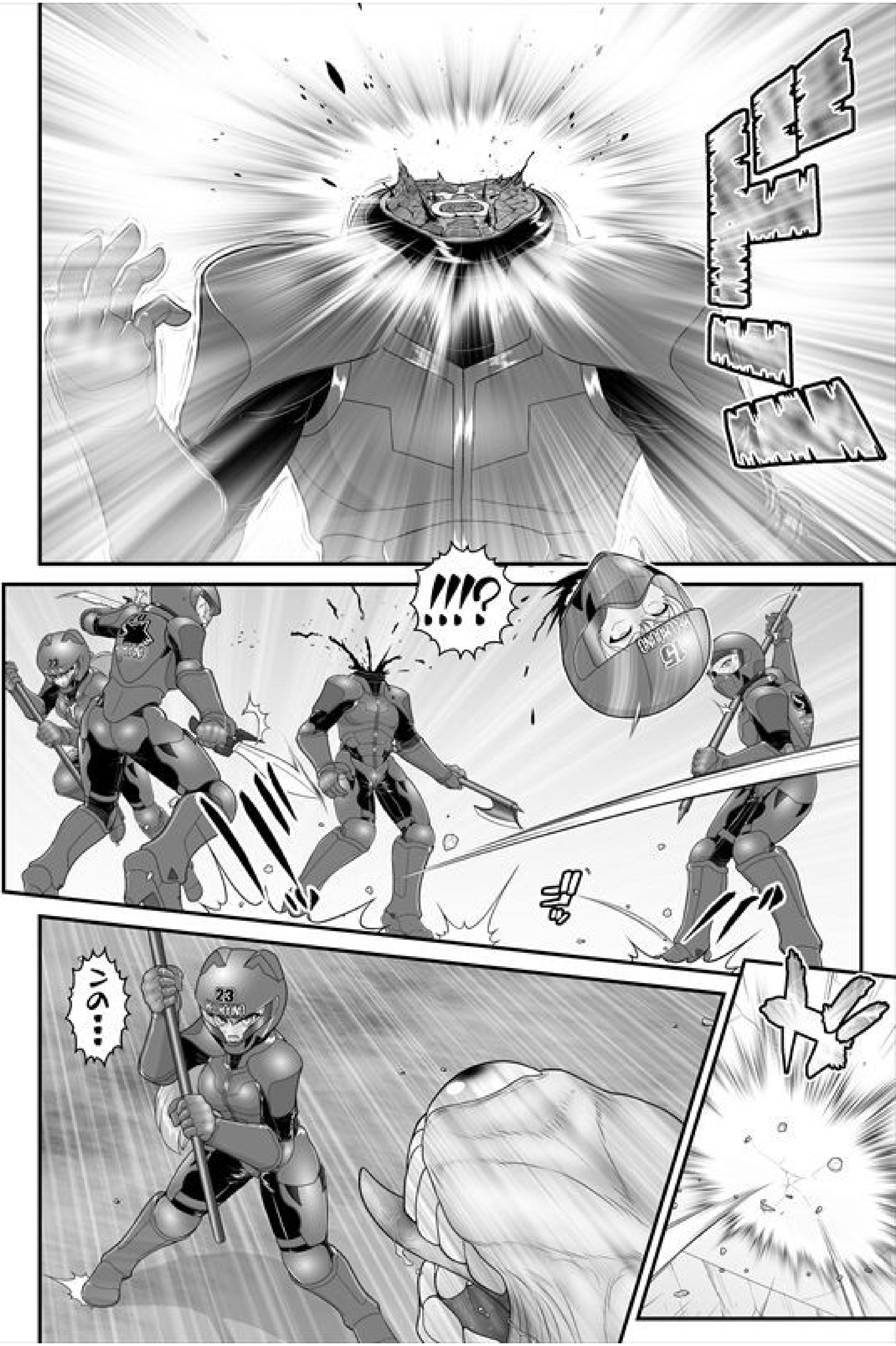
…一応
境界エリア
だよな？
ここ…
雑魚すら出ねぇ
ってのは逆に
おかしいぜ
『瞬速の矢』が
奴らを一掃した
とも思えねえ
しな……
20

…これ外の見張りに4人も必要かァ？
もうどっか遊びに行っちまうか
少し奥に行けば未踏の場所なんてまだまだあるぜ
ま、オレは奴らをぶっ殺せりゃなんでもいいけどよ――
ボリ
ボリ
グキャ


…しかし暇だな
「中」の連中は楽しくやってんのかねェ…



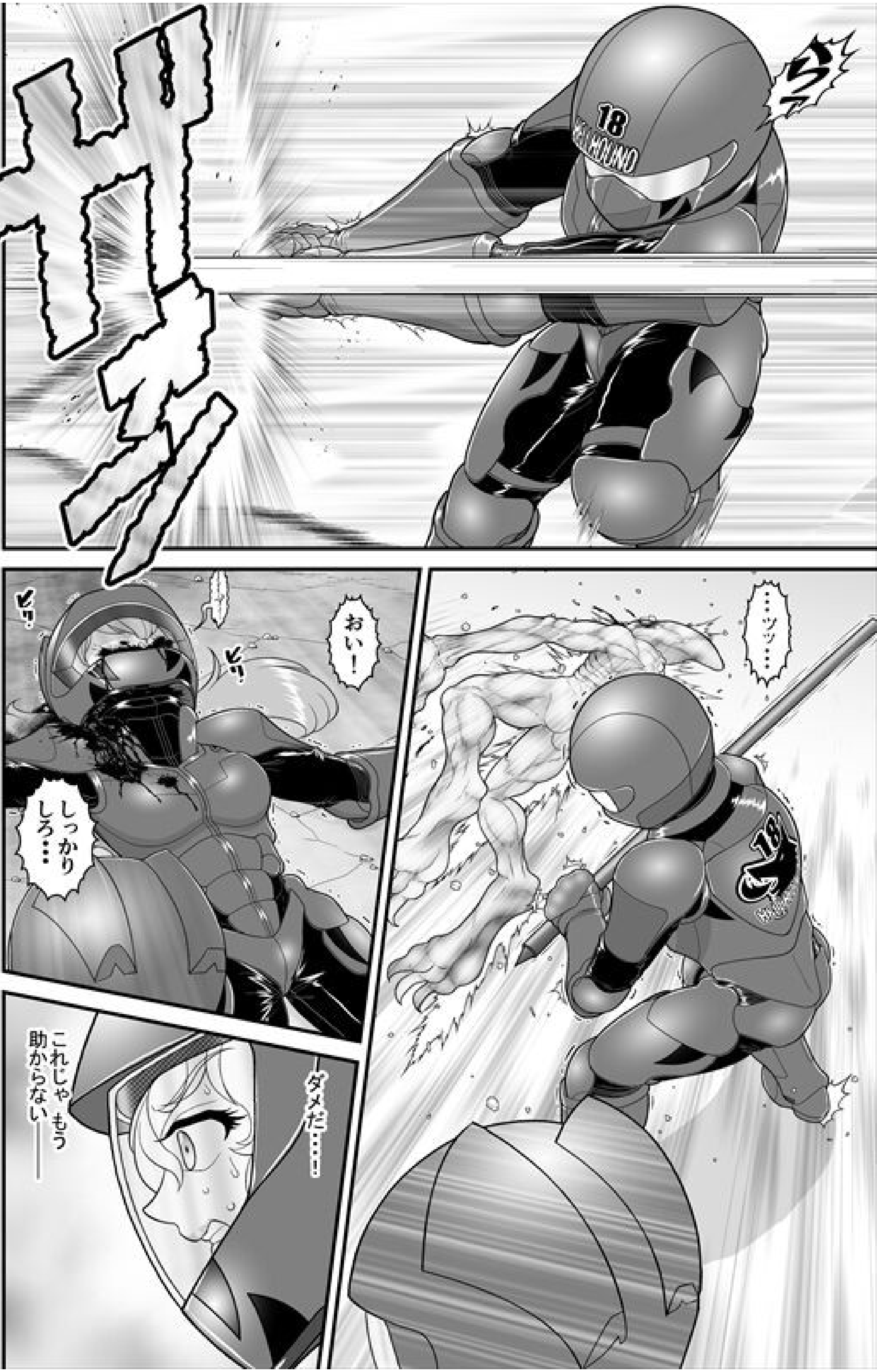
そんな事あるぅ？
マジだって
いや絶対ウソだね
アホなのは知ってるけどウソはねー
ケンカ売ってんのかコラァ
おいおい…
お前も煽んなって
ん？



!!!?
この…

23
HELLHOUND

ごっ
ごぷっ
ゴリ。
ゴリ
23
HELLHOUND
クソ野郎!!
ガキン.


ザクッ
…ッッ…
おい！
しっかりしろ…
ダメだ…！
これじゃもう
助からない――

感傷に浸ってる場合じゃねえぞ
こいつ――並の奴らじゃねぇ!!!
何だこの感触…!?
まるで硬質ゴムの塊…!
ビリ
ビリ
ビキ
ビキ
ビキ
ビキ
ノーダメかよ…!?
下がれ！下がれ！
来るぞ!!

ドドドド
ドドドド
……
18
HELLHOUND
20

何だ!? この速さ…

スプリンター”…だよな!?

打撃を受け付けない体オレ達の警戒範囲の外から一瞬で間合いを詰めるスピード――

こいつは殴ってもダメだ

こいつまさかッ――

オレが奴の動きを止める

その間に殺(ヤ)れ!!!

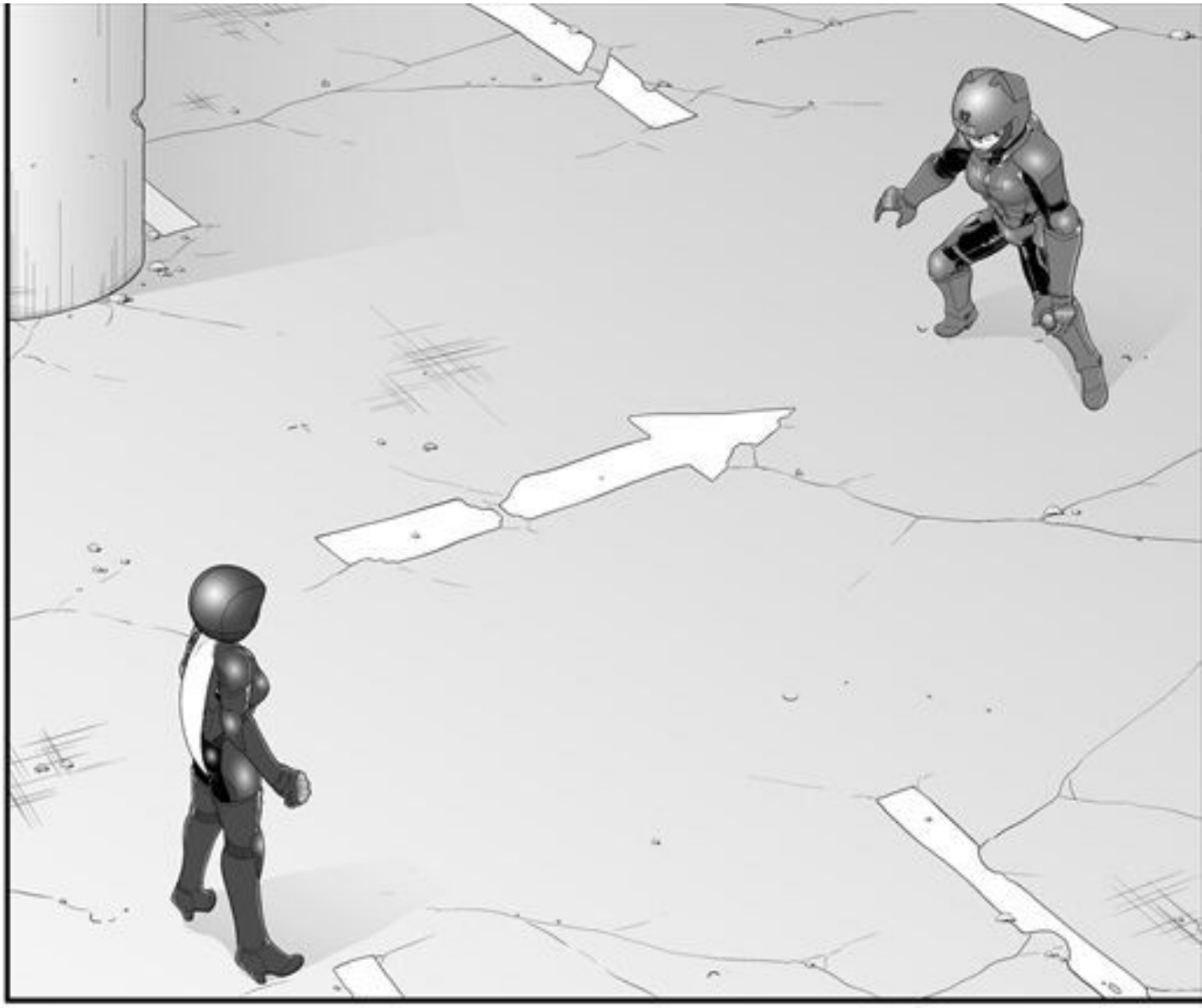
18
HELLHOUND
止め―
HELLHOUND
!?

“セカンド”の攻撃にも耐えるアーマーを一撃でッ…
ゲボッ
やはり…！こいつ――“ザード”!!!
貴様ァ――!!!
!!!

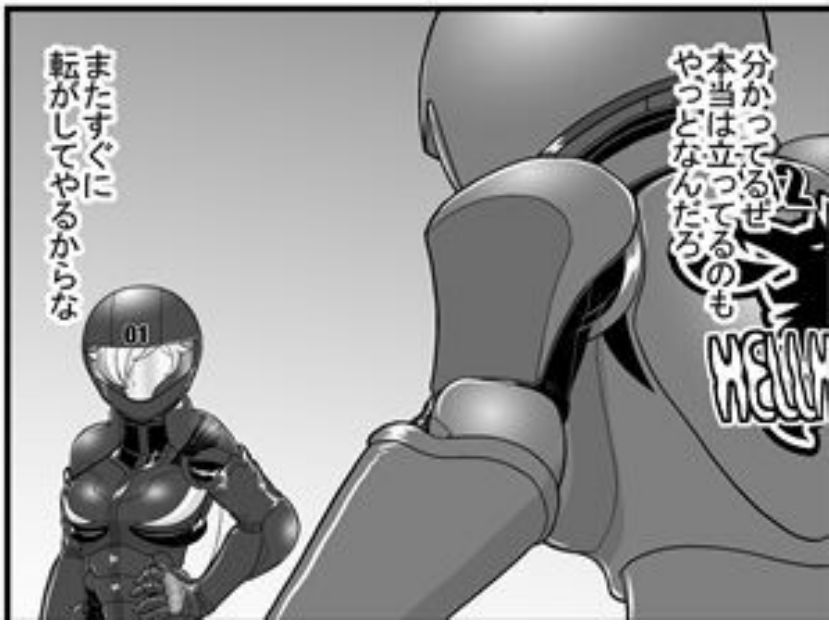
ガはっ
…く…
20 HELLHOUND
…!!
20 HELLHOUND
あっという間に…3人…!
強い……!!
D地区にいた奴よりも…!?
まさか——
こいつが『例の奴』…なのか……!?
カタ…
カタ
だとしたら…
…もう…ダメだ…!
カタ
20 HELLHOUND

何勝手に殺した気になってんだテメェ
オレァまだくたばっちゃいねェぜ
エマ!!
本隊と合流してこの事を伝えろ
対策なしでやりあったらひとたまりもねえぞ
でも・・・!
行けェ!!!
・・・・・・

オラァ
デメェの相手はオレだッ
どうした殺じでみろォ
ビキ
ビキ
来やがれッ
ブッ殺ッ
ドシュ



マジで治ったってのか…!?
いや…!ハッタリだッ


分かってるぜ本当は立ってるのもやっとなんだろ
またすぐに転がしてやるからな
01

こいつは痛みじゃ屈服させられねえ
折るなら『心』の方だ

ぎゃあああああああッ
!?
01

何だ!?

……
ズ…

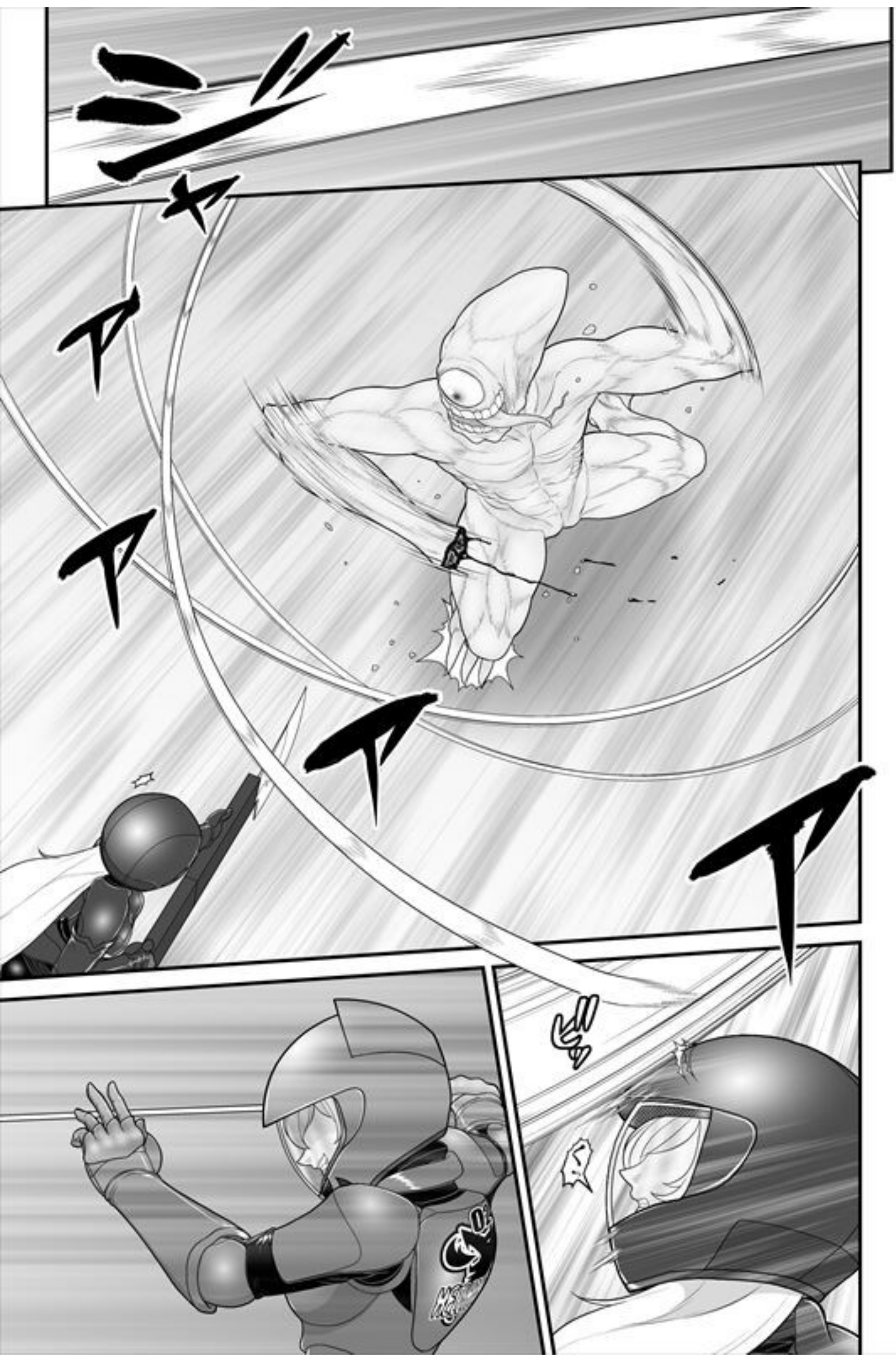
ひ……
ざい……!!
ドドドドドド
20 HELLHOUND
奴らだッ
戦闘態勢!戦闘態勢!!
くそッ
あいつがあんなヒョロヒョロ野郎にやられちまったってのか!?
パシッ

油断するな
全員で…
!!!
てめっ…
02
勝手に…
HOUND
あっ

!!!!!
が…っ表
01
…馬鹿にするなよ
ギ…

何度も
同じ手を――
ガッ
喰うかッ!!!

ギィエアァアァ


ミシ
ヤ
ア
ア
ア
ア

!!
ガシュ
ザザアア
ギ・リリ・リリ
…はッ
つかまえたぜ

よしッ、いいぞ…囲め!!
いいか先走るな、慎重にやれ

さーて・・・
どう料理してやろうか――
ガシッ
ス・・・
・・・動かない方がいい
運がいいな
重要な臓器や血管は外れているようだ
助かる可能性に賭けたいのならじっとしていろ
!
あ・・・・・・う・・・・
・・・・・・何だ
あうう～～

退がれっ!!!
!?
固まるな
あぁ?
何言ってんだあいつ…?
距離をとって散開しろ!!
……!?
……何だ?この音――

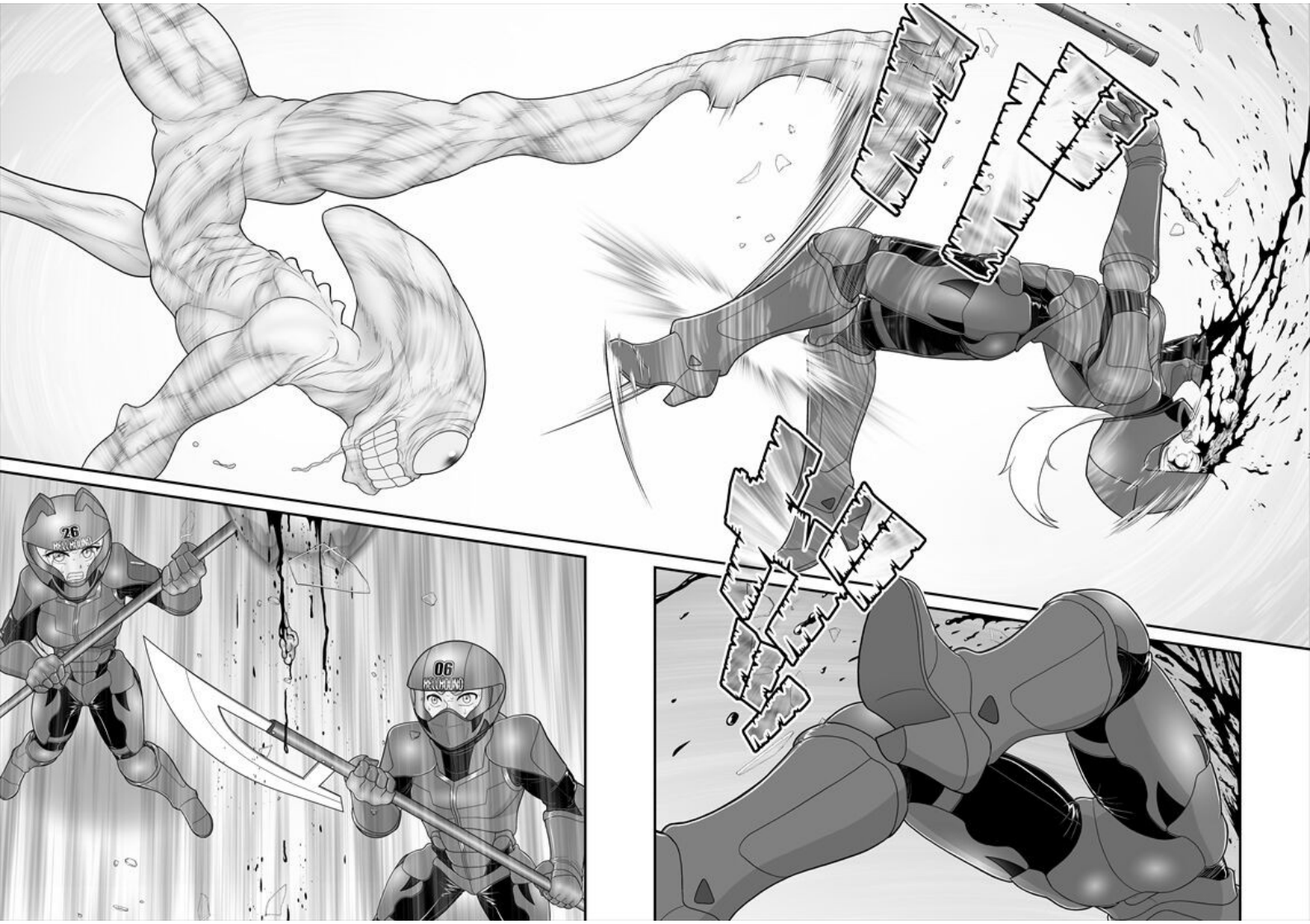
もういい殺れ!!
今すぐ殺れッ!!!
こいつ 何かする気か…!?
全身縛られてんだぞ!? 何もできやしねえ
!!!?

何……!?
こいつの言う通りなら――
この状況はまずい……!
01
HOUND

おおおおおッ
17 HELLHOUND
23 HELLHOUND

あう…
ぐはっ!!
ドカッ
このクソ

!?
…ひっ
ひいいいい――――
いやあああああ
やっ
やあ――

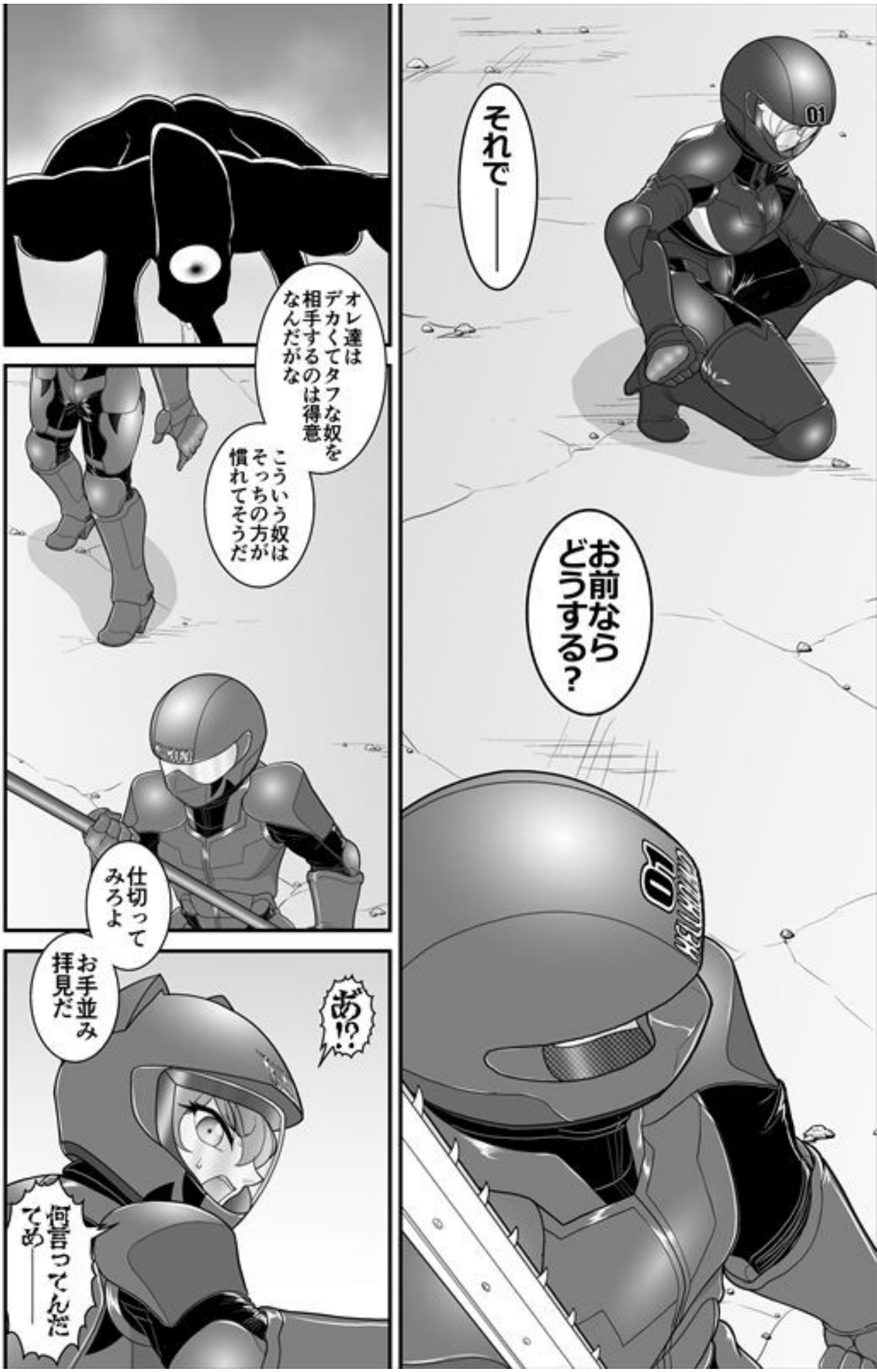

26
06

こいつっ……ーーッ!
速すぎる……
どうなってんだ!?
この異常な機動力ーー
間違いない…
報告にあった
『超』高速機動型!!
奴にとっては
壁も天井も
床と同じ
まさに屋内は
奴の領域だ

…ひょっとしなくても結構ヤバイ状況？
…かなりな
どこから来るか分からない上に「的」が多すぎて狙いが絞れない
壁を背負う戦法も使えなさそうだ
どうする……？
「魔犬」もこのまま尻尾を巻いて逃げるタマではないだろう
だが乱戦ともなれば奴の独擅場…
しかも私は集団で戦うのに慣れていない
があああ
メキ。
となれば…
採るべき道は一つしかない…か……
ヴェエエエ
ブル
ブル
ブル
ゲェエエエエ
ビクン
ビクン

ビキャ。
ビキャ。
ビク
ビク
ビク
畜生がッ
動くんじゃねえ!!!
ぶっ殺して――
でも……あいつが……!
どの道もう助かりゃあしねえよ落ち着きな

超スピード特化のサードか…
オレとした事がこういう奴がいる可能性を見落としてたぜ
おい…お前！
さっき何か言ってたな
こいつの事知ってんのか？
……
例の『報告』のことは黙っておいた方がよさそうだな
いや…初めて見る奴だ
説明が面倒だし「魔犬」は信用できない手の内は見せない方がいいだろう
だがこの手の奴に数の利がない事は分かるだろう
闇雲にかかってもパニックを誘発するだけだ
…だろうな


それで――
お前ならどうする？
オレ達はデカくてタフな奴を相手するのは得意なんだがな
こういう奴はそっちの方が慣れてそうだ
仕切ってみろよ
お手並み拝見だ
あ!?
何言ってんだてめ――

ガキッ

私を矢面に立たせて様子を見ようという肚か

…悪いが私は一人でやる方がいい

周りをウロウロされるのは迷惑だ

私が同じ事を考えていることを察して先手を打ってきたな

確かにただの戦闘狂ではないようだ

距離をとって自分を護ることにだけ集中してろ

逃げたければ逃げてもいい

あとこいつを何とかしてやれ死ぬぞ

だが――

任せると言うのなら

私の邪魔をするな

01

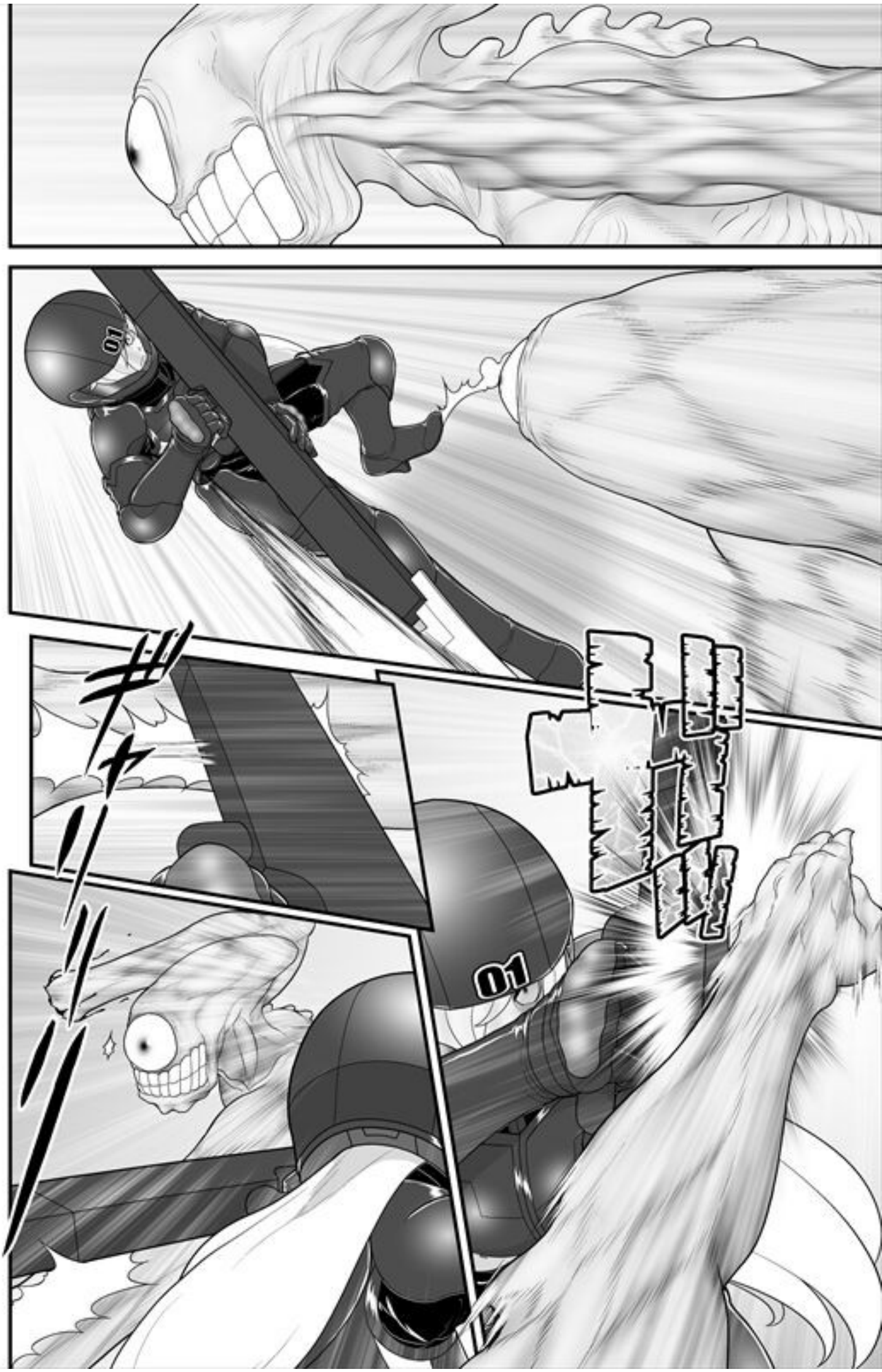
ザッ
01

ズ
ギィン
シュ
ドドドッ

01

01
浅い!!
ズザ
01

…マジかよ
あのバケモノと互角にやりあってやがる…！
…カッコイィ
チッ
何を考えてんだ？ギャリー
仲間が殺られてんだぞ
本気で譲っちまう気なのか？
認めねぇぞ
まだ勝負はついてねぇんだッ


01
01

終わりだ
何……!?

ギュン
!

うわ
……

ドッ
――ッッ

ド
ド
ド
ド
油断した……！
くっ
確かに刃が首に食い込んだ手応えがあった
まさかあの状態から反撃してくるとは――
……ッ
ガチャ
！
06

まずい……！

ズキン

さっき痛めた所がまた――

ズキン

こ……っ

こいつ……！

オレ達なんざ眼中にねえってのか……!?

ギチ…

ふざけやがって……!!

殺るぞ……！

!!!
!
おい…

!?
はッ

この…
…ひ…

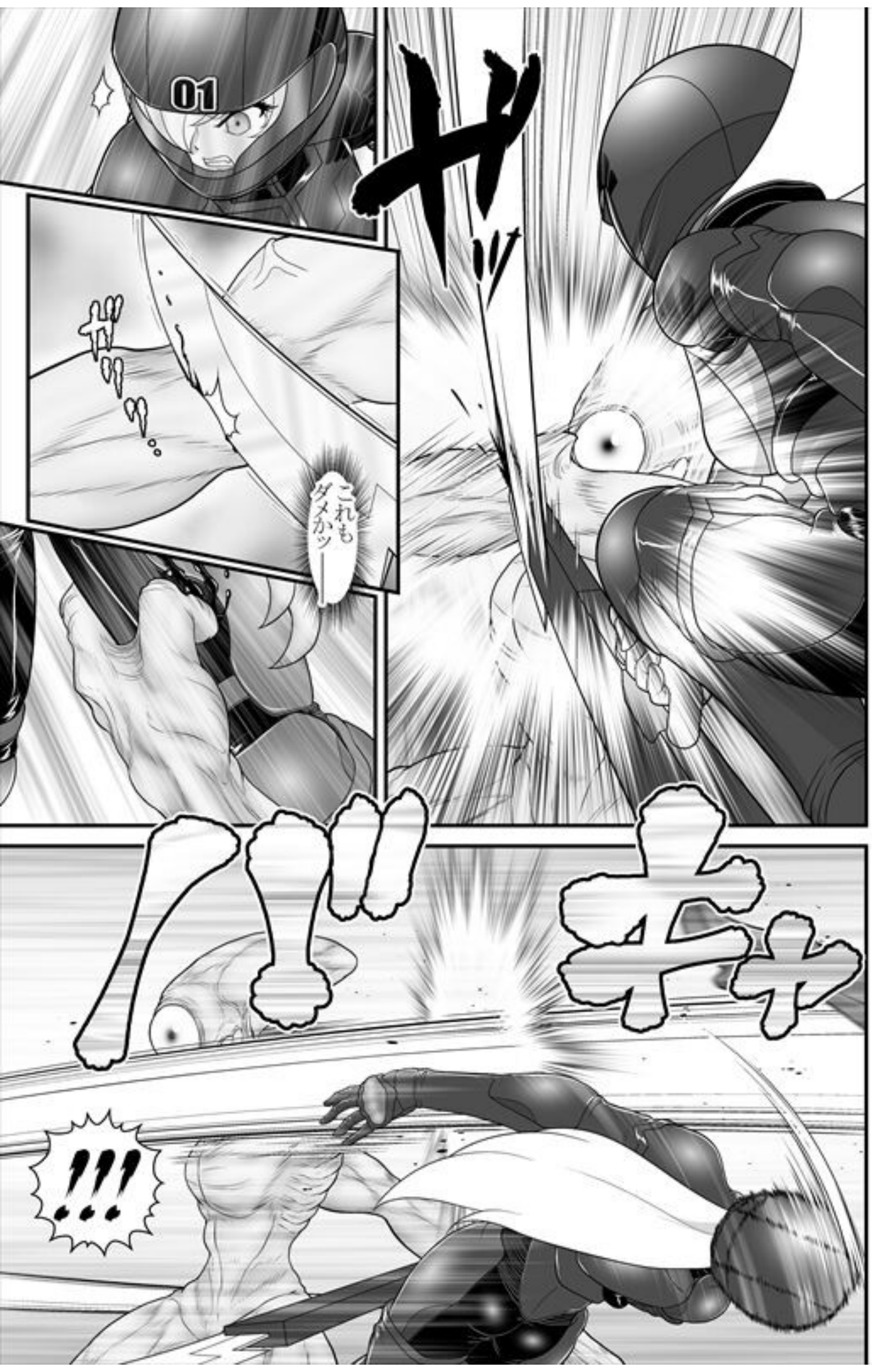
ぎゃあ
あ
ああ
ああああ
何…
あ
!!!

イヤ……
助
……

ズアアア・・
まだ生きてる・・・
助けるんだ早く!!
HELLHOUND
19
08

……
ブゥン
クソ…
これじゃ手が出せない…！
ザシュッ
08
HELLHOUND

完全にオレ達は"その他大勢"か
——しかしこれはどういう事だ？
01
"奴ら"は獲物に執着しねえ
近くにいる人間を無差別に襲うだけだ
だが 奴は明らかにあの女だけを執拗に狙ってる
腕をぶった斬られた報復って訳でもあるまいし……
01


01
これもダメかッ―
!!!

ザンッ
…った…
これで24回目ね
まだ続ける?

…あら
……
どうしたの
…分かんない
何で先生に勝てないのか分かんないし
こんな技練習して何の意味があるのか分かんないし
生きてる理由とか何か色々……
…とにかく分かんない
ああ
そういうお年頃ね
ねえ
私が教えてる「合気柔術」――その由来を知ってる？
柔術は元々戦場で敵を征圧し止めを刺す為の技
それが時代と共に護身術に変化して行ったものが合気柔術なの
TRAINING ROOM⇒
殺人術と活人術は表裏一体
そこに善悪や貴賤は無い
重要なのは「何故生まれたか」ではなく「どう使うか」
……？

あなたは戦う力を求めた

私達はそのための技と術を教えることは出来るけど、

その力をどう使うかはあなた次第

……

生きる理由だって同じことよ

例えどれほどの苦痛を伴おうと、

自分の命の使い方は自分一人で決めなければならないの

でも忘れないで

あなたは一人だけど独りじゃない

迷った時や壁にぶつかった時は誰かに頼ったっていいのよ

……先生……

ギュ

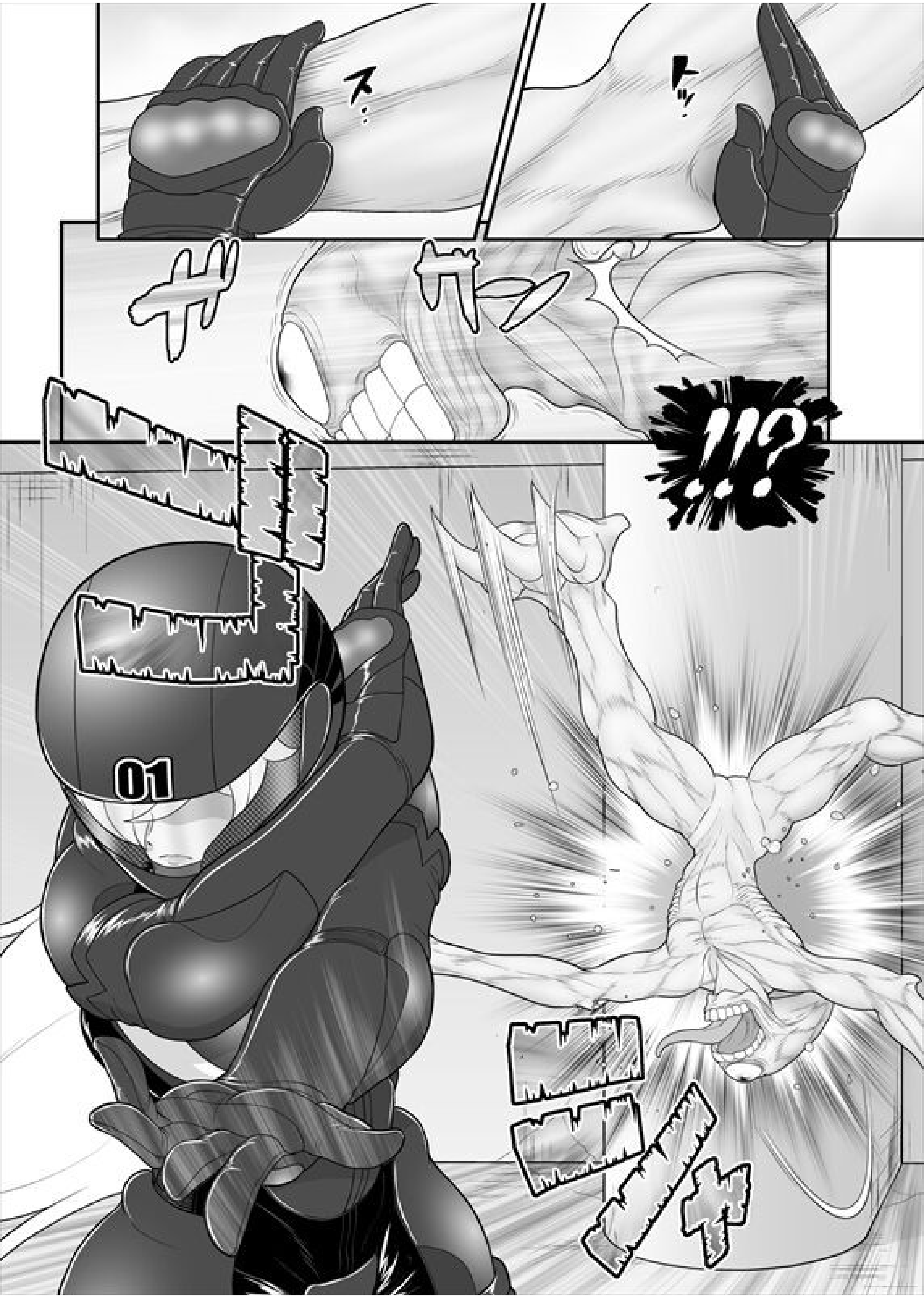
スキあり!!

ザシュッ

はい
25回目
まだまだ
甘いわね♡
……

――ア…
ノア!!!
う……
ゴホッ
起きて!!
奴が来るよ！
…あ……
…私の…ブレード……
パラ
パラ
…ここまでだな
さて…
奴の戦闘能力は充分見せてもらったが――
実際こいつは厄介な相手だぜ

外の連中が全滅したとなれば残りの戦力は21人
…少々心許ないな
最悪 メリー(あのバカ)とオレのどっちかが死ぬ事までは想定しておくべきか…
ス…



ズ・・
!!?

02
HELLHOUND
キュイン

アッ・
……
ビクッ
ビクッ
……

立ち上がるのも
やっとな状態に
見えたが…

まるで 魔法か
超能力だ

だ……大丈夫…？
………とりあえず…
…生きてはいる…
無意識に…
体が…反応した…
『奴ら』相手に使うことなど無いと思っていた技に――
助けられたのか――
時には誰かに頼ることも必要よ――
…悪いが少し集中したい
パシュ
通信を切るぞ
えっ⁉ちょっ…
ファサ

おい

覚えているか？

さっき私に「仕切ってみろ」と言っていたな

おーい

気が変わった

やはりそうさせてもらおう

ああ？

何だテメーいまさら…

…いいぜ

は!?

ただし覚えときな

オレ達とてめぇは仲間じゃねえ

指示には従ってやるが
てめぇがヤバくなっても助けは期待しねぇこったな
01

それはお互い様だ

ズ
ズ

で……？どうすんだ

悠長に作戦会議してるヒマはなさそうだぜ

作戦はない

基本的には今まで通り

何もするな

そこの――『1』と『2』

動くのはお前達二人だけでいい

02 HELLHOUND

!?

01 HELLHOUND

私が囮になって『奴』を引き付け隙を見て崩す
合図したらお前達二人で止めを刺せ
それだけだ
フン
簡単に言ってくれるぜ
おいっ!!
何勝手に話進めてんだ
アタシはやるなんて一言も言ってねーぞ
黙っとけ
お前は頭使わなくていいんだよ
バカだから

……

……

何……？

何も……見えない…

真っ暗だ…

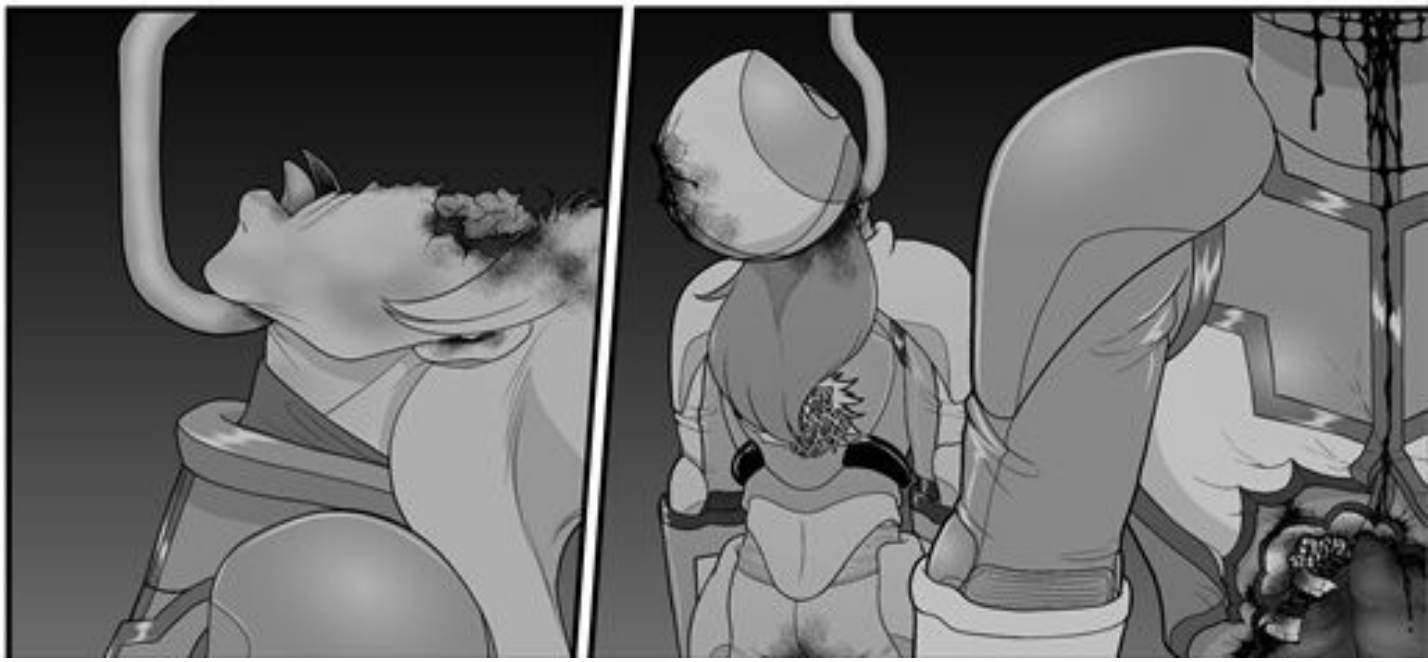
…一体……

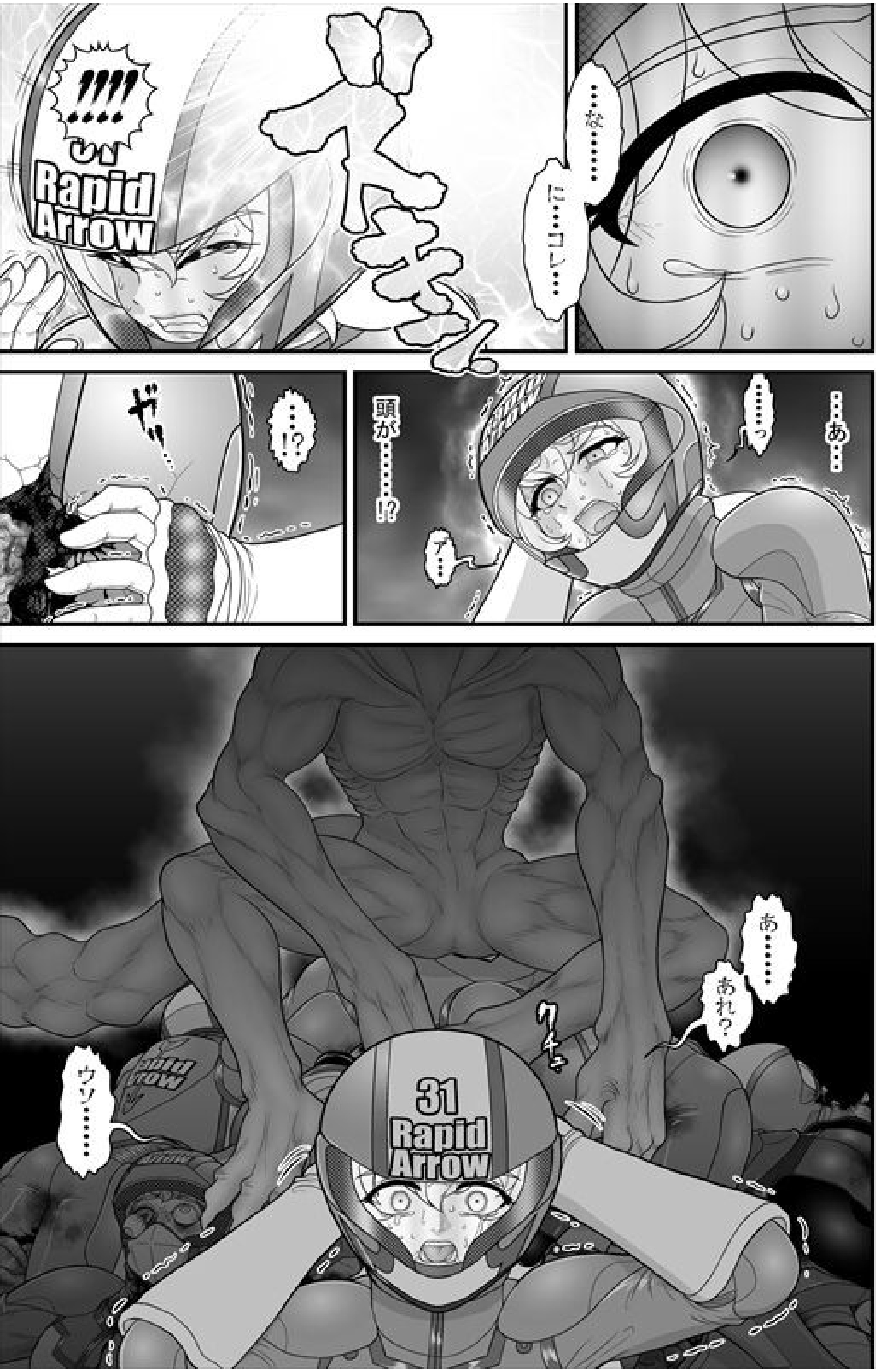
ここは……

何処……？

そ…そうだ…私……
何で生きて――!?
ガク
ガク
『奴ら』から必死で逃げて…
それから……
…ダメだ思い出せない…
ギリ
――もう乾いてる
何時間くらい気を失ってたんだろ…
それにこの臭いは――
ブロ…
カチ

……ス？





…な……
に…コレ…
ズキん
!!!!
Rapid Arrow
…あ…
……っ
頭が……!?
ア…
…!?
ザ…
あ……
あれ…?
クチュ
31 Rapid Arrow
ウソ……

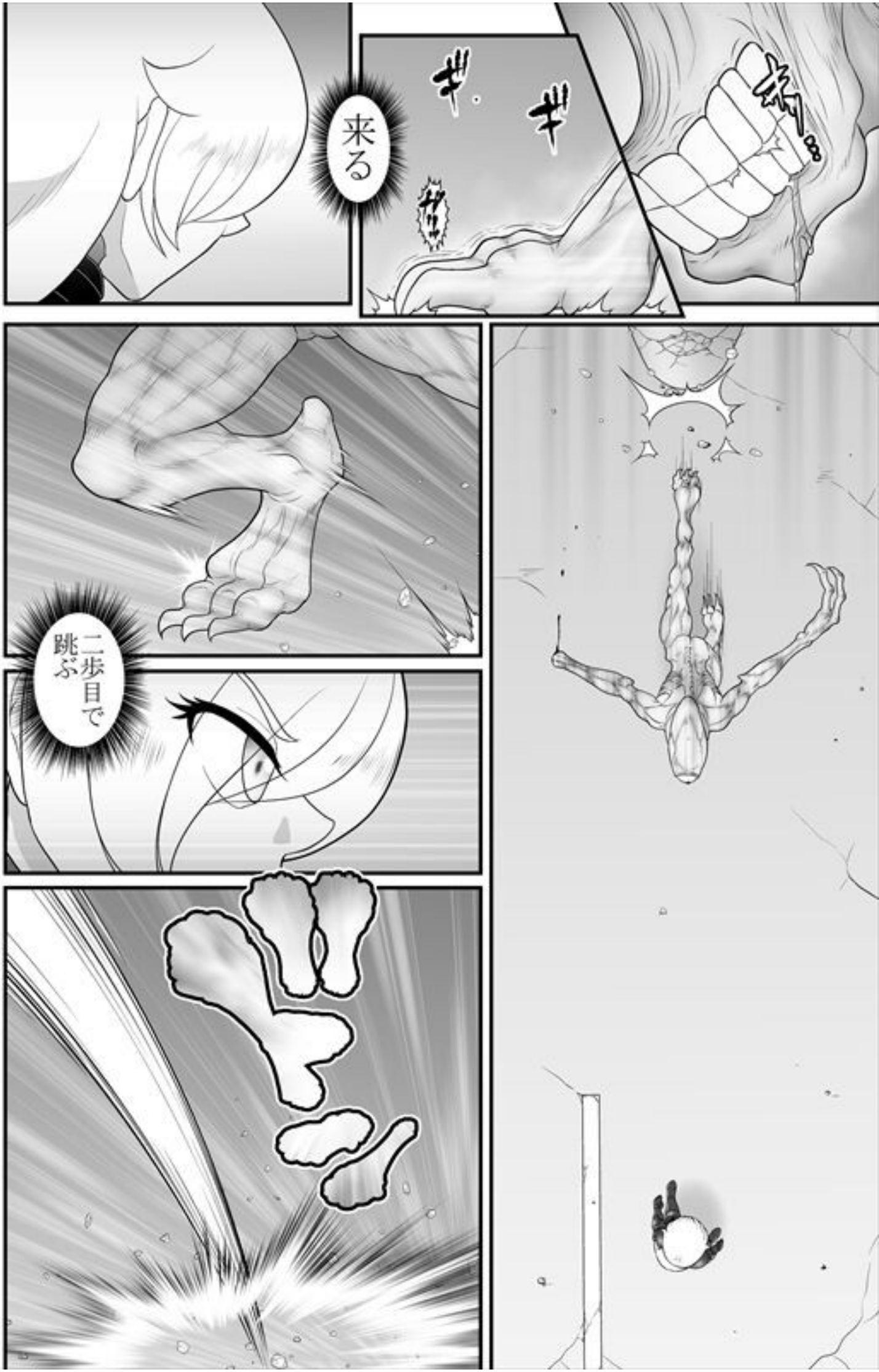
ARROW
あ
あああ
ああ
あ……

チュク.
クチュ.
……
ビクン
ビクン
あああっ
あっ
あっ
あっ
チョロロ…
あっ
あっ
はあっ
ガク
ガク
ガク
あっ
あはっ
あっ
あっ
あっ
あっ
はっ

メキ
メキ
ガク
ガク
ガク
パ
ギュッ
ズ…
クチュ…
あ……♡

ズ
ズ
ズ
呼吸を整えろ
心の逸りを抑え
体は自然体に
「構える」のではない
「備える」のだ

五感全てを研ぎ澄ませ
——まだ動く気配はない
ズリッ
ズリ…
目だけに頼ってはいけない
何が起きたのか分からないというツラだな
慎重にこちらの様子を伺っている
対手を「見る」のではなく
気の短い連中が焦れ始めている
特に双子の女の方は爆発寸前だ
てめー何てあの女に甘ぇんだ
まさか惚れたとか言うんじゃねーだろうな
あ——うるせぇ
キャンキャン吠えんな
チワワかよてめーは
空間そのものを「読む」のだ
余所見するな
集中してろ

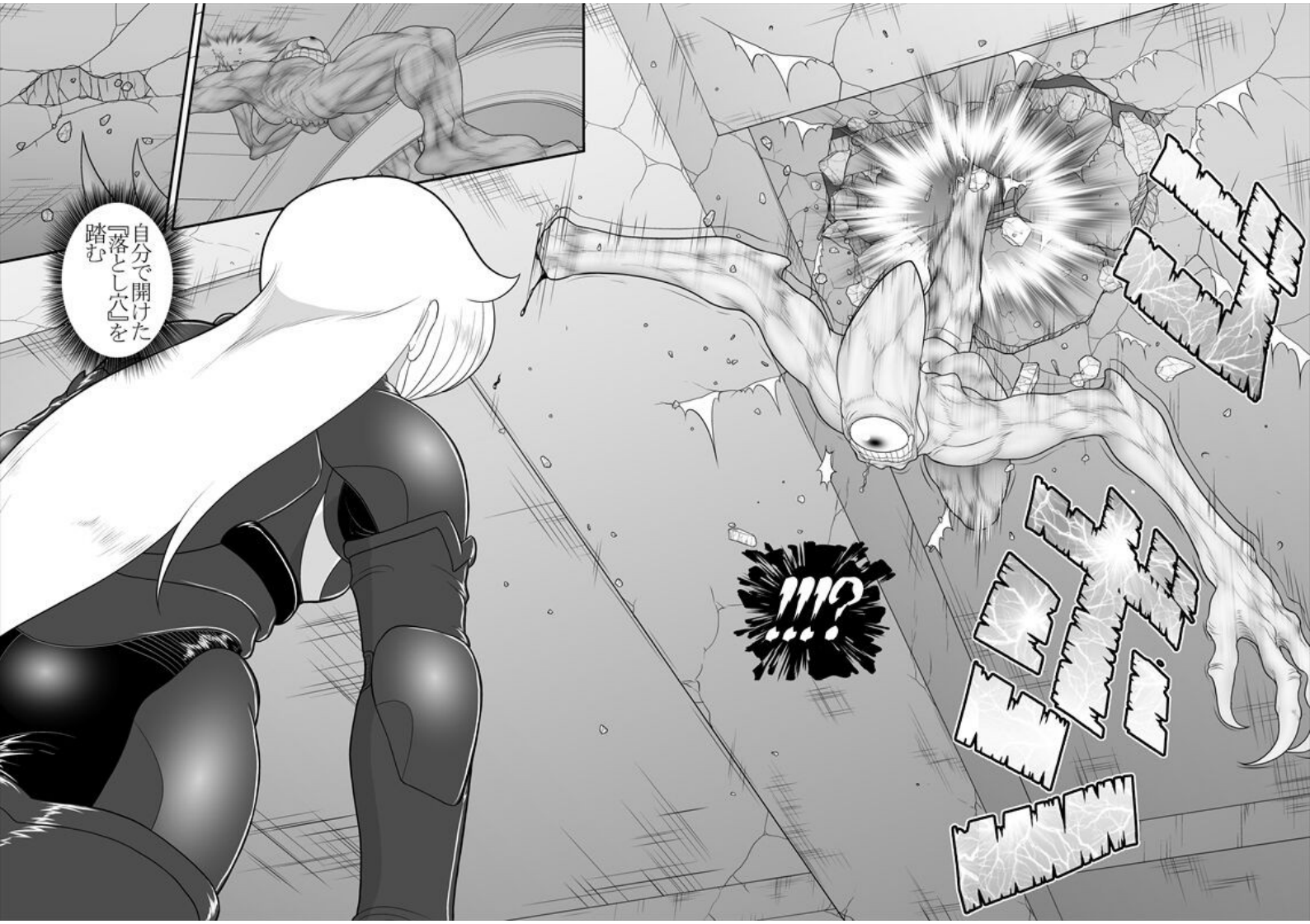

来る
二歩目で跳ぶ

跳び越えると見せかけて
死角
からの
蹴り

右の上段――

!!
ガガガガガガ

地面を蹴って跳ね上がり
天井に着地——
——そうそこだ


自分で開けた『落とし穴』を踏む
!!!?

E3
行くぞ!!!
!!

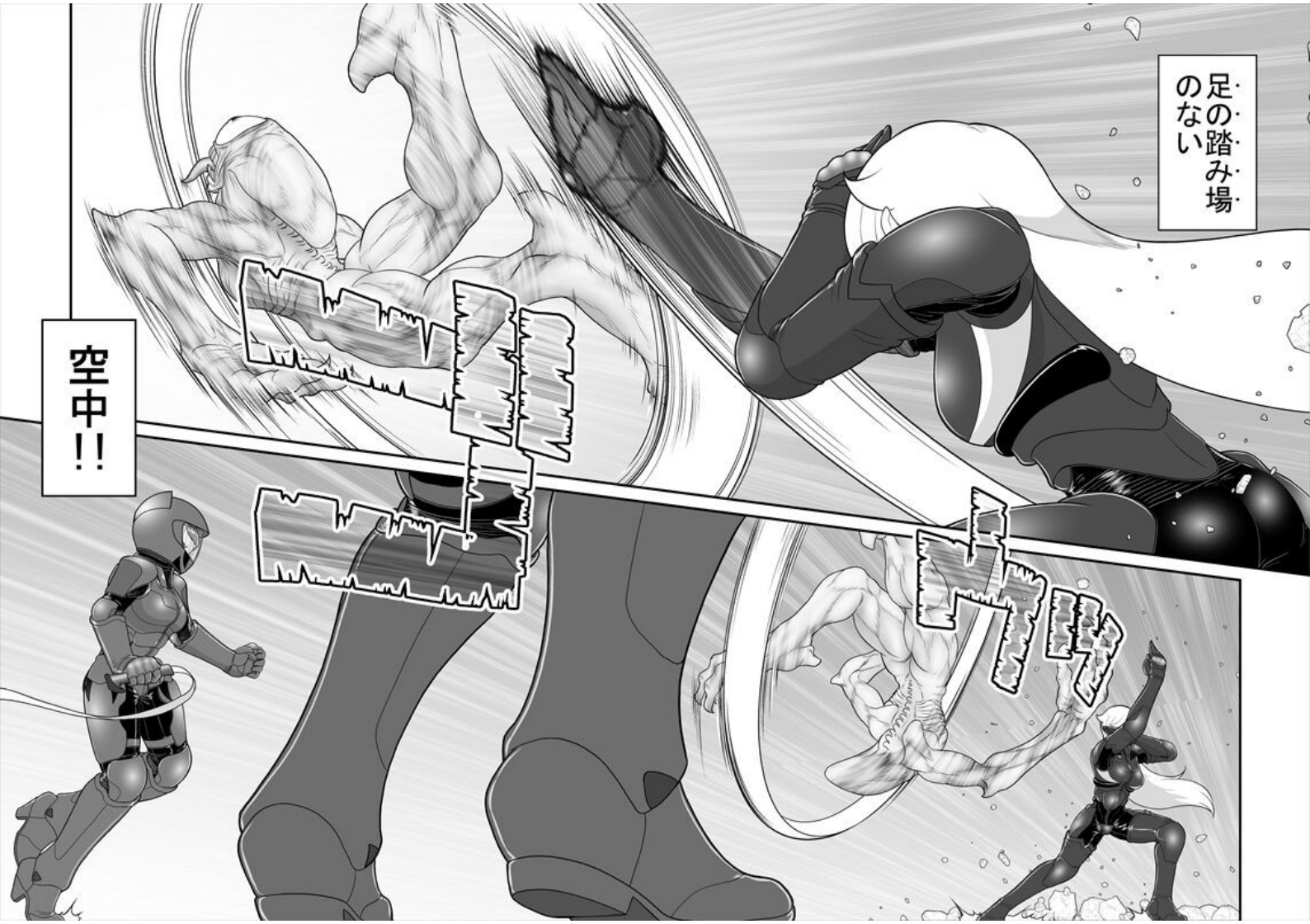
奴の最大の武器は
その異常な反射速度と
機動力を生み出す
両脚――

それは 踏みしめる
『地面』があって初めて
威力を発揮する

左から
蹴り上げ

ならば
必然――

おい…メリー
分かってるな
一発勝負だぞ
奴の弱点はその武器を使えない場所
すなわち――

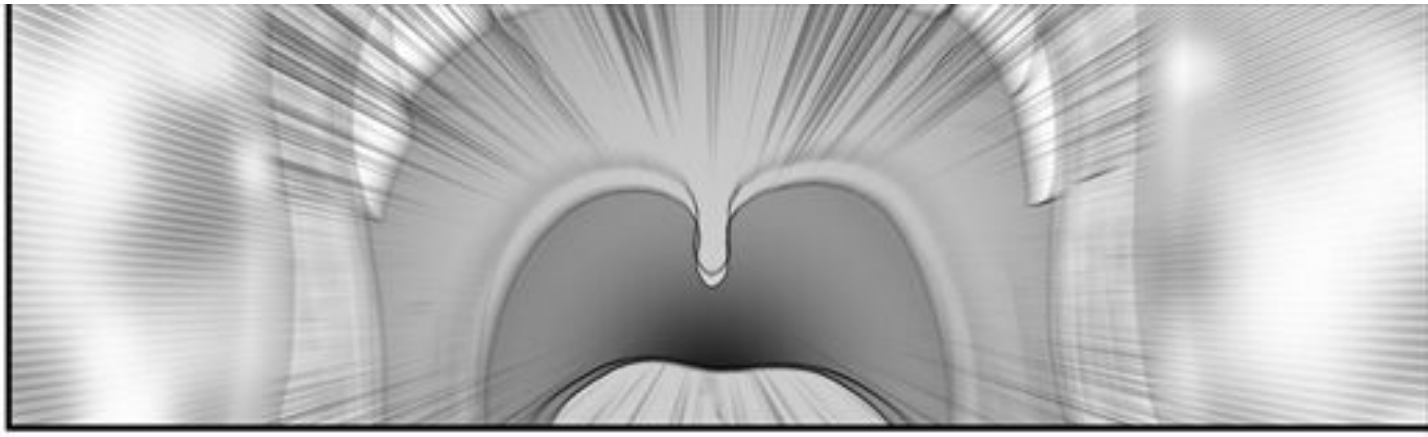

足の踏み場のない
空中!!

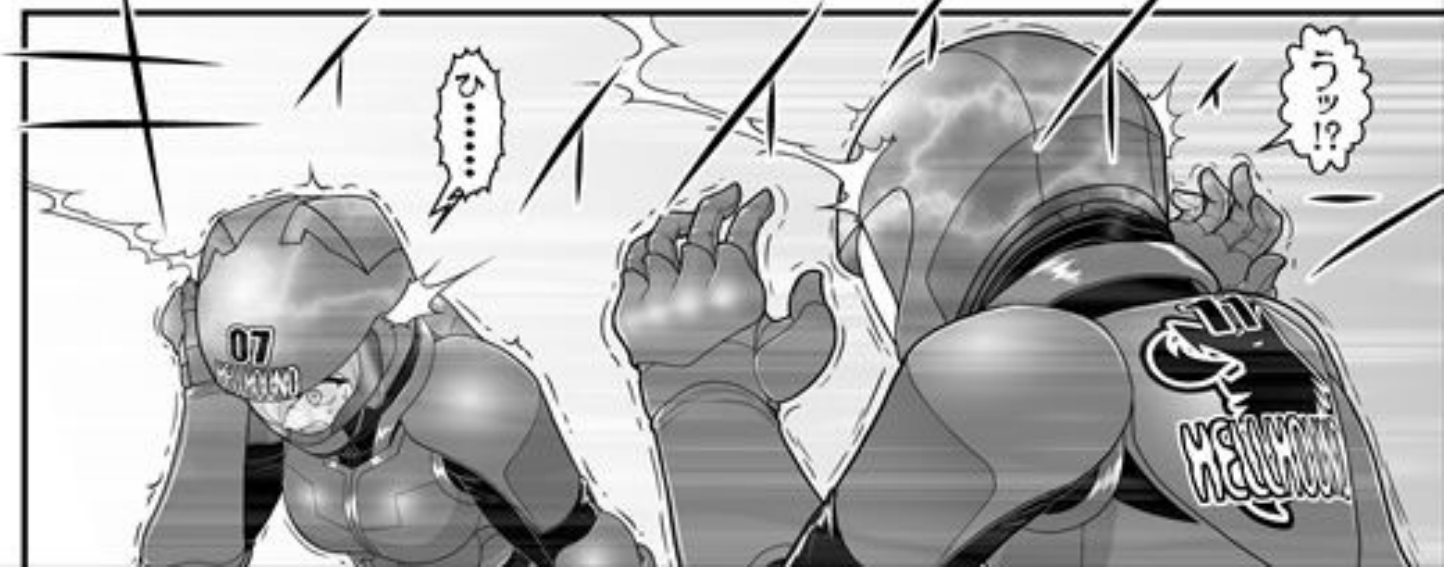
脚だ!!!
脚を押さえろッ
おおッ

02 HELLHOUND
ビッ
うおらあああああ

ギャ

YEEEEEEEE HAAAAAA
決まったぜ
ブラッドリー兄妹の『血まみれ戦法(ブラッディ・タクティクス)』!!!
ざまァ見やがれェ
見ろよ真っ二つだぜ
今度こそ手も足も出ねェな
油断するんじゃねーぞ
首をはねて確実に止めを刺せ!!




ラッ!?
ひ……
07

わっ

ハウリング…!?

これは――高周波!?

無線に干渉するほどの――

いやあああああああああ

まずい……このままじゃ――

地下全体が

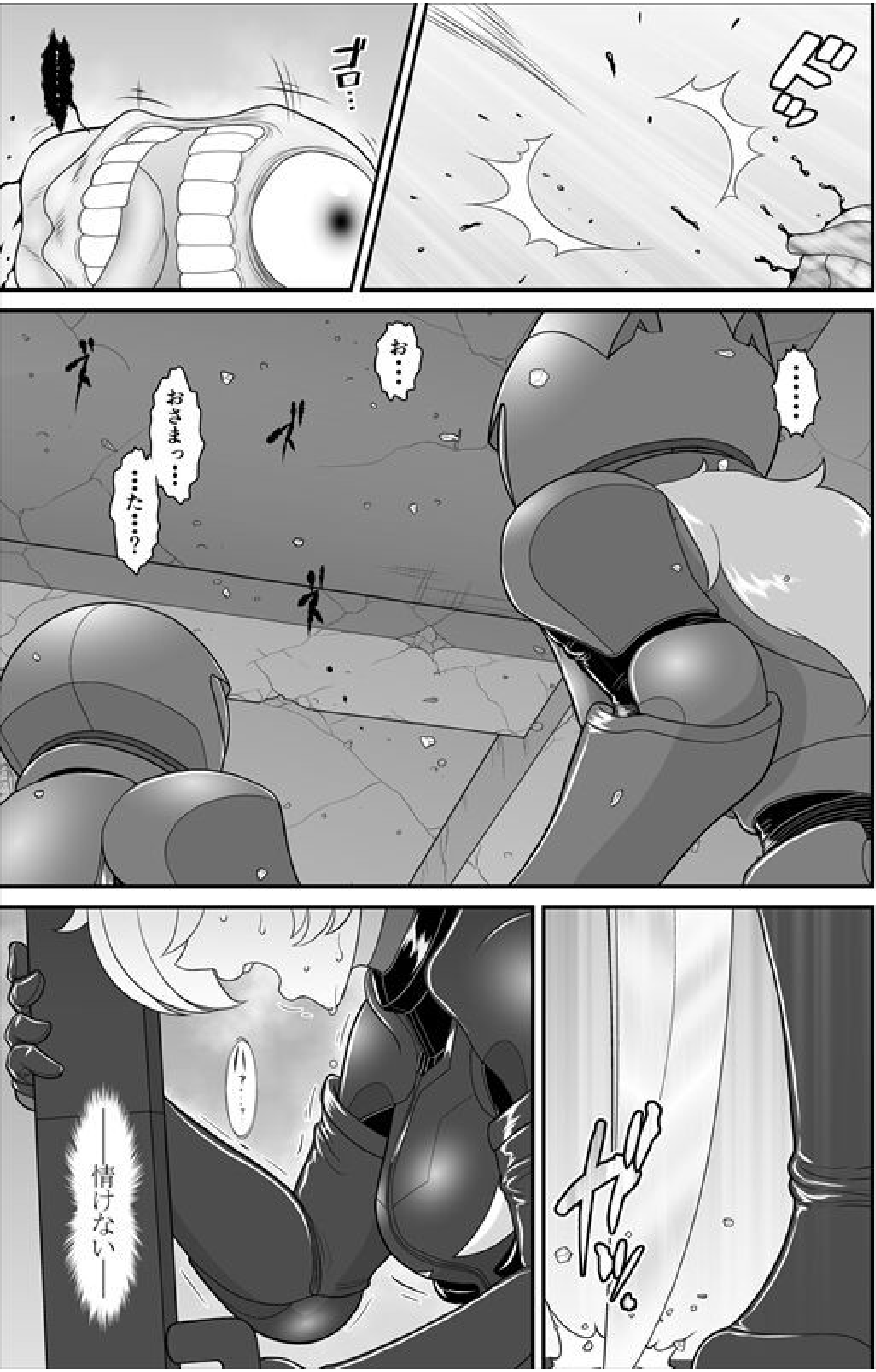
崩れる…!!!

ぐあああ

…動け……動けッ…!!

早く止めを――

!!!!!
01


ドッ
ゴロ…
……
……
お……
おさまっ……
……た…？
ズ
ズ
ズ
ハ……ァ……
―情けない―
ガリッ

全神経を「読み」に集中して
『魔犬』の力も借りてやっと二匹――

先生なら息一つ乱さず捌いただろう
こんな様を見られたら何て言われるか…

先生の域には程遠いな

私は……

…ったく

油断も隙もあったもんじゃねぇ

これまで散々ぶっ殺して来たが――

こんな奴は初めてだぜ

首はもらってくが構わねぇよな？
「共同撃破」で登録しといてやるからよ
…好きにしろ

それよりいっそ…
お前も『魔犬』に入るか？
……
そうすりゃポイントも折半しなくて済むし
お前にとっても悪い話じゃねえと思うんだがな

……
言っただろう
つるむのは趣味じゃない
今回限りだ

…ふん

クッソ…

まだ耳がキーンって鳴ってる

…んだよ

またあの女に粉かけてたのか？

…なあ

最近あいつに金魚の糞みたくくっついてる奴いたろ

あ――？

いたか？そんなの

…てめーに聞いたのが間違いだった

あれだけ頑固な一匹狼が近くに置いてるって事は何か理由があるんだろうが――

腕が立つようには見えねぇし

女同士でヤるのが好きなタイプとも思えねぇ

…となれば答えは一つ

情報

…だな

あの金魚の糞が現れたのはちょうど『鉄騎姫』が"サード"を殺ってのし上がったのと同じ頃だ

何か"奴ら"に関する有益な情報をネタに手を組んだとしたら辻褄が合う

これの話を振った時も態度が妙だった

やっぱり何か隠してやがるな

"奴ら"の情報は多ければ多いほどいい

いつも予想外の事が起きて余計な犠牲が出る

あのD地区への『外征』の時も——

当時 オレはまだ
下っ端の分隊長で
別働隊を率いて
任務に当たってた
任務自体は
無事に完了したが
本隊と合流する
途中 30匹規模の
「群れ」に遭遇
その中に
“奴”がいた

死者7 重傷4

そのほぼ全員がそいつ一匹にやられた

生き残れたのは運が良かっただけだ

だが とにかく生き残った

"サード"撃破とAランク任務の達成――

犠牲は大きかったがオレ達は浮かれてた

そして意気揚々と本隊に戻り、

思い知らされたんだ

『外』の世界の

現実って奴を――

そこに奴らの痕跡は無く

本隊25人全員の首なし死体だけが転がっていた

オレ達が死ぬ思いで倒した"ザード"よりも…

遥かに格上の怪物の仕業なのは明らかだ

だが 考えてる
暇は無い
オレ達にはすぐに撤退する以外の選択肢は無かった
その時だ
“奴”と
目が合った

……いや 実際は分からねえ 真っ暗だったし 距離もあった
だが 間違いなく “奴”はオレ達を 見ていた
気付いたのは オレ達二人 だけだ
妹はオレの 背中に隠れて 震えていた
まあ それも 無理はねえ
正直 オレも 少しチビった からな…
08 HELLHOUND
01 HELLHOUND

無事に街に帰還しチームは英雄として迎えられたが

オレ達には敗北感だけが残った

あの時奴はオレ達を皆殺しにすることもできたはずだ

理由は分からねぇ…だが敢えて『逃がした』んだ

オレにはそれが我慢ならねぇ

『逃げる』のはいい――戦略的撤退も作戦のうちだ

だが……『見逃される』のは話が違う

それは侮辱だ…奴はオレ達を嘲笑いやがった

『顔を洗って出直して来い』ってな……

この屈辱は奴をブッ殺す事でしか晴らされねぇ

後悔させてやる

オレ達を生かして帰したことを――

もしあいつらが“奴”の情報を持ってるのなら

オレが必ず吐かせてやる

そのためなら手段は選ばねぇ

二人まとめて拉致ってやりゃあ話は早いんだが――

あいつは一筋縄じゃいかなそうだし

バレたら後が面倒だからな……

……答…しろ…

…聞こえるか？

おう

そっちはどうだ？

…そりゃこっちの台詞だぜ

お前ら何やってんだ？

非常階段で各階確認しながら屋上まで上がって来たんだぞ

そっちが先に着いてなきゃおかしいだろ

無線も急に通じなくなっててっきり全滅したのかと期待しちまったぜ

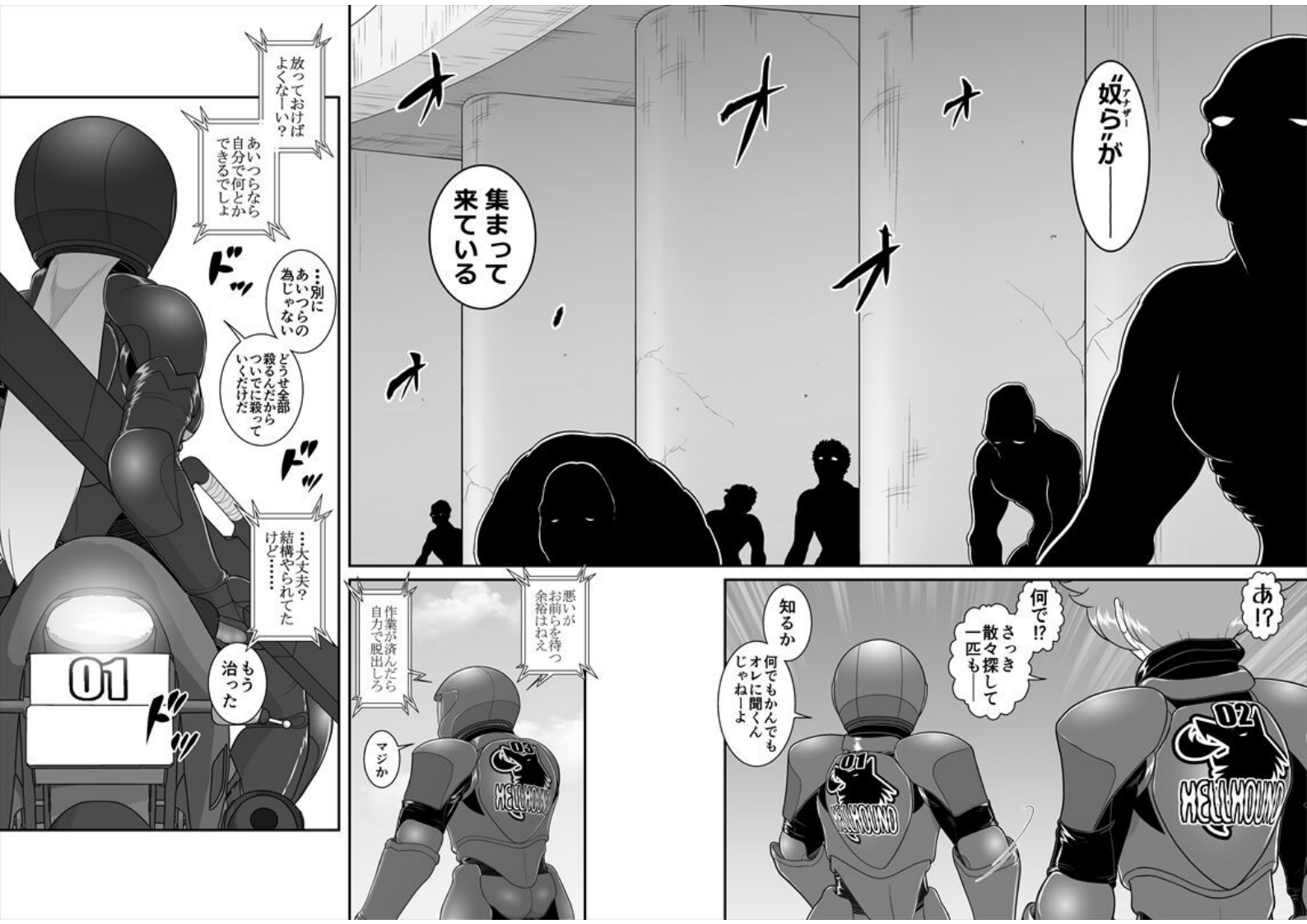
そいつぁ残念だったな

まだ誰にもボスの座を譲る気はねーよ

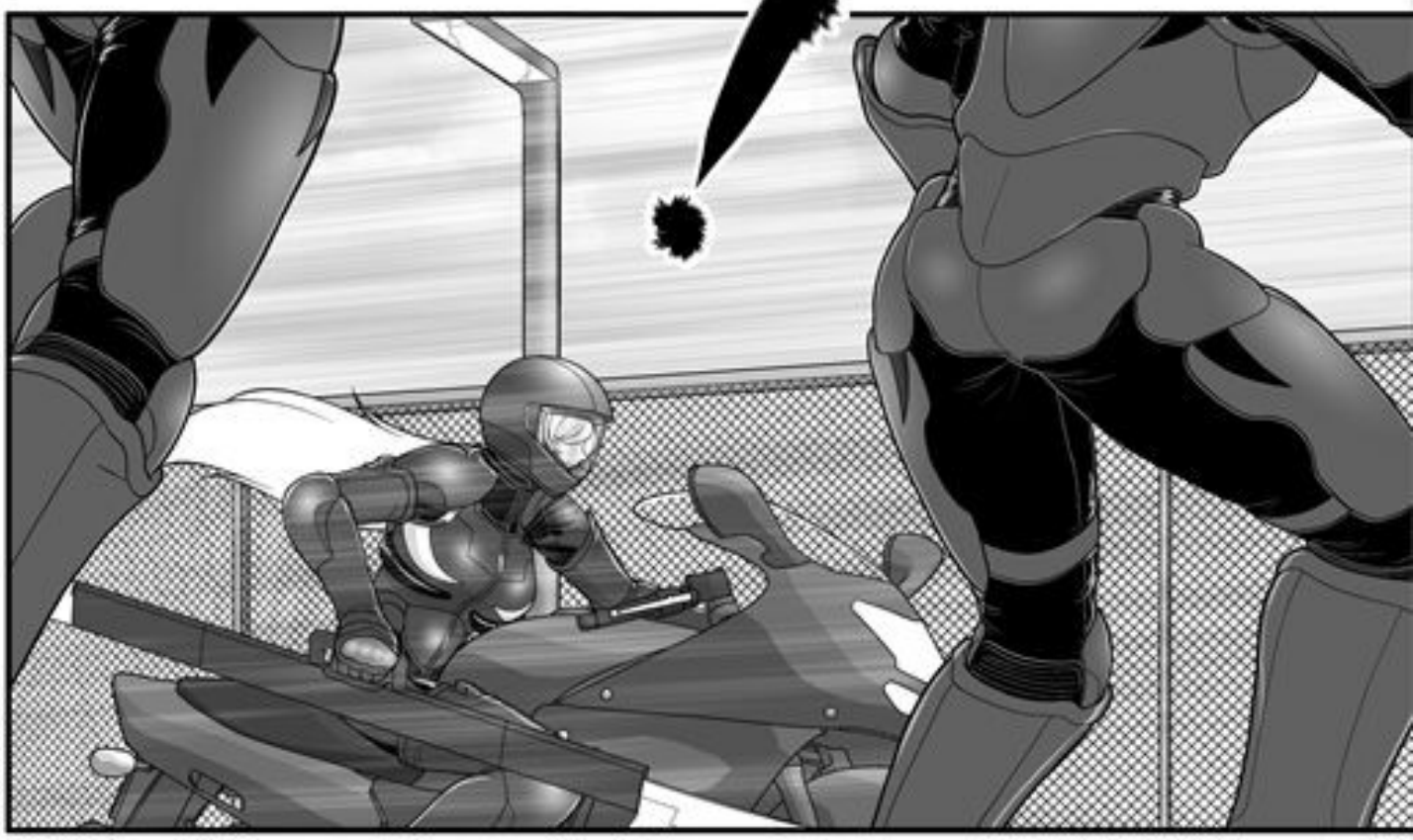
——で？
何かあったのか
まあ少しな
それは後で話す
監視装置の方はどうなってる？

それよりこっちは死体だらけだぜ
下は血痕だけだったのによォ
一体どうなってんだ？
知らねーよ
持ってくのが面倒だったんだろ

下といや見回りの連中は何やって――
!
あれは……!!
?
……何…
撤収だ!!
車を回して負傷者を運べ！
応急処置は後でいい
おい!? 何だよ急にどうした


"奴ら"(アナザー)が――
集まって来ている
あ!?
何で!?
さっき散々探して一匹も――
知るか
何でもかんでもオレに聞くんじゃねーよ
悪いがお前らを待つ余裕はねえ
作業が済んだら自力で脱出しろ
マジか
放っておけばよくなーい?
あいつらなら自分で何とかできるでしょ
…別にあいつらの為じゃない
どうせ全部殺るんだからついでに殺っていくだけだ
…大丈夫?結構やられてたけど……
もう治った
ドッ
ドッ
ドッ
01
02
HELLHOUND

!!!
ウォンッ!



……

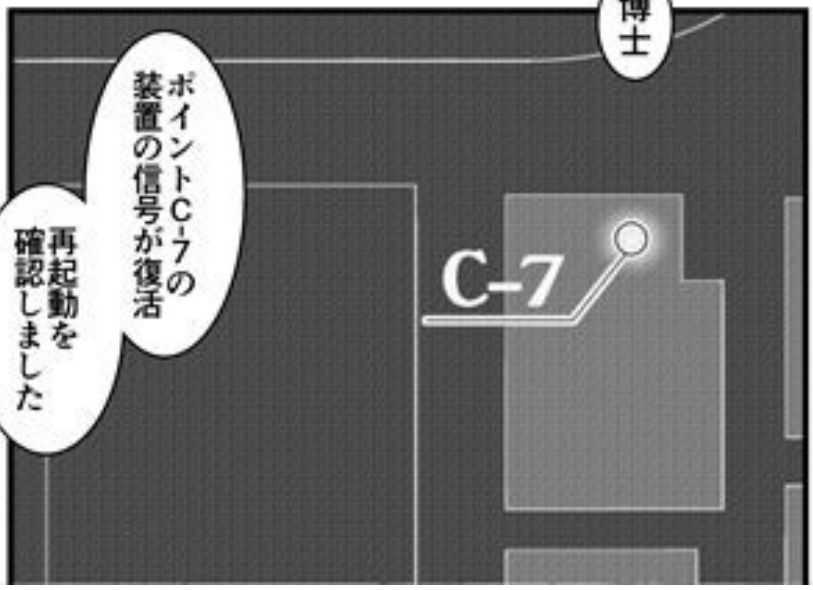
ギャギャーン
ドザザザ
ギッ
ザ

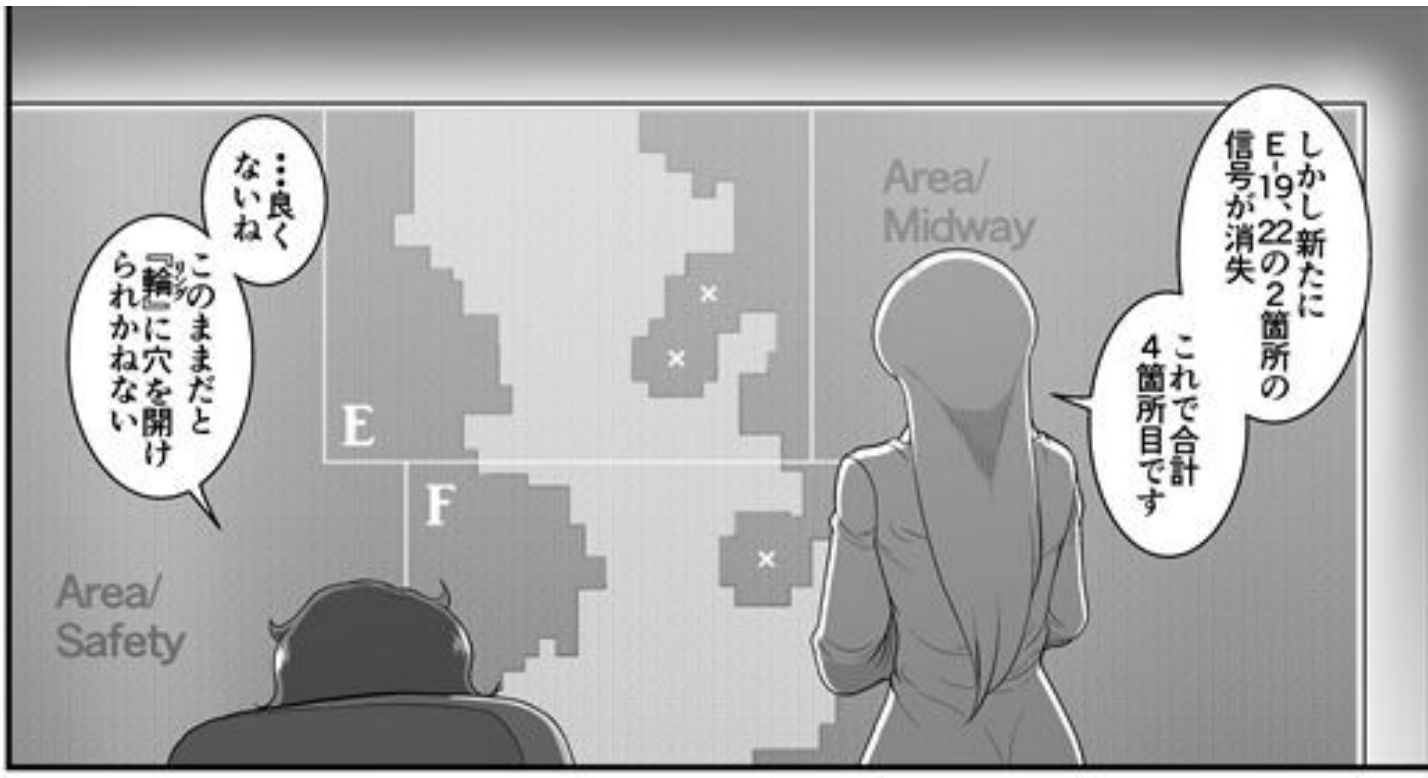
クオオオ
ドガッ

ザシャアアアアア
01
01
HELLHOUND
…のヤロ
余計な事を…！
ウオオオオオッ
だがこれで〝奴ら〟の注意はあいつに向いた
撤収の時間が稼げたな

…しかし 惜しいな
あれだけの腕があれば
どこのチームだろうと
引く手数多だろうに

金にも名誉にも興味がねえ
かといってオレ達と同類の
戦闘狂でもねえ
"鋼鉄の処女"とは
よく言ったもんだぜ




しかし新たにE-19、22の2箇所の信号が消失
これで合計4箇所目です
Area/Midway
E
F
Area/Safety
…良くないね
このままだと『輪』に穴を開けられかねない

修復のため派遣された者によると明らかに経年劣化ではなく物理的に破壊された痕跡があったとの事
その後連絡が途絶えたため詳細不明ですが…
保安部では内部犯によるテロを疑っているようです
テロ?でも何のために?
あれは表向きただの観測装置だし内部の人間には危険を冒してまで壊す理由がないよ

私としてはそれより別の可能性を考えてるんだけどね
?
…と言いますと…?

考えてもみなよ
れッ。
いるじゃないか

装置が停止して直接得をする連中がさ

まさか――奴らが自律的に装置を破壊した――と…？

そんな知能があるとは思えませんし…そもそも近づけないのでは？

INFORMATION ANALYSIS ROOM

仮説だよ

仮説

ただのね

…ところで残りの装置の改修は誰が？

F-9にはランキング5位『真紅の風（クリムゾン・ウィンド）』が当たっています

M地区（エリア）での任務のついでにこなして来るとの事で…

…そうかちょうどいい

え？

いや……C-7の担当にも戻ったら詳しく話を聞いてくれ

何か変わった事がなかったかどうかをね

私の仮説が正しければ

恐らくは今頃――

まだ付いて来てる…

くそっ

だ…ダメだ…振り切れねぇ!!

畜生オオオ何なんだよ何なんだこいつらはよオオオオ!?

ガチャ

ドドド

何でだ一体どうなってる!?
スピードはこっちの方が圧倒的に上だそれなのに…
何度引き離してもまたいつの間にか追い付かれてる
まるでオレ達の行く方向が分かってるみたいに…
ヤ…ヤバイ
この先の道は塞がってる
このまま行くと袋小路だぞ
16:25
106
慌てるな左に迂回路がある!
500m先左折!!

ドギュ
!?
ビッ!!!
ゲヴ!!!!

なっ!?
ミシッ
ボキ
ぎゃっ……
え!?

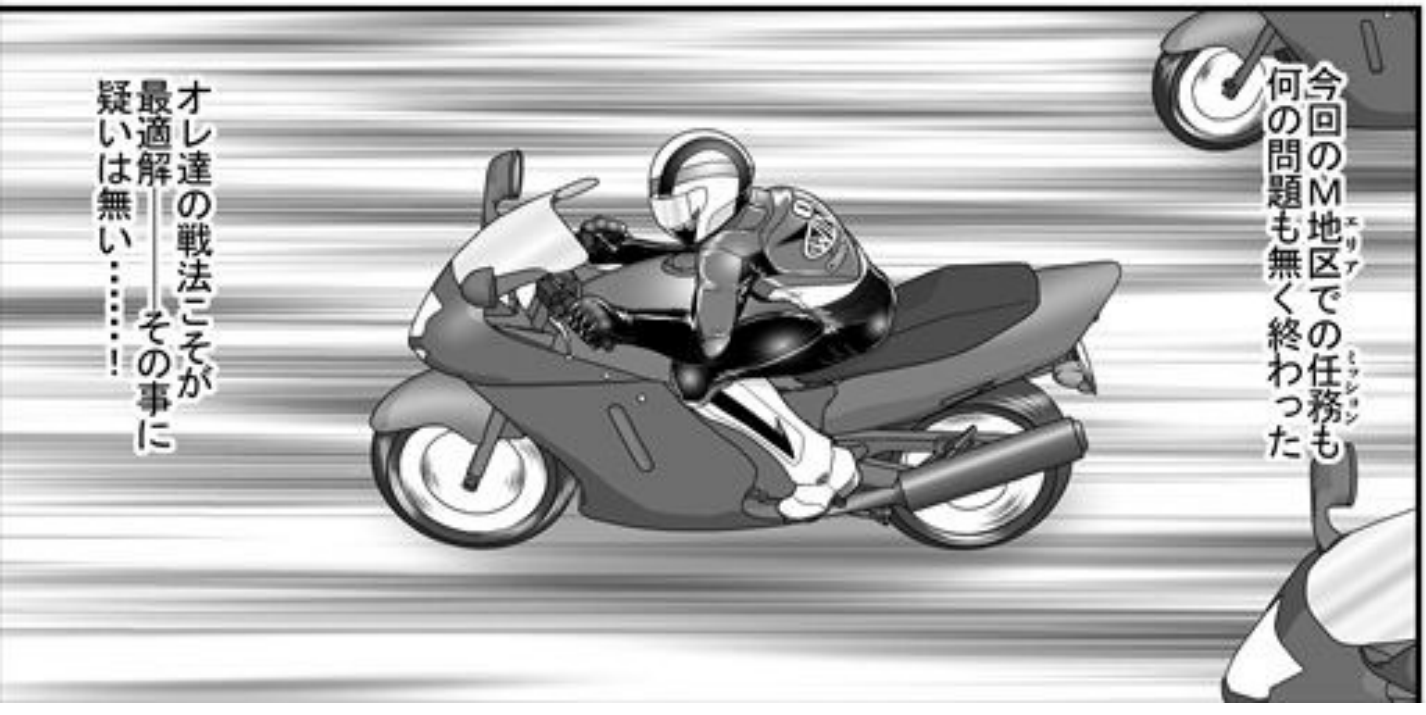
ドドドドオオ
なっ…
何だ!?
転倒!?
何でこの程度のカーブで――
今……何かが上から飛んできたような…?

『真紅の風』はスピードを極めた"走り"のチーム

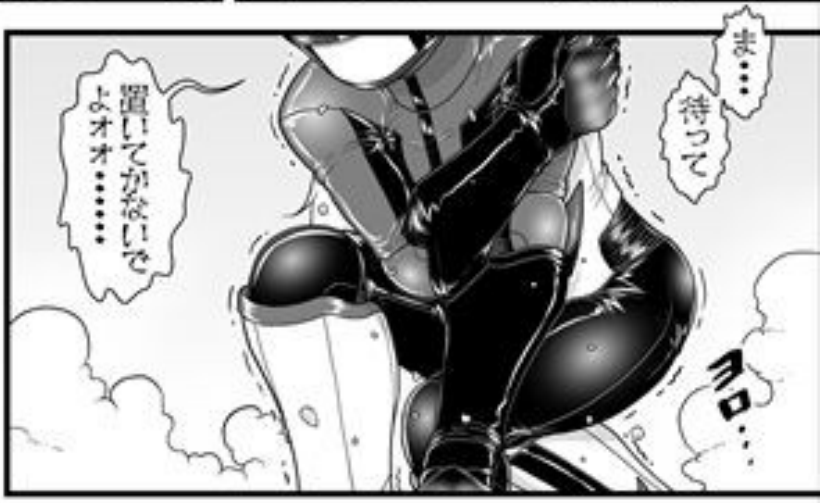
バイクは走りに集中する為の特別チューン

スーツは軽量化重点防護能力は最低限のプロテクターと緊急保護機能のみ

武器もめったに使わない



はっ!?
……
パラ
パラ
……う……


ま……
待って
置いてかないでよオオ……
ヨロ…

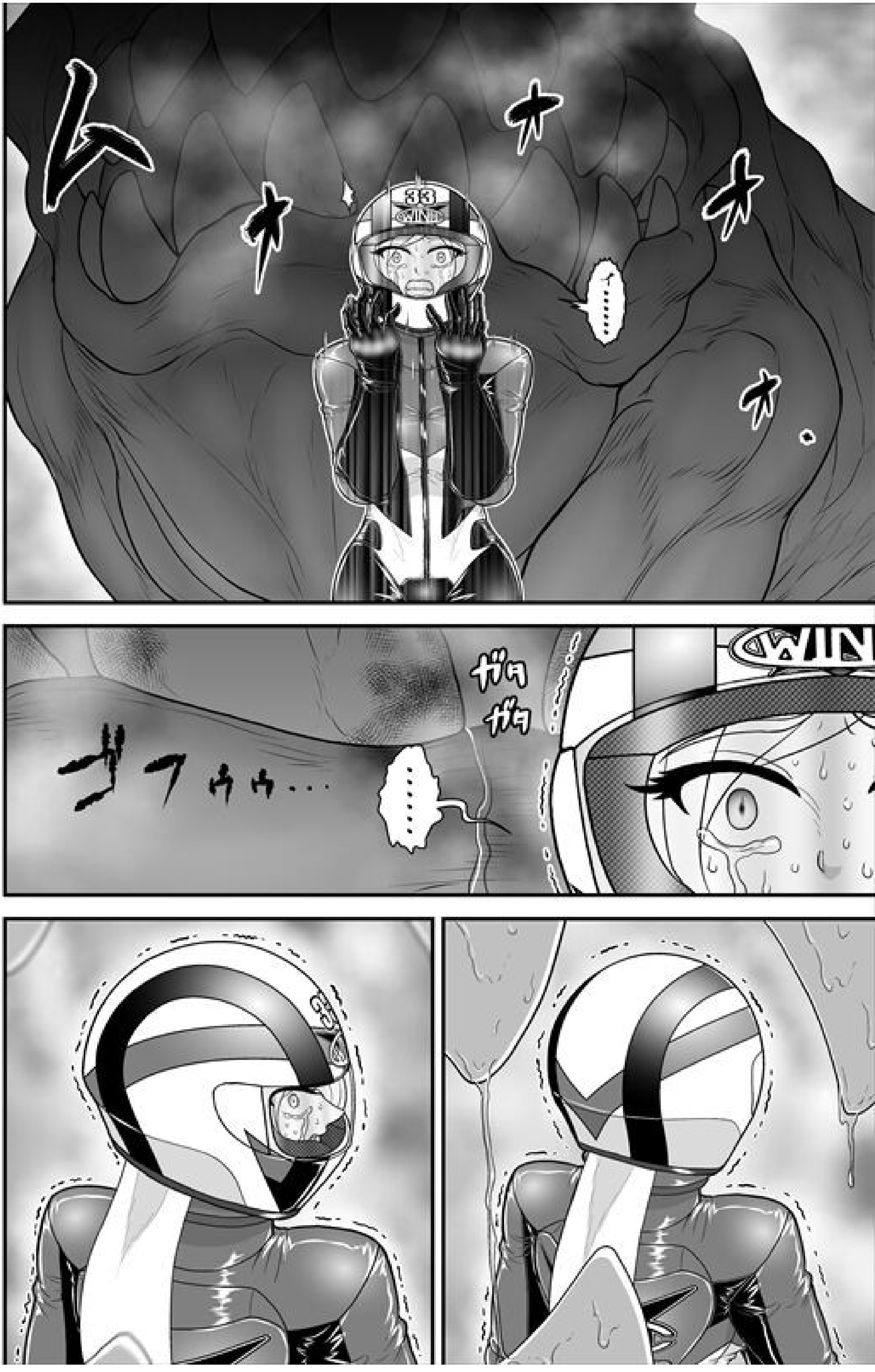
誰か……
……
お願い
助けて…

ぎゃあああああああっ
!?

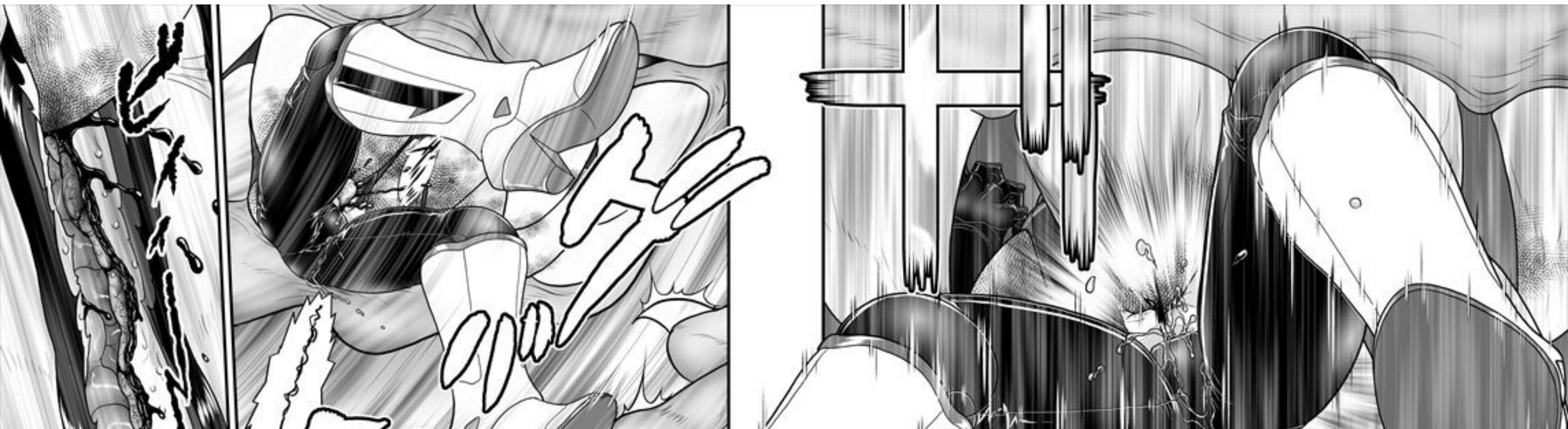
33
WIND
ひ……

ボリリ…

ゲロッ
ゲロロ
ぐげっ
ゲロッ
ぐっ
ゲェロ
ゴブッ


ムォォォォ。
ィ……
33
WIND
WIN
ガタ
ガタ
……
ゴフゥゥ…

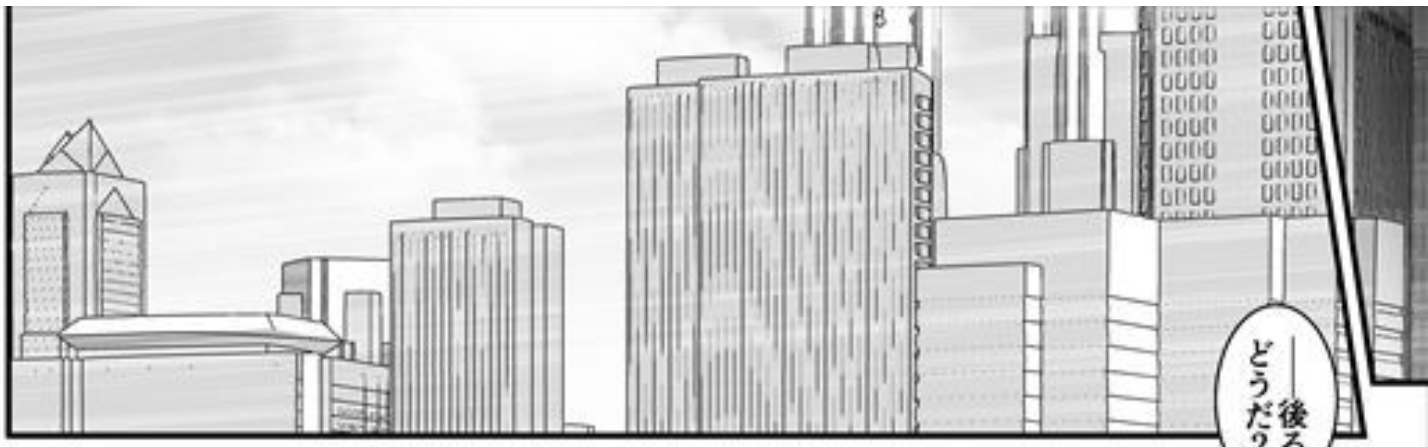
WIND



バタ
バタ
バタ
アァ
ア
ビク
ビクン
ビクン

ズリュッ
ジュル
リュ…
ピク
ピク
ピク
ピク
フル…
フル…

15
MIND


――後ろどうだ？

まだついて来てるか？
いや……見えない
3回も方向変えたんだ
さすがに撒いただろ

やられたのは…3人か？
最初の5人と合わせて8人も…
…最悪だな
境界エリアで何でこんな事に……

だが――
あいつらがエサになってくれたおかげでオレ達はこうして逃げられた
ケ
ケ
ケ

ゲイ。

せめてその事に感謝するべきだ

食欲しか頭に無い単細胞共にもな――

ズルルウウウ

――おいまずいぞ

新たな問題浮上だ

グルグル回ったせいでバッテリーが尽きかけてる

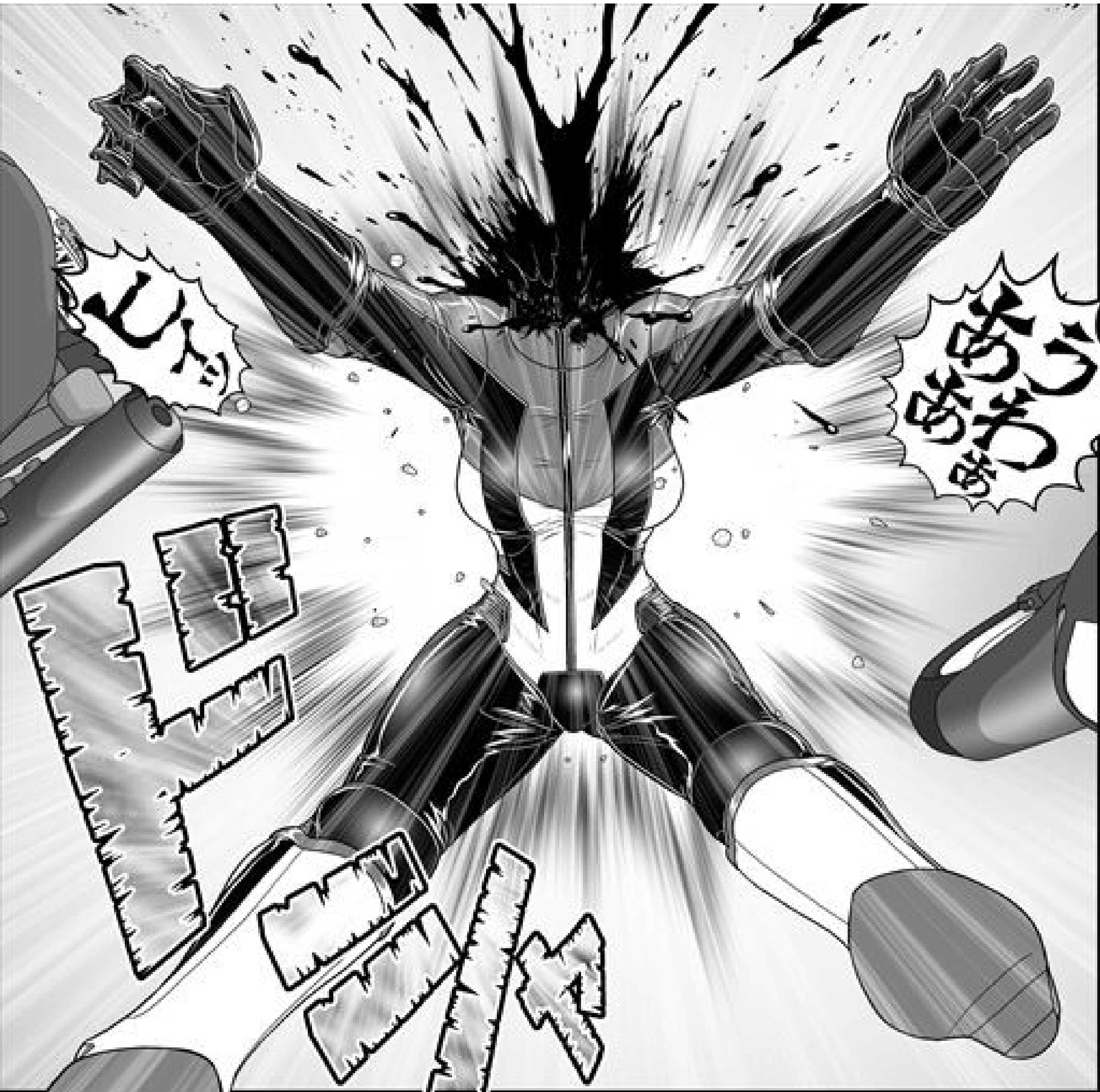
一度エンジン掛けないとS地区(エリア)まで持たないぜ

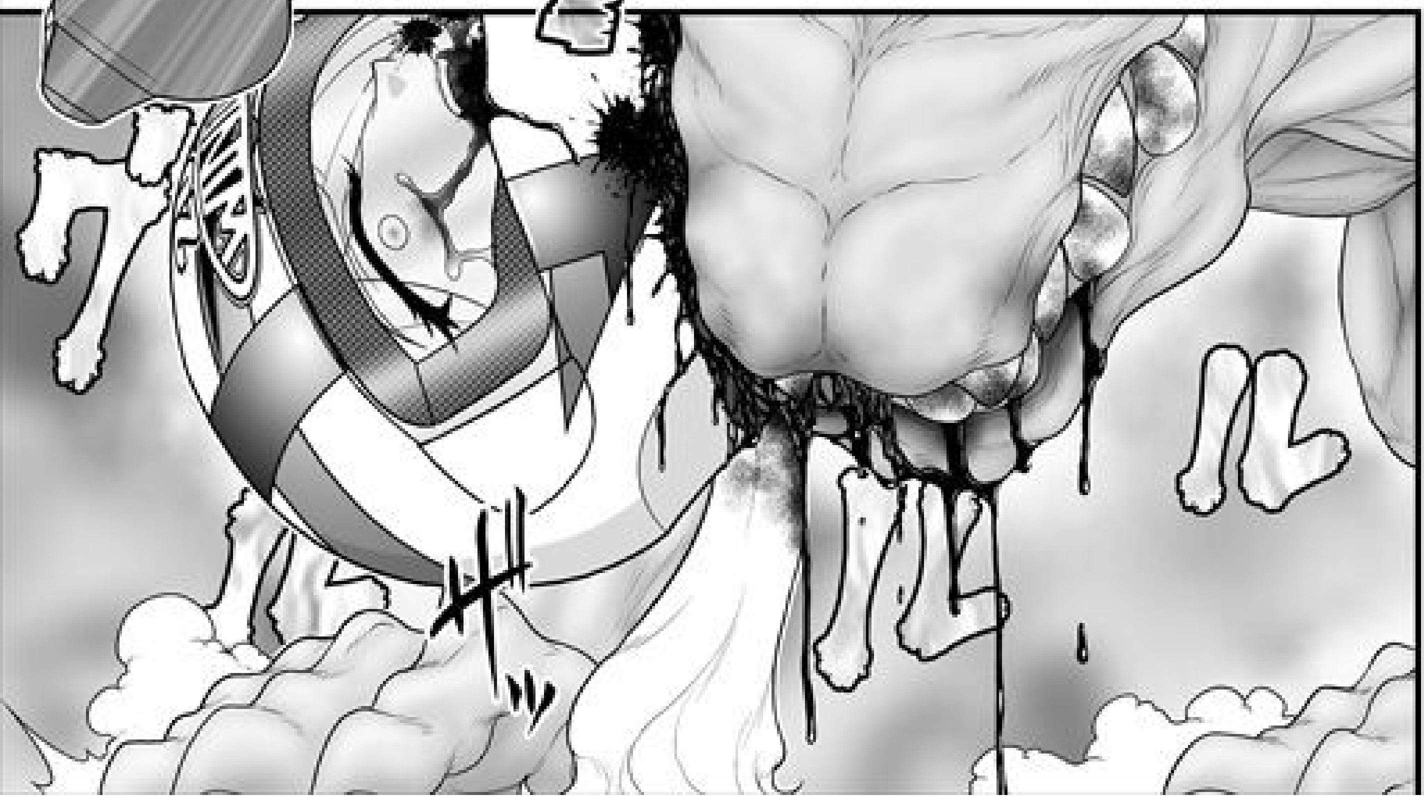
よし…！一旦ストップだ
一息入れてルートを確認する
いいか まだ油断するなよ
用が無ければバイクから離れるな
小便はS地区まで我慢しろ
——S地区までは最短ルートでも20kmくらいか…
微妙なところだな
市街地さえ抜けちまえば一直線だ
そうなりゃいくらでも爆音鳴らして全開で走れるんだが
ちょっと待て…
南に8km行くとハイウェイに出るが防音壁があって奴らは入って来れない
遠回りだがそっちが確実だ
よし……それで行こう
街中で奴らの注意を引くのは避けたい
休憩はあと1分だ準備しておけ

んッ…
おーい
あと一分だってよ
てかバイクから降りるなって言われたじゃん
いいでしょ別に……
もうケツがガッチガチなんだって
…ったく…
緊張感が足りないんじゃないのォ

20
WIND
……え？
何で

ひぎゃ
あ
あ
あ
あ
ゴボ
ゲ
……





28
35
!?
ひ……

ビュ…
ヒッ!?
なっ…何だ!?
ぐボェ!!!
ヒィィ
イャアァァァァァァァァ
ベキベキ
ギャアア
たっ…助け…
!!!

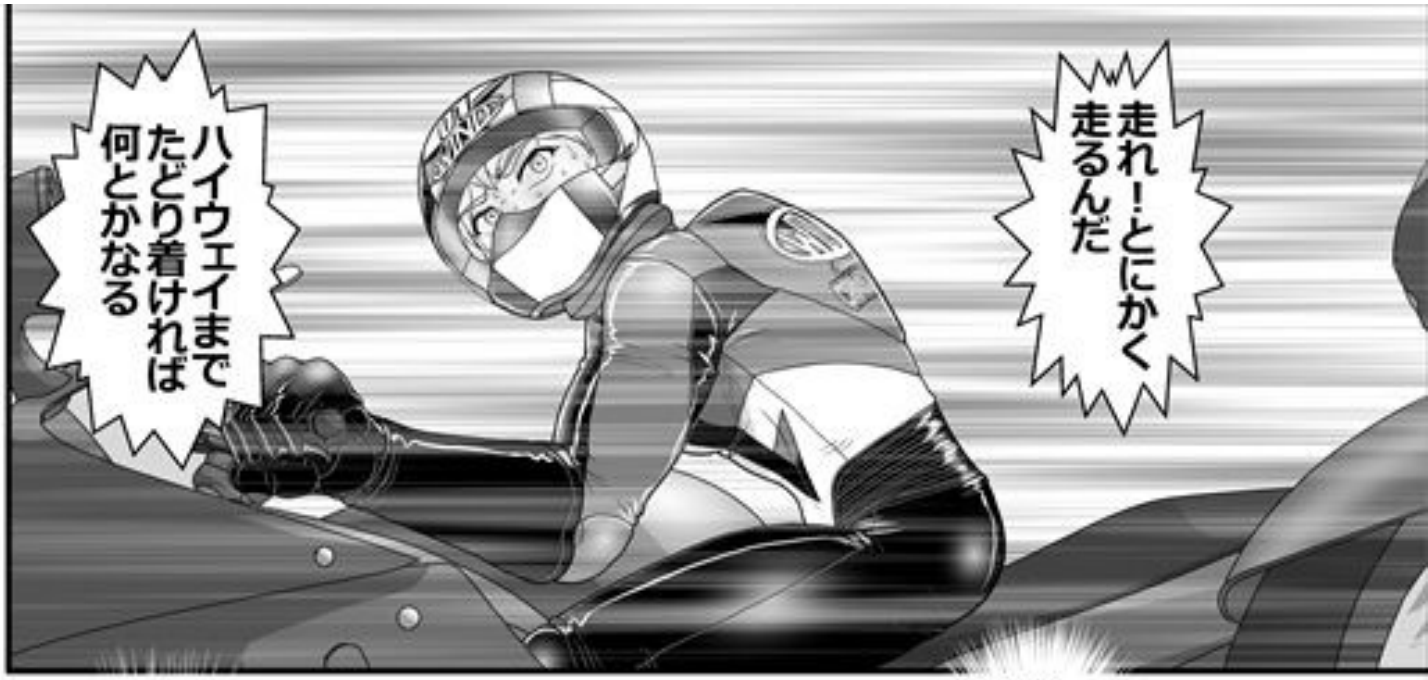
う…
うわ…

!?

うわああ
来たあアアアア

!?
なっ何で
前から――
ビッ
……
……イヤ……

うわぁあああ———!!!
ガァッ
ベキ
バキ
い…行け!!
グ
ドオオオオ
ヒィィ
畜生ォォ
やめろォォォ
うわああ
来るなああ
うぎゃあ
ヤダァァァ
ジャマだ
どけえェ
行けェェ———!!!!


走れ！とにかく走るんだ
ハイウェイまでたどり着ければ何とかなる

一体何がどうなってるんだ!?
確実に引き離したはずがいつの間にか先回りされて——

完全に隙と死角を突かれた

それもパニックを誘発する絶妙なタイミングで…

偶然？
——とてもそうは思えない

ただ無秩序に人を襲うだけだった“奴ら”とは明らかに動きが違う
これは……まるで――

!!!!
02
WIND
01
WIND
ゴアッ
と……
飛ん…!?
ボ

なっ!?
15
WIND
CRIMSON WIND

は……
21
WIND
15
WIND

ドドドドド
ギャアアア
うわああ
なっ何だ 今のは⁉
飛んでたぞ
いっ今…人を投げたのか⁉
まさか―― ずっと奴が上空から監視して…⁉
そんなバカな…奴らにそんな知能があるはずが――
ヒイイ

だが…しかし
そう考えると
何度引き離しても
追いつかれる理由の
説明はつく……
放っておいたら
最悪 奴らを『門』まで
案内することになるぞ
このまま闇雲に
逃げ回っても
戦力を削られる
一方だ
何とかして あの
飛んでる奴を
撒かなければ…!
進路変更だ
その先の
地下道に
入るぞ
ワォォォオン
ギャ
キュュュ。

……
オオオ…
ここは前に通った事があるが中は天井が低くて入り組んでる
バイクより速く飛ぶのは不可能だし出口で待ち伏せするのもまず無理だ
ここで『鬼ごっこ』は終わりにしてやる……！
!?
ブスッ…

ゴォン。
と…止まれェェェ――!!!
ギャギャー

うわ
あう…
ズザァァァ
おい大丈夫か
早く起こせ
……
なっ…何だこりゃあ!?
嘘だろ……
どうなってんだ
何でこんな所にコンテナが…
何でかなんてどうでもいいだろ
それより早く戻らねぇと…
戻る!? 奴らが追って来てんだぞ
とにかくこいつを動かすんだバイクが通れる隙間さえ開けば…
…このコンテナ……
今…確かに動いて…!?
キュ

おい急げ！全員でやるんだ
パワーアシストをフルに使え
まさか・・・これも・・・
『罠』・・・なのか・・・!?
はぁーーー
はぁーーー
はぁーーー
ガク
ガク
ガク・・・

あ……
あああ……あ………
うげぇぇ――
あぁ――
あ―――
ヒュー――
ゴボボ…
あ――…

あ
…ひ……
ビクン
ビクン
ギギギ

ズズズゥ。
ズル
ズル
ズンッ
ズンッ
はっ
はあぁっ
ズィイイイイイ…
ひっいっ
はひぃイイイイイッ

やっ……やだっ
イヤだあああああ
35
WIND

こっちだ 早くしろ

もし…これが『罠』なら…

そっちに もっと固まれ

よーし 行くぞォ

この向こうに "奴ら"が――

!!!

おい！

待

な…何!?
こいつら…
ブシュウゥ‥
どこから沸いて出やがった!?
や……やはり……
これは罠…?
ヴギィィィィィ‥‥
お……落ち着け!!
大した数じゃない。
これ位ならオレ達でも対処できる
ゴキ。

武器を持ってる者は奴らを片付けろ

それ以外は全員こっちに集まれ

!?

いや…違う…

ギリ…

これは――

あ？

『狩り』だ

キャ
ヒッ
びチャッ
17
WIND
17
WIND
ズル…
……あ……

ゴルルル…
コフゥゥ・
ズルル…
ドリュ
ブバッ
ニチャア

オレ達は始めから――
ここに向かって追い込まれていた
うわ…
う……

うあああああああああ
ザッ
ひ…

!!?
ビク
ビク
ゴポッ
ゴポッ
……あ……
ああ……そ……そんな……

18
WIND
06
WIND
11
WIND

43
WIND
24
WIND
09
WIND

11
WIND
ぎゃあーー
44
WIND
18
WIND

ヒッ
うわ!?
……

……あ……
オエッ
24 WIND
ズシャ
!!!
23 WIND
34 WIND
16 WIND

ドドドドドドド
ヒィィ
アアアア
うわぁぁ
たっ…助
グェロ
あ
ブシャ
うわあああ
来るなアアア

――オレは・・・
ひイイイイ
いやあああ
死にたくねエエエ
助けてエエエエ
オレ達は・・・
一体何処で間違った？

『最速こそ無敵』を
ずっと体現してきた
オレ達にとって
"奴ら"は敵じゃなく
ただの背景の一部に
過ぎなかった
少しばかり
足が速かろうが
走りを極めたこの
『真紅の風』の前では
どいつも同じ
「怠けないウサギ」に
永遠に追いつけない
ノロマな亀だ
ゴキャ……
ペキ
ボキ
だが──
その『亀』が
ただの亀じゃ
なかったら
どうなる?
ひぎぃやああ
あああああ
あああたしの
あたしの腕がア
アアアアアア
たっ誰か
あたしの腕
うげぴ!!!…
ビク
ビクン
ビクン

はっ 早く…
これを動かすのよ
急いで!
む…
無理だ
このまま
向こう側に逃げる
しか――
バカなの!?
あいつら相手に
走って逃げる気!?
ここを開けて
バイクで逃げる以外
助かる道は無いの
いいから
押して!!
押してエエ――
!!!
うおオオオオオ

!!!??
……ッッ

うわ・・・
き・・・来た・・・来たあアアア
ああああ もうイヤぁ あああああ
ひ・・・・・・
おい何してんだ降りろ……
やだあああ放してえぇ

フルスピードのバイクに追い付き
……あ……

43
WIND
41
WIND
ドチャッ
完全装備の人間を一瞬でミンチにする
…う……
うわあああああああああああああああああああああ
WIND

そんな化け物相手に――

人間(オレ達)が何を出来たって言うんだ？

あ…あ
あう…
…い…
いや…
いやぁぁ…
…え?
くるんっ

ヒーーー
ア……
がっ
か……
…く… クソ…
や―― やっぱり無理だ こんなの…

来た道を戻るしかねェ……！
で…でも奴らが…
構うな!! とにかく全開でブッ飛ばせ
ドルオオ
このまま皆殺しになるよりはマシだ
あ…あたしのバイク……
ひっ

イヤァァアアアァ
うわぁああ
ブチ
ブチ
ブチ
畜生ォォ冗談じゃねエエエエ
ギャ
ギャ
ギャ

こんな所で死んで――
!!!!!!

23
WIND
げ……
メキ

バチッ
ザザザザ

…あ…ああ……
も…もう……ダメだ……
…終わりだ……
こ…こんな…こんな…
ありえない!…FRAG最速のあたし達が……
あっ あっ
やだぁ
ああ――――!!
プッシャー……
ボキ ベキ グシャ
逃げる事さえ…できない…なんて……
――そう…「狩り」はとっくに終わっていたんだ
オレ達はもう「獲物」なんかじゃない…
オレ達は――

「餌（エサ）」だ
喰われる順番を待っているだけの「活き餌」――

奴らに目を付けられた時点で――

オレ達は既に詰んでいたんだ

『最速』の称号なんてものは……奴らには何の意味もない……

オレ達は……運が良かっただけだ……

奴らの『狩り』の標的にされないという『幸運』

……それだけがオレ達に必要なものだった

無駄だったんだ……何もかも……

そうだ……
オレは……オレは何も間違ってない……
ま…待て……待ってくれ……
……た……助けて……
殺さないでくれエエエ……
う……うあああ
イヤだ……
……し……死にたくねエ……
クッ
オレのせいじゃない……！
クク……
ハハ……ハッハハハハハハ……!!

ちょ…ちょっと何やってんのよっ

リーダーでしょ!? 何とかしてよねえっっ

ゲチャ…

このままじゃ全滅――!!!

はっ

あっ

ああっ

やっ…やだっ

お願いやめてっ

死にたくな

ガタ

ガタ

ガタ

いっ

いやっ!!いやっ

いやああ――っ!!!

『街（シティ）』壁外エリア
『外門（アウターゲート）』前
07
SONIC METAL
15

そっちはどうだァ
OKだ
よーし片付いたな
死体は横に退けとけよォ
血だまりには砂撒いとけ
YEAHHHH!!!

――何か最近また急に数が増えてねェか？
ポイントを稼げるのはいいがこれじゃ体がもたんぜ
この間のプレーオフの日には"セカンド"が壁まで来たらしいしな…
それで死人も出たってよ

冗談じゃねーや
準備もなしにセカンドと殺り合うなんて自殺行為は願い下げだ
『魔犬（ルハウンド）』みたいな戦闘狂でもなきゃな――
オレ達には雑魚相手に地道に稼ぐのが分相応だぜ

ここんとこ失踪しちまうチームが続出してるし…

何かヤバい事が起きる前兆じゃないといいが…

……

…やめようや辛気臭え話は

「蛇の話をすると蛇が出る」って言うだろ

あーあ

さっさと帰って酒でも飲みたいぜ

……

それにしても遅くねぇか？

帰還予定は15時…

もう二時間も押してんぞ

今出てるのは『真紅の風（クリムゾン・ウィンド）』だったよな？

時間に遅れるような連中じゃないと思うが…

ん…
おい
1台
戻ってきたぞ
!

1台…?
1台だけか?
ああ
…どういう
ことだ?
何か急ぎの
報告か?
だとしても
無線で済むだろ
何だってんだ
…まさか…

"奴ら"の姿は
見えるか?
いや…
少なくとも
見える範囲には
いないな

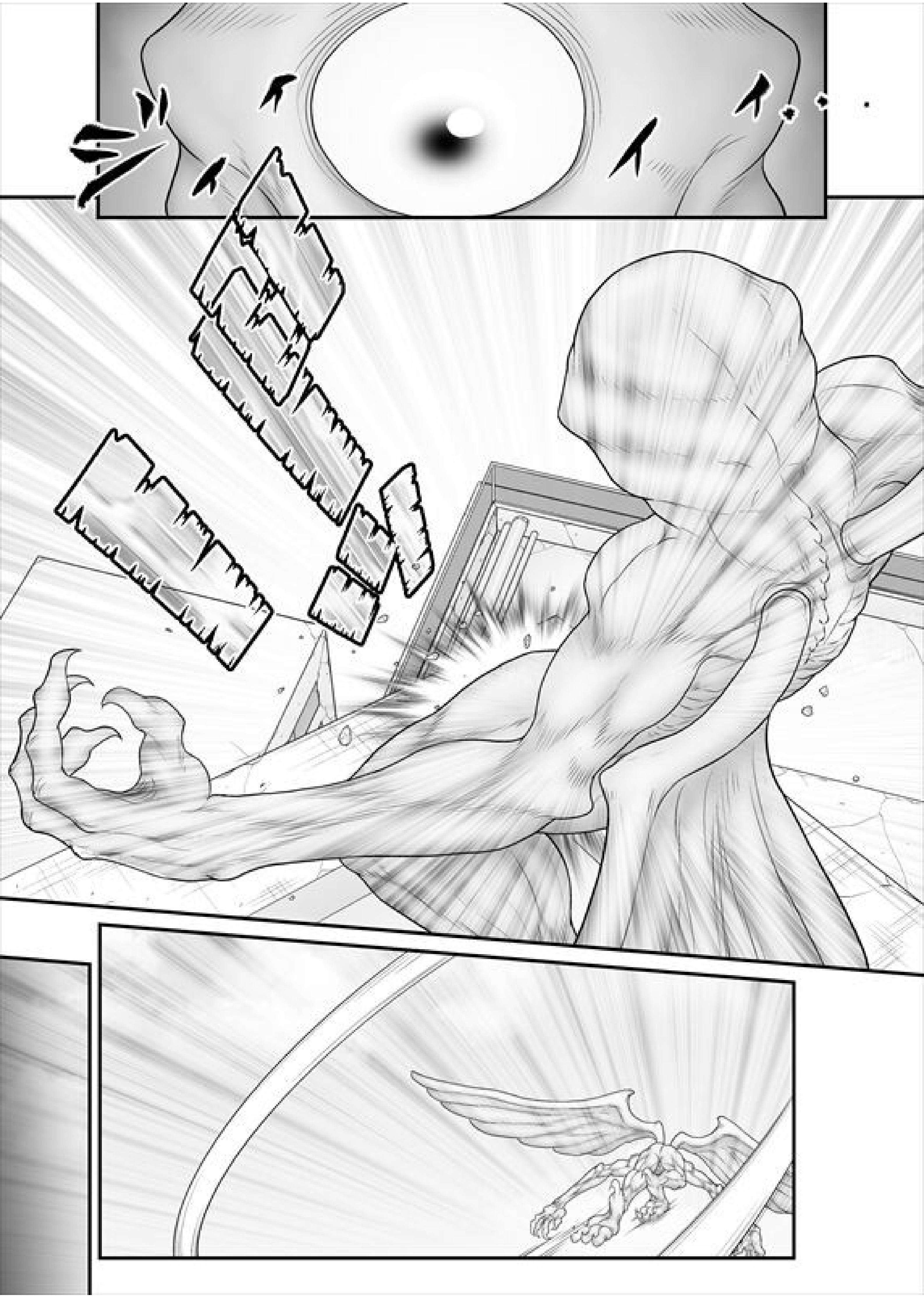
よし…
監視を続けろ
全員
警戒態勢を取れ

よーし
そこで止まれェ
よう
あんた一人だけか？
他の仲間はどうしたんだ
グラ。

…フと
ドッ
おいおい…
どんだけ疲れてんだ？
01 SONIC METAL
それとも今すぐここでヤリ――
ウッ!?
…!…
これは……!!!
SONIC METAL
35 WIND

負傷者だ!!!
救護車を要請しろ
救急キット持って来い
急げ!!

……



…おい……
聞いたか…？
『真紅の炎』がやられたってよ……
『白狐』に続いて"原初の四色"の一角がまた…
落ち目だった『白狐』と違って『真紅の炎』は現役バリバリのトップランカーだぜ……
ザワ
ザワ
ザワ

しかも…
やられたのは
境界エリアだ

当然 ルートを
知り尽くしてる
『真紅の風』が
スピード勝負で
負ける訳がねェ

あいつらは
プロだ…油断も
手抜きもしない

それが あんなに
あっさりと……

例の映像
見たか？

逃げ切ったかと
思ったら まるで
先回りされてた
みたいに……

空を飛んでる奴が
いたって――

あんな風に
不意を突かれたら
ひとたまりも
ないぜ…

首をちぎられた
女の叫び声が
まだ耳から放れ
ねェよ……

それでも
半分以上は
無事に逃げて
たんだろ？

何でそいつらは
未だに消息不明
なんだ

映像からは
分からんが…
全員死んだと
考えるべき
だろうな

マジで
やべーよ

一体 何が
起きてんだ…？

ひっいっ・・・
はひィいいい
いいいいいい
失礼します
・・・それが例の流出した映像ですか
あァあああぁ
あああああ
うん
生存者と最初に接触した「門番」の連中が好奇心に負けて覗き見て、
あまりの衝撃でうっかりネットに流しちゃったみたいだね
チャ
やっ・・・
やだっ
いやだあああ
今回ばかりはかなり動揺が走っているようです
任務（ミッション）の受注率が急減してまして・・・「装置」の改修にも影響が出るかと
全く・・・余計な事をしてくれたもんだよ

あることないこと憶測が飛び交って、

『異端者』がやったことまで奴らのせいにされてるのは良かったのか悪かったのか…

ギル…

色々と予定が狂って頭が痛いよ

…でもまあ――

収穫もあった

この"群れ"は明らかに「統一」された意思に従って動いている

あの『真紅の風』を出し抜き、無慈悲に追い詰める連携を完璧に実行する統率力――

それは間違いなく「知性」が存在しているという証拠だ

"知性ある怪物"が従うもの――それは「本能」ではなく「欲求」

"奴"が何を求めているのかさえ分かれば行動が予測できる

ここは ひとつ 知恵比べと いこうじゃないか

この世界の『盤面』を支配するのは どちらの種か

そのためにまずは――

互いの手駒を知らないとね
ピク…
──来たか
ザッ
ザッ

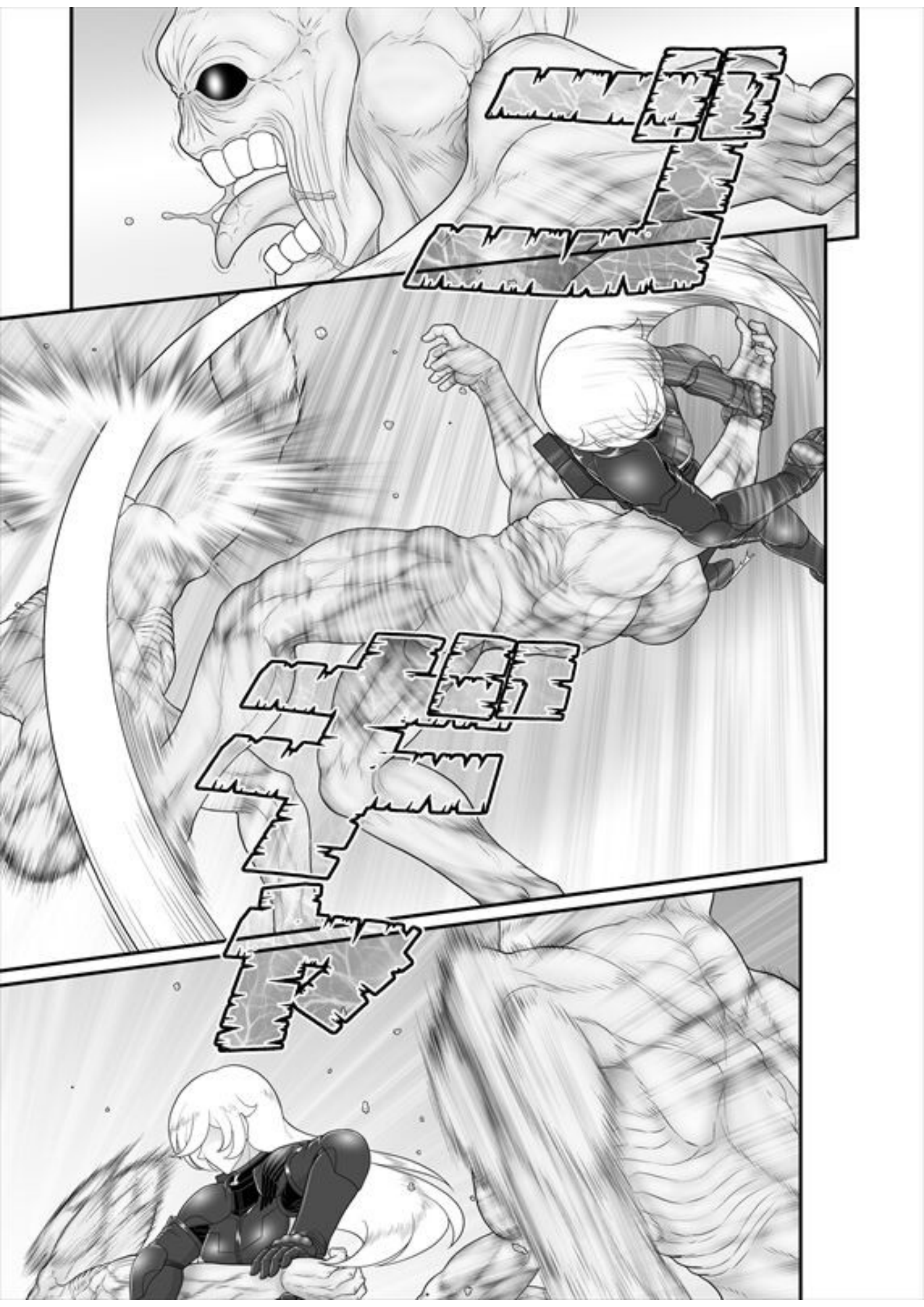
ヤバイ！ヤバイ!!ヤバイ!!!
急いで
お……追いつかれる……！
ドド
ドド
ドド

何なのよ この群れ…!?
足が速い奴 ばっかり…
しかも 数が多すぎる
はぐれた二人とも 連絡が取れないよ
とにかく 走って!!!
本隊と合流 すれば——
ザシャア
ひっ!!

あっあっ
あぅっ
やああああああ
ミキ
ミシ
ギャ〜〜〜
ああ・・・!
そ・・・そんな・・・
止まっちゃダメ!!
もう助けられないよ

ス。
!?

何…誰!?
あいつバカなの!?
死にたいワケ!?
チャ…
……



ギュン
ギュン
ギュン

う…ウソ…でしょ…
たった一人…それも素手で…あの"群れ"をあっという間に……
おい

延髄に衝撃を与えて一時的に動きを止めているだけだ
さっさと殺らないといずれ復活するぞ
また鬼ごっこがしたいのなら別だがな
…さて
暇ならその辺のゴミを片付けておけ
!!?

一匹くらいは巻き込めるかと思ったが――
あの3匹は他の雑魚(ファースト)とは違うようだ

『成りかけ』だな

"セカンド"級(クラス)が3匹……戦闘能力ならこの間の"サード"が上だろうが……
この通路の狭さに複数の連携とくれば厄介さは同等――

悪くない
勘(カン)を取り戻すには手頃な相手だ

ゴギッ…
…!!
メキ
パキ
ズン
――なるほど
『ボス猿(ザル)』はこっちか

あ……
ああ……
21
NIGHTMARE
そんな……!
…ひどい……
ムフゥゥゥ..
ボキ.
ベキ

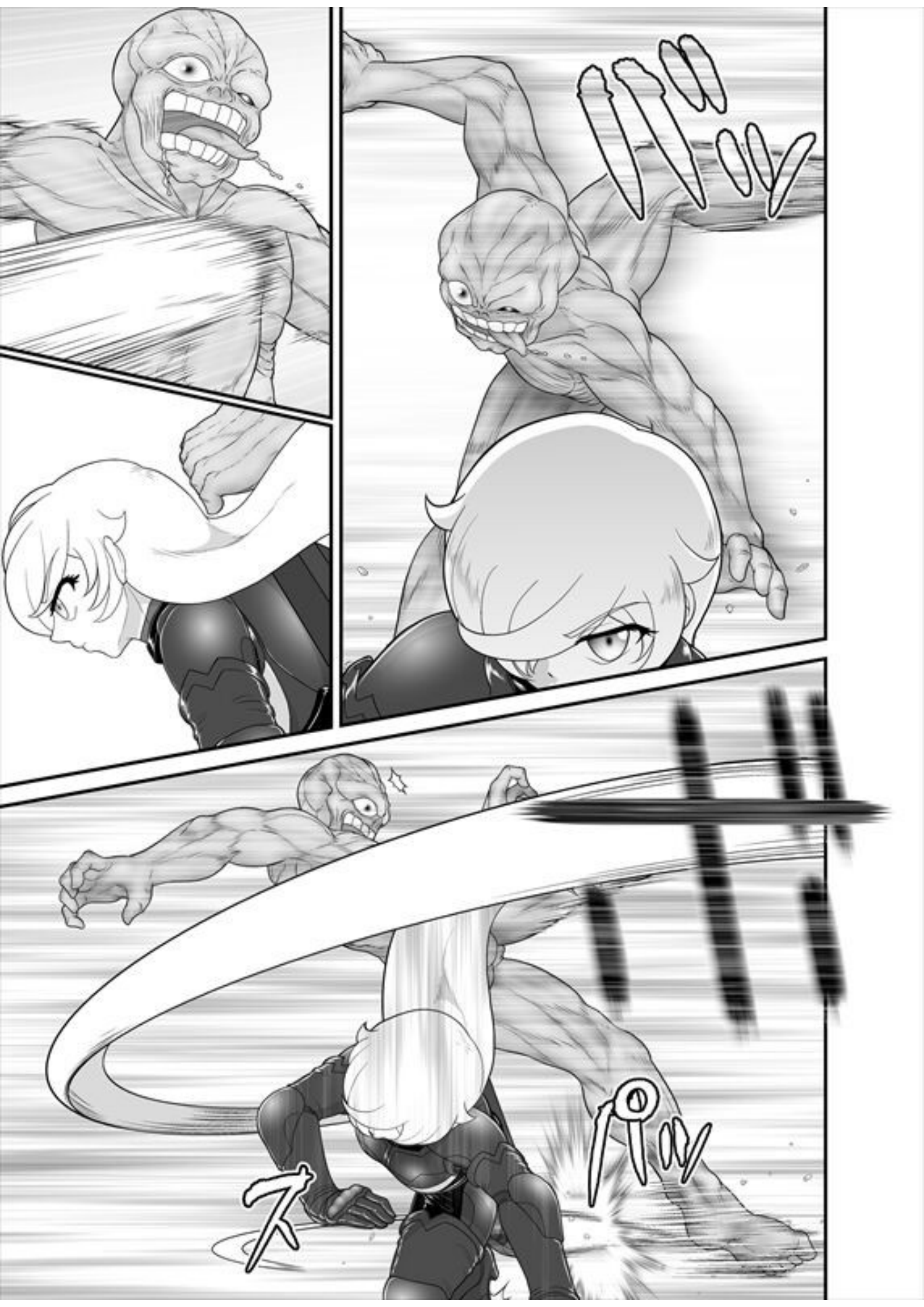
ビュルッ
バタ
バタ
ガッ
!?
は……
……あ……
ヘタ……

アゲ!
ヴ…ワ
ビュ

下半身とは不釣り合いな異常に肥大した上半身
長くて太い腕を振り回せば容易に揺らぐ高い重心
剛力と引き換えにした肉体の歪み
そこを衝いてやれば崩すのは――

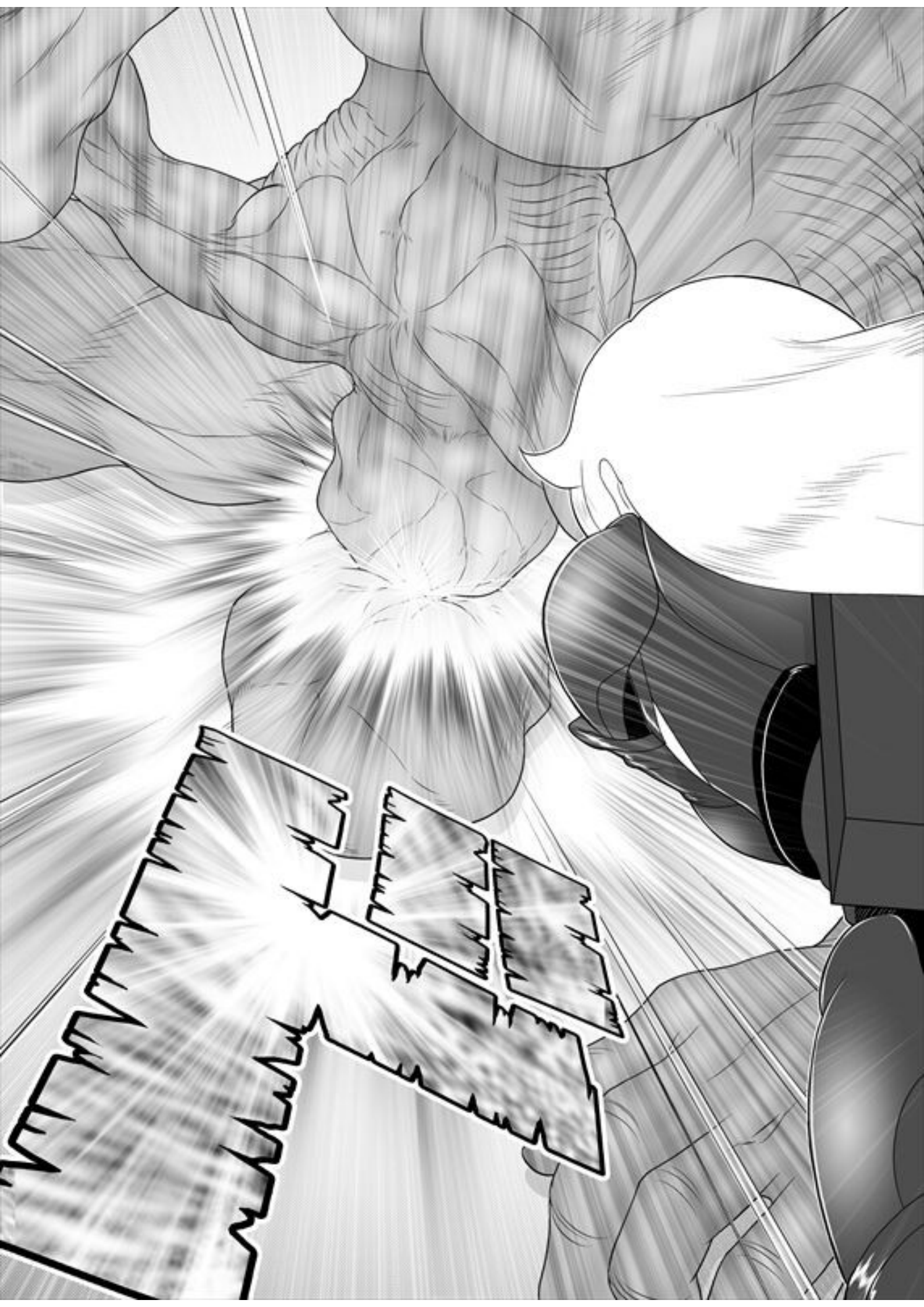
造作もない!!!
!!

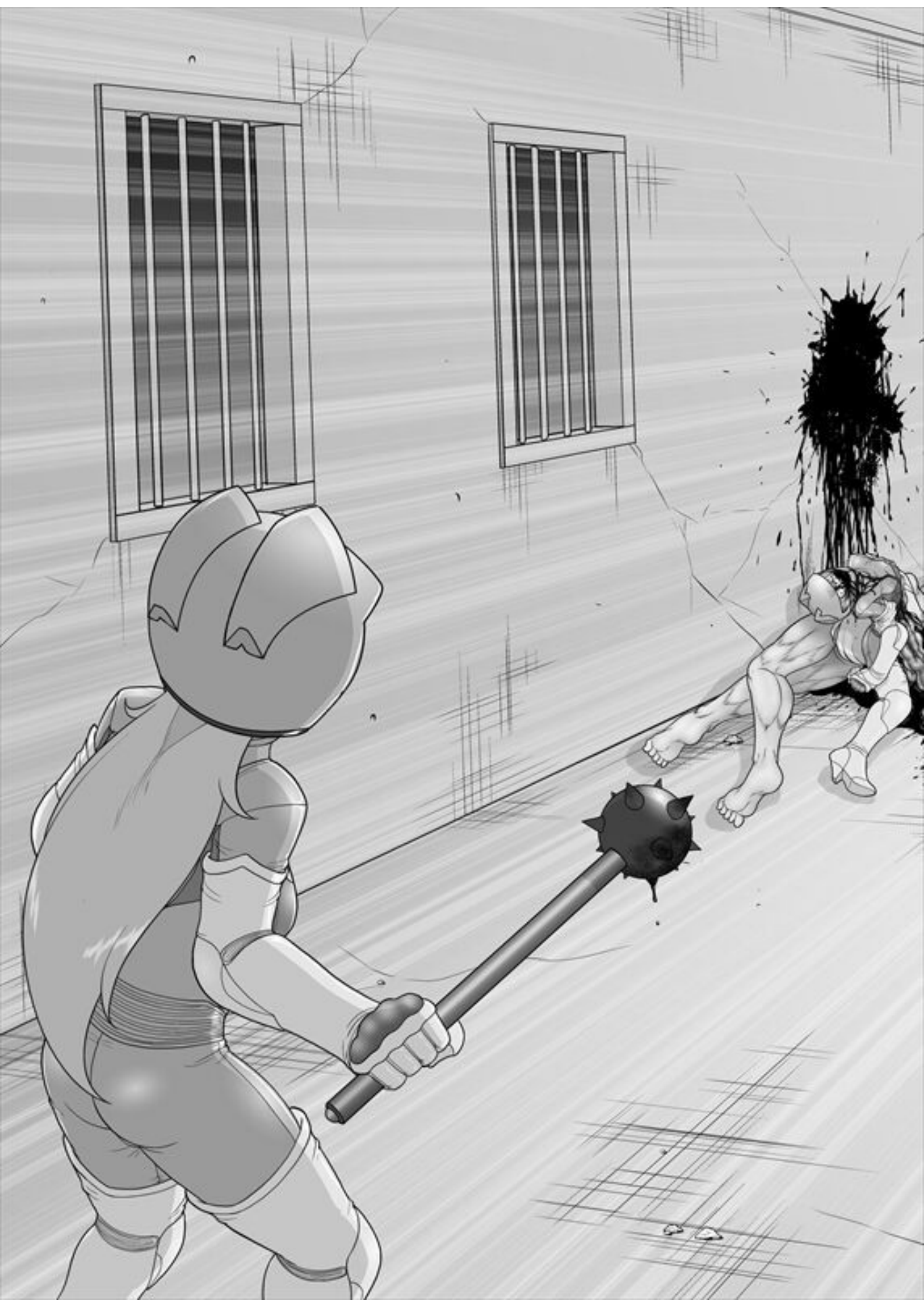
ピク
ピク
ズギゥウーン
ビビッ



ギュルル・
ダッ
ジャル
!!!

ガシッ
パシッ
メキィィ
ドッ!
ギュィ





グラー‥
ドッ.

……

し……信じられない……こんな……

強すぎる……！

本当に……

……人間……なの……？

……こんなものか
思ったほど長持ちしなかったな
…まあ とりあえずの手慣らしにはなった
やはり大分鈍っているな
ん……
力押しばかりに頼ってきたツケか…
ググ…
——今なら理解る
無手の技のみでどんな奴らとも渡り合って来た先生の凄さが——
感覚を取り戻すにはもっと実戦が必要だ
パキ
幸い 練習相手には事欠かない
……とは言ったものの
問題はそこだ

〝セカンド〟以上への『畸形』はそう頻繁に起きるものではない
成りかけが同時に3体も出現する事自体が異常だ
この間の〝サード〟といい…高位個体の出現率が上がっていることと
最近頻発しているチームの失踪……これが無関係とは思えない
もしこれが組織的な「狩り」だとすれば……
消えた連中の行き先は――
ボリ.
ワチャ…
ボリ.
ペキ
ジュル
ピチャン

ザク.
ザク.
ビキ
ビキ
ピチャ...
ジュル
ズル...
ガタ
ガタ
ガタ...

カチ。
カチ
カチ
カチ。。
ゴリ・・・
・・・・・・・!!!

奴らの『巣』のようなものがあるなら――

当然 そこには群れの主である“奴”がいるはずだ

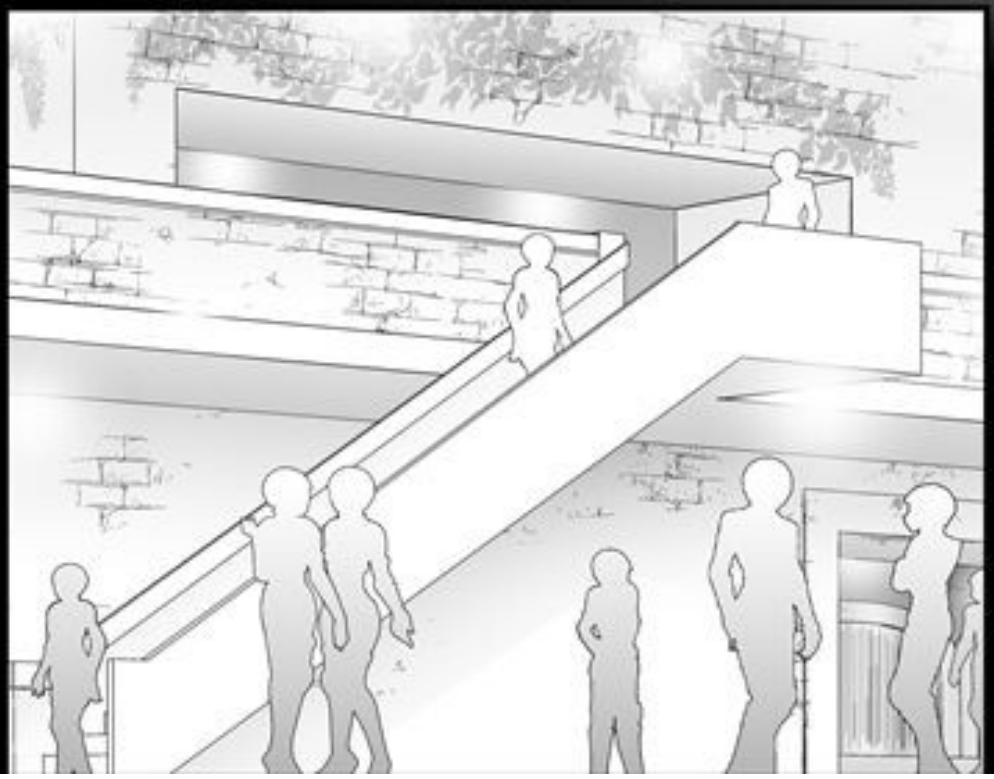
まあ……場所が分かったところで

策もなく単独で乗り込むのは無謀が過ぎる

さすがに奴と群れを同時には相手できない

奴との対決前にできるだけ戦力を削いでおきたい

この「特別任務」もそのために参加したようなものだが――



緊急特別任務(ミッション)!!!

S地区(エリア) 電波塔周辺に
推定70体規模の群れ

“ファースト”10体前後
“セカンド”は未確認

参加人数上限なし!
ポイントは1.5倍!!

そして今週は
レディース・ウィーク!
女性(レディース)チームはさらに
ポイント倍チャンス!

マジで!?
3倍だってよ
どうする?

でも…
ヤバくない?

こないだの
映像の事とか…

あれは境界エリア
でしょ?
近づかなきゃ
大丈夫だって

それに人数制限なしだから バトル系チームも複数参加してくるはず
ヤバい奴らはそっちに任せとけばいい

雑魚狩りしてるだけで一気にポイントが稼げる
こんな美味しい話はないよ

——そう
確かに話が美味すぎた

割のいい報酬に明らかに過小評価された群れ——
『美味しい話』には必ず裏がある

だが何のために？
奴らにエサを差し出すようなマネをする理由は何だ？

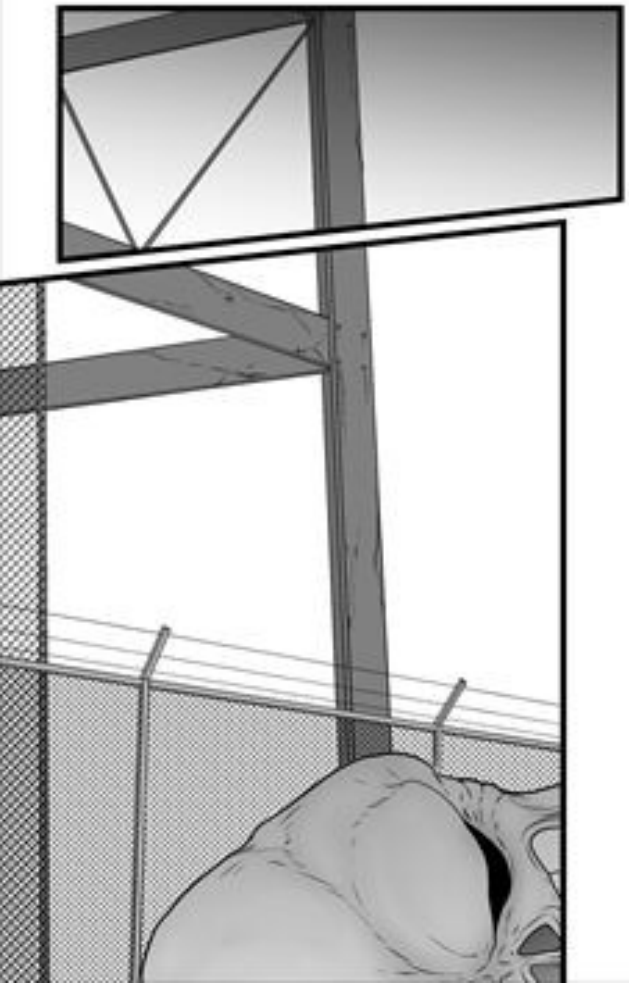
水面下で蠢く何者かの意図
それが何かは分からないが

これは既に始まっている大きな動きの一部に過ぎない

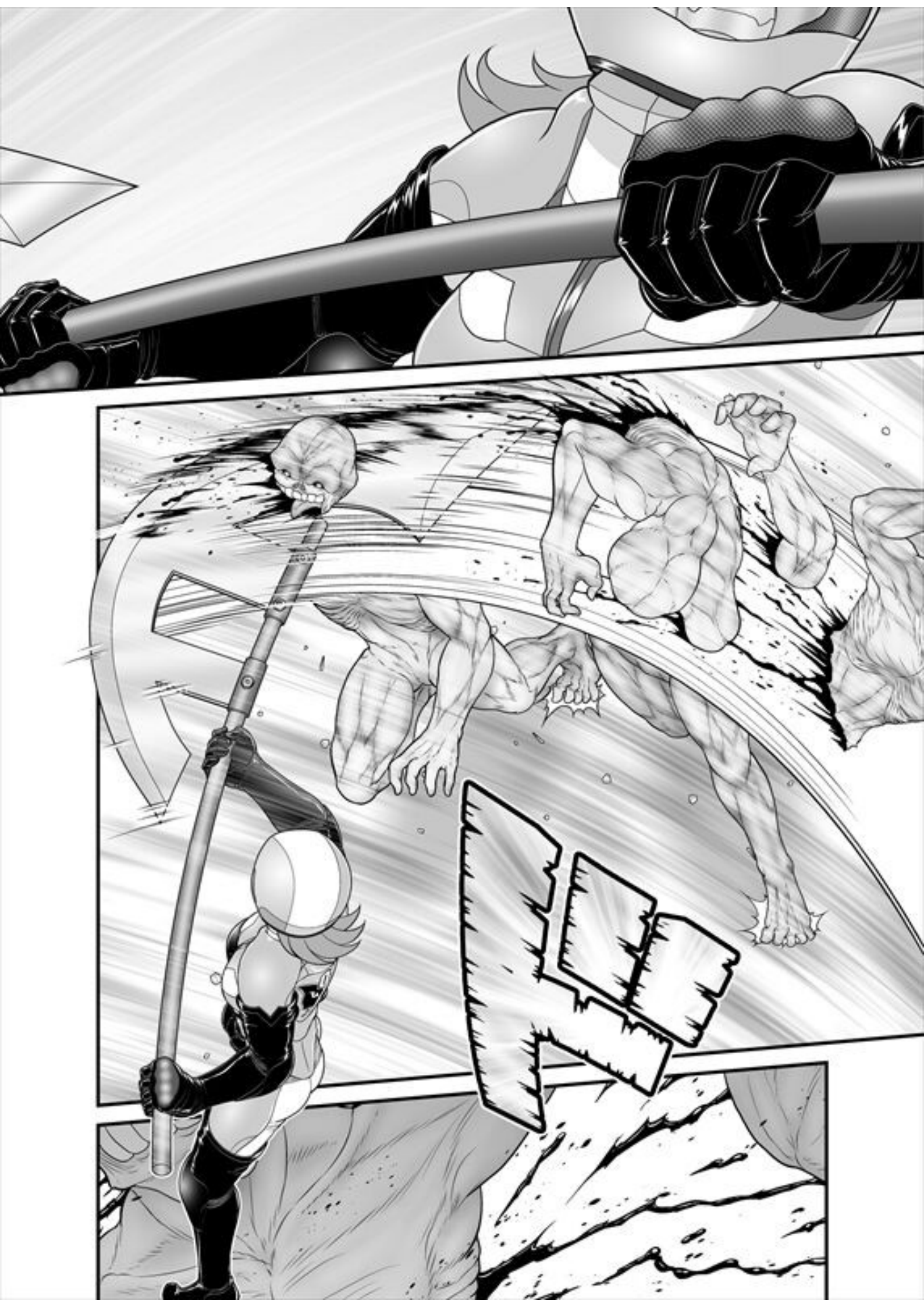
そんな気がする

ズ…
片付いた？
…ああ
思ったより
数が多いねー
何か考え事してた
みたいだけど――
今は奴らに
集中した方が
よくない？

とりあえず
裏を探るのは
こっちでやるから
そっちは
生き残ることに
専念しなよ



…まあ いい
…約束は
できないな
やるべきことは
同じ……か
それより
次だ



01
!!
カ。

ドッ
ザザッ
相変わらず詰めが甘いですね
何度同じ手に引っかかるつもりですか
あ〜!?
てめー!が勝手にしゃしゃり出て来たんだろー!が
なんだったらてめー!ごとぶった斬っても良かったんだぜ
しっかしよぉ…
こいつぁ想像以上だぜ

明らかに70ではきかない数ですね

いっつもコレだよクソ運営がよ

雑な仕事ばっかしやがって

命かかってんだぜこちとらよォ

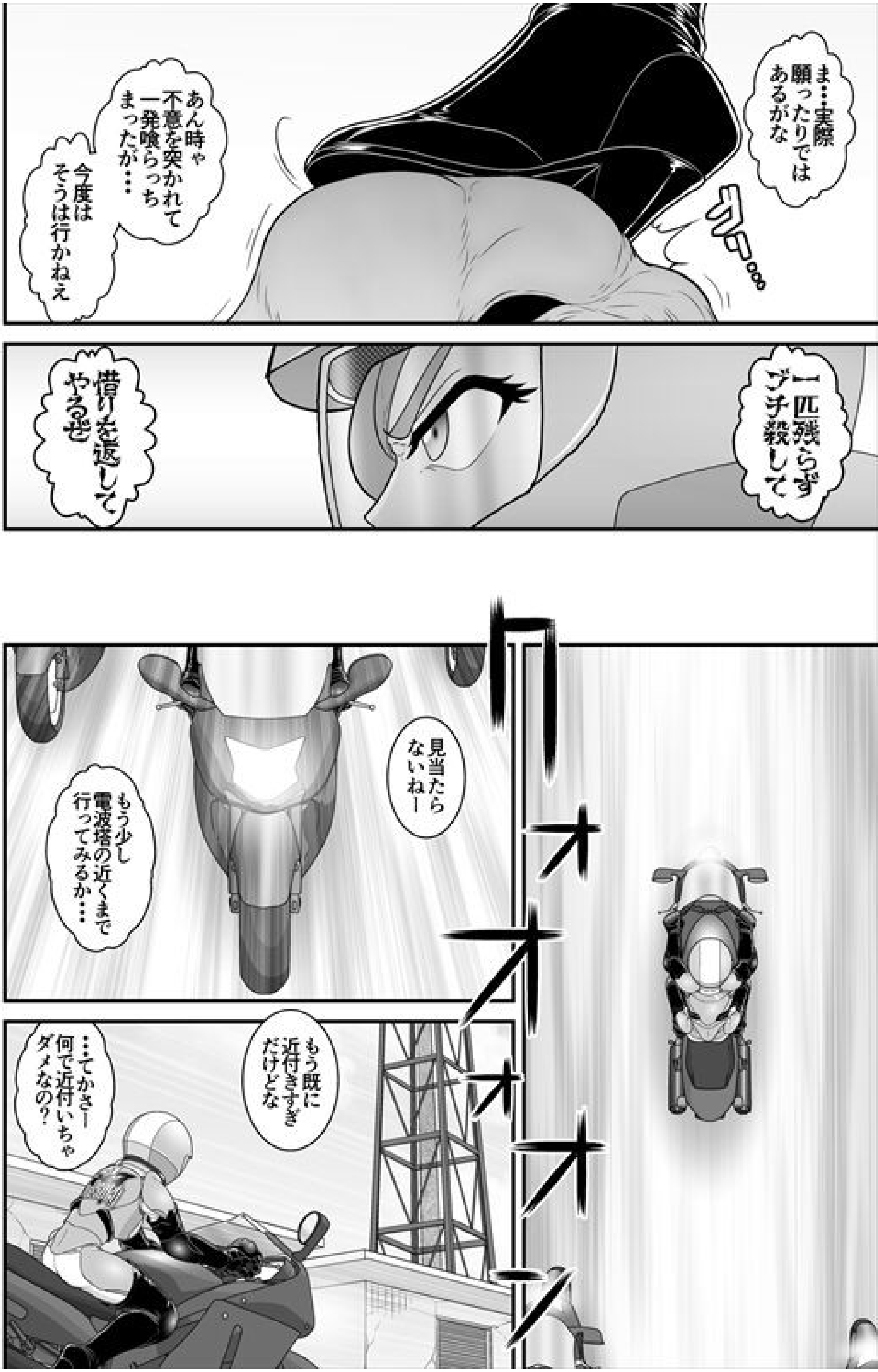
運営にとって所詮我々は使い捨てのコマに過ぎない

何人死のうが痛くもかゆくもないでしょう

…まあ……どういう思惑かはともかくとして

この規模の群れであれば先日の2匹と同等か、それ以上の強力な個体がいる可能性が高い

運営があえて過小報告していたとなれば尚更です



ま…実際願ったりではあるがな
あん時ゃ不意を突かれて一発喰らっちまったが…
今度はそうは行かねえ
一匹残らずブチ殺して
借りを返してやるぜ
見当たらないねー
もう少し電波塔の近くまで行ってみるか…
もう既に近付きすぎだけどな
…てかさー何で近付いちゃダメなの?

シャロンの奴が一人で行くって聞かなかったんだよ
その方が暴れやすいからって
ま…確かにそうだけど
だからって独り占めはズルくね？
この間の襲撃では真っ先にダウンしちまってたからな…
そのせいで死人が出たって気にしてんだよ
今回はそのリベンジがしたいってとこだろ
誰にも足引っ張られずにさ
信用ねーなーウチら
弱いのが悪いんだろ
ん？
前方注意！
減速しろ壁が崩れて――
!!!

ズチャ
出た…!!
“スノウラー”だっ…
キイイッ
おいおい…
いきなりセカンドかよ…
ゴルル…
く……
い……いけるか…?
こ…こっちは5人いるんだ
全員で一斉にかかれば――
ザッ

ジリ…
!!
!!
ピタ…
はっ!?
ガラ…

い…
一匹じゃない…!!
そんな…嘘でしょ!?
や…ヤバい
どうする!?
ど……どうするったって…
ウオン!
落ち着け!一旦退いて態勢を立て直すんだ
本隊と合流すれば――
ト…

ヒッ
ザッ
あ…
やっ…やめ…
やめて…
イヤ…
21
い゛や゛あ゛
あ゛あああ

ボギ
ギチ
ギチチチチチチチチチ
チ。
…ウ…
……かっ
かふっ
メリ.
メリ…
メリ…
ひュ……